

第六次鹿児島市総合計画
前期基本計画(案)

(令和4年度～令和8年度)

5	まち・ひと・しごと創生基本方針	109
(1)	基本的な考え方	112
(2)	4つの柱 ～ 基本目標	112
6	持続可能な開発目標（SDGs）	115
(1)	SDGsとは	116
(2)	SDGsに対する本市の考え方	117
(3)	SDGsのゴールと各施策等との関連一覧	118
7	個別計画との関係	121
(1)	基本的な考え方	123
(2)	主な個別計画一覧	124
8	目標指標一覧	127
(1)	基本目標別計画	128
(2)	重点プロジェクト	135

1 政策・施策一覽

1 政策・施策一覧

基本構想		基本目標別計画	
都市像	基本目標【政策名】	基本施策（27）	
つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま	1 信頼とやさしさのある 共創のまち 【信頼・共創 政策】	1 地域社会を支える協働・連携の推進 2 自主的・自立的な行財政運営の推進 3 多角的な連携・交流の推進 4 シティプロモーションの推進 5 誰もが個性と能力を発揮できる 地域社会の形成	I 市民との協働の推進 I 市政情報の公開・提供の推進 I 都市・地域との連携・交流の推進 I 都市ブランディングの推進 I 人権の尊重
	2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち 【自然・環境 政策】	1 ゼロカーボンシティかごしまの推進 2 循環型社会の構築 3 人と自然が共生する都市環境の構築 4 生活環境の向上	I CO ₂ 排出量の削減と気候変動の影響 への対応 I 3Rの推進 I 生物多様性の保全と活用 I 良好な環境の保全
	3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち 【産業・交流 政策】	1 地域特性を生かした観光・交流の推進 2 スポーツ交流・振興の推進 3 地域産業の活性化 4 中心市街地の活性化 5 農林水産業の振興	I オンリーワンの魅力創出 I スポーツを生かしたにぎわい創出 I 新たな産業の創出 I 街なかのにぎわい創出 I 次世代の担い手の確保・育成
	4 自分らしく 健やかに暮らせる 安心安全なまち 【健康・安心 政策】	1 高齢化対策の推進 2 地域共生社会の実現 3 健康・医療の充実 4 生活の安全性の向上 5 命を守る危機管理・防災力の向上	I 生きがいくくり・社会参画の促進 I 地域福祉の充実 I 健康づくりの推進 I セーフコミュニティの推進 I 総合的な危機管理対応能力の向上
	5 豊かな個性を育み 未来を拓く 誇りあるまち 【子ども・文教 政策】	1 少子化対策・子育て支援の推進 2 子どもの健やかな成長への支援 3 学校教育の充実 4 生涯学習の充実 5 市民文化の創造	I 出会い・結婚の支援の充実 I 子育て家庭の福祉向上 I 心を育む教育と青少年教育の推進 I 家庭・地域の教育力の向上 I 文化芸術の振興
	6 質の高い暮らしを支える 快適なまち 【都市・交通 政策】	1 機能性の高い都市空間の形成 2 暮らしやすい生活基盤の構築 3 市民活動を支える交通環境の充実	I きめ細かで質の高い土地利用の推進 I 快適な道路環境の整備 I 広域交通ネットワークの形成
		重点プロジェクト	
		地域別計画	
		まち・ひと・しごと創生基本方針	

前期基本計画(案)

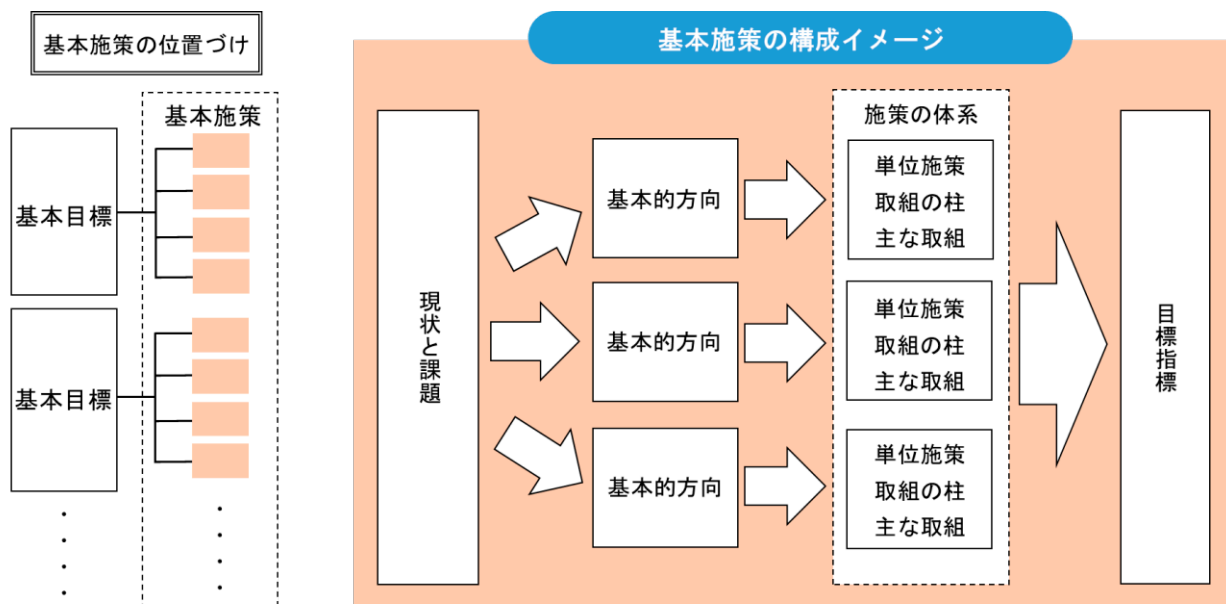
単位施策 (91)

II 住民主体の地域づくりの促進				
II 効率的で健全な行財政運営の推進	III 人材育成の推進	IV ICT利活用の推進		
II 大学や事業者等との連携の推進	III 国際交流の推進			
II シビックプライドの醸成	III 移住の促進			
II 男女共同参画の推進	III 多文化共生の推進	IV 平和意識の醸成		
II 再生可能エネルギーの地産地消の推進	III エコスタイルへの転換			
II 廃棄物の適正処理の推進	III エネルギー源としての廃棄物の有効利用			
II 緑の保全と花や緑の充実	III 公園緑地の充実			
II 清潔で美しいまちづくりの推進	III 墓地の整備			
II 稼ぐ観光につながる誘客推進	III ホスピタリティあふれる受入体制の充実			
II あらゆる世代へのスポーツ機会の提供				
II 地域を支える産業の成長促進	III 海外展開の促進	IV 魅力ある就業環境と担い手の確保		
II 都市型観光の推進				
II 生産環境の整備	III 魅力ある地域資源の活用			
II 高齢者の安心・快適な暮らしの確保	III 認知症対策・権利擁護の推進	IV 介護予防・地域支援体制の充実	V 介護サービスの充実	
II 障害者福祉の充実	III 社会保障制度の円滑な運営			
II 保健予防の充実	III 質の高い医療体制の確保	IV 健康危機に備えた感染症等対策の強化		
II 交通安全対策の推進	III 市民総ぐるみの防犯対策の推進	IV 健全な消費生活の向上	V 食品・生活衛生の向上	
II 市民との協働による防災対策の推進	III 質の高い消防力の強化	IV 治水・土砂災害対策の推進	V 火山防災トップシティの推進	
II 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実	III 幼児教育・保育の充実	IV 地域における子育て支援の充実		
II 子どもが希望を持てる環境の充実	III 児童虐待対策の充実			
II 個性と能力を伸ばす教育の推進	III 体育・健康・安全の充実	IV 地域とともにある学校づくりの推進	V 学びを支援する教育環境の充実	
II 生涯学習環境の充実				
II 歴史・文化資源の保存と活用				
II 住宅団地の活性化	III にぎわいとゆとりある都市空間の創出	IV 魅力あるウォーターフロントの形成	V 良好な都市景観の形成	
II 健全かつ安定的な水道と衛生環境づくり	III 多様なニーズに対応する住生活の安定向上	IV 都市基盤施設の長寿命化		
II 効率的で持続可能な公共交通体系の構築				

2 基本目標別計画

2 基本目標別計画

- ◇基本構想に掲げた基本目標（政策）ごとに、27の基本施策について、「現状と課題」、施策の「基本的方向」、「施策の体系」を明らかにします。
- ◇基本目標「信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創 政策】」を、他の5つの基本目標すべての実現におけるベースとしつつ、それぞれの基本目標間で連携しながら、持続可能な都市づくりに向けた対応を進めていきます。



【基本施策とSDGsの関連】

各基本施策において、SDGsのどのゴールと深い関わりがあるかを分かりやすく示すため、各基本施策を通じて目指す主なゴールを掲載しています。

※SDGsに関する詳細な内容は、「6 持続可能な開発目標（SDGs）」（P115～）に掲載しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 地域社会を支える協働・連携の推進

施策の目標 人と人がつながり、ともに築く共創のまちづくりを進めます！



現状と課題

市民のまちづくりへの参画の必要性

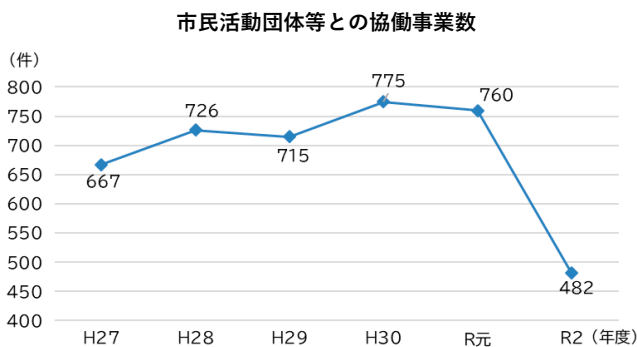
- 社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化などにより、市民の市政への参画や市民活動等のまちづくりへの参加の必要性がさらに高まっています。

市民活動団体の役割と持続性

- NPO法人等の市民活動団体は、専門性や柔軟性を生かした自主的・自立的な活動により、まちづくりのパートナーとして重要な役割を果たしています。
- 多くの市民活動団体は、持続的に活動していくために、人材・活動資金の確保、情報発信の充実及び他団体との連携を必要としています。

「共助」と「地域力」の重要性の高まり

- 価値観や生活様式の多様化などによる市民の地域とのつながりや関心の希薄化、人口減少等による活力の低下が見られる一方で、地域での支え合い・助け合いなど「共助」や住民主体のまちづくりに向けた「地域力」の重要性が高まっています。
- 市内全域において地域コミュニティ協議会が設立され、コミュニティプランに基づく地域づくりが進められています。
- 地域コミュニティ協議会や町内会においては、地域を支える担い手の高齢化や固定化などの課題を抱えています。



地域コミュニティ協議会の活動

基本的方向

I 市民と情報を共有し、広く市民の声を聴く機会を充実させるとともに、市民参画への取組を積極的に推進します。市民活動団体への支援の充実を図るとともに、団体等の連携を促進する場や機会の創出など、市民活動を活性化する環境づくりに取り組めます。

II 地域コミュニティ協議会が町内会などの構成団体と連携しながら住民主体のまちづくりを進められるよう地域活動を支えるリーダーなどの人材育成や幅広い世代が気軽に参加できる環境づくりを推進するほか、地域団体等とのさらなる連携による地域づくりに取り組めます。

施策の体系

地域社会を支える協働・連携の推進

I 市民との協働の推進

市民参画の推進

- ◆市民参画手続等の実施 ◆市民の声を聴く機会の充実
- ◆若い世代への市政に関する講義等の実施

市民やNPO等の連携及び活動の促進

- ◆市民活動団体への支援体制の充実
- ◆市民活動団体等の連携・参加促進

II 住民主体の地域づくりの促進

地域活動の支援

- ◆地域コミュニティ協議会の活動支援 ◆町内会の活動支援
- ◆地域の振興・課題解決に向けた地域団体等との連携

地域活動の担い手の育成

- ◆人材育成につながる機会の充実

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「市民・地域・団体等によるまちづくりが行われている」と感じる市民の割合	41.7%	➡	47.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
市民活動団体等との協働事業数	482件	➡	839件	
地域コミュニティ協議会の活動への参加団体数	2,928団体	➡	3,100団体	地域コミュニティ協議会現況調査

市民みんなで

市民・地域

- ◇それぞれの能力や経験などを地域課題の解決に生かすため、まちづくりへの参画意識を高めましょう。
- ◇自分たちのまちは自分たちでつくるという意識を持ち、地域づくりへの理解を深め、積極的に参加しましょう。

事業者・団体等

- ◇社会貢献活動を通して、地域社会との信頼・協力関係を深めましょう。
- ◇地域の一員として積極的に地域づくりへ参加しましょう。

2 自主的・自立的な行財政運営の推進

施策の目標

多様化する市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応し、より効率的な行財政運営を目指します！



現状と課題

市政情報の公開による市政への理解と信頼の確保

- 市民に開かれた市政を推進するため、公文書の適切な保存・管理や情報公開により、市政の透明度を高めることが求められています。

市民の情報収集行動等の多様化

- ライフスタイルの変化やICTの発達に伴い、市民のニーズや情報収集行動が多様化しており、市民一人ひとりにタイムリーでわかりやすい広報が求められています。

本市を取り巻く社会経済情勢の変化

- 人口減少・超高齢社会の進行、地方創生や地方分権改革の推進など、本市を取り巻く社会経済情勢が変化してきており、長期的な視点に立った行財政運営が求められています。

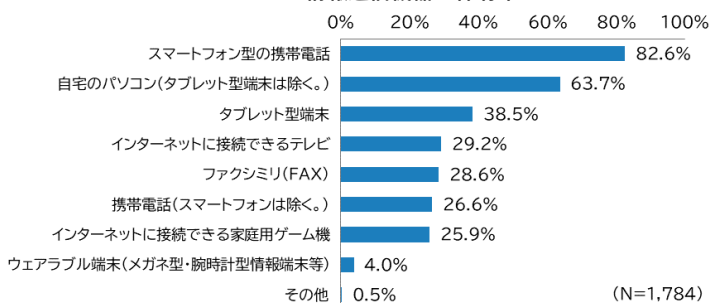
職員の職務能力向上の必要性

- 地域の課題や市民のニーズの多様化・高度化に伴い、課題等に迅速かつ的確に対応できる職務能力が求められています。

デジタル化の進展

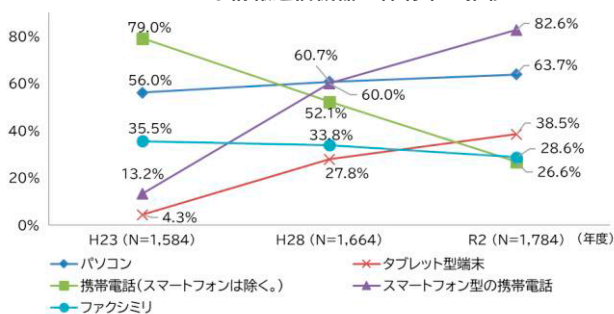
- デジタル機器が広く社会全般に浸透し、コミュニケーションやライフスタイルなどが変化の中で、ICTは市民生活にますます重要な役割を果たしてきています。

情報通信機器の保有率



(資料)鹿兒島市の情報化に関する市民意識調査(R2年度)

主な情報通信機器の保有率の推移



(資料)鹿兒島市の情報化に関する市民意識調査

基本的方向

- I 多様化する市民のニーズや行動等を踏まえ、各種の広報媒体を効果的に活用して、きめ細かな広報機能の充実に取り組むとともに、情報公開制度の適正な運用や効率的な公文書管理を行い、市民と行政の情報の共有化を進めます。
- II 質の高い効率的な行政運営や総合的な公共施設等の管理に努めるとともに、将来を見据えた計画的かつ柔軟な財政運営により、健全財政を維持するほか、地方創生の取組の効果検証や地方分権改革への対応を進めます。
- III 職場における職務能力の向上や研修による能力開発の強化、人を育てる人事管理の推進により、多様化する地域の課題等に対応できる人材育成を進めます。
- IV 電子行政を推進し、市民等の利便性のさらなる向上と行政の効率化を図り、安心・安全にデジタル化の恩恵を享受できる環境整備を進めます。

施策の体系

自主的・自立的な行財政運営の推進



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「市民サービスが効率的に提供されている」と感じる市民の割合	50.0%	➡	65.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
鹿児島市ホームページアクセス件数	31,123,726件	➡	37,091,000件	閲覧されたページの合計数
将来負担比率	37.3%	➡	現状水準を維持する	将来支払う可能性のある実質的な負債額が市の財政に占める割合
職員研修実施件数	53件	➡	70件	人事課の研修実施状況
電子申請利用件数	29,441件	➡	43,000件	

市民みんなで

市民・地域	◇市の広報紙やホームページ等の情報を積極的に活用し、市政やまちづくりに参画しましょう。 ◇適切な役割分担の下、連携・協力してまちづくりを進めましょう。
事業者・団体等	◇行政と連携を図りながら、まちづくりを進めましょう。

3 多角的な連携・交流の推進

施策の目標

国内外の都市や多様な主体との連携・交流により、彩り豊かな地域づくりを目指します！



現状と課題

都市間の連携・交流の重要性

- かごしま連携中枢都市圏において、活力ある社会経済を維持するための取組を進めるとともに、他都市との交流により、観光振興や歴史・文化を通じた交流などに積極的に取り組むことが重要となっています。
- 都市間の連携・交流の推進のためには、新たな事業や都市交流を検討するとともに、これらの取組の効果が市民に伝わるよう努めることが求められています。

多様化する地域課題

- 人口減少等による地域経済社会への影響が危惧される中、多様化する地域課題に行政のみで対応することが難しくなっています。
- 本市には、豊富な人的・知的資源を有する6大学のほか、都市機能の集積地としてさまざまな事業者・団体が所在しており、これら多様な主体との連携が求められています。

地域の国際化への対応

- 人・もの・情報の国家間の移動が活発化する中、国家間レベルだけではなく、地域レベル、市民レベルでの交流も重要となっています。
- 観光分野をはじめ、文化、スポーツなどさまざまな分野において、積極的な交流を行っていくことが求められています。

都市・地域・大学等との主な連携・交流状況

令和3年4月1日現在

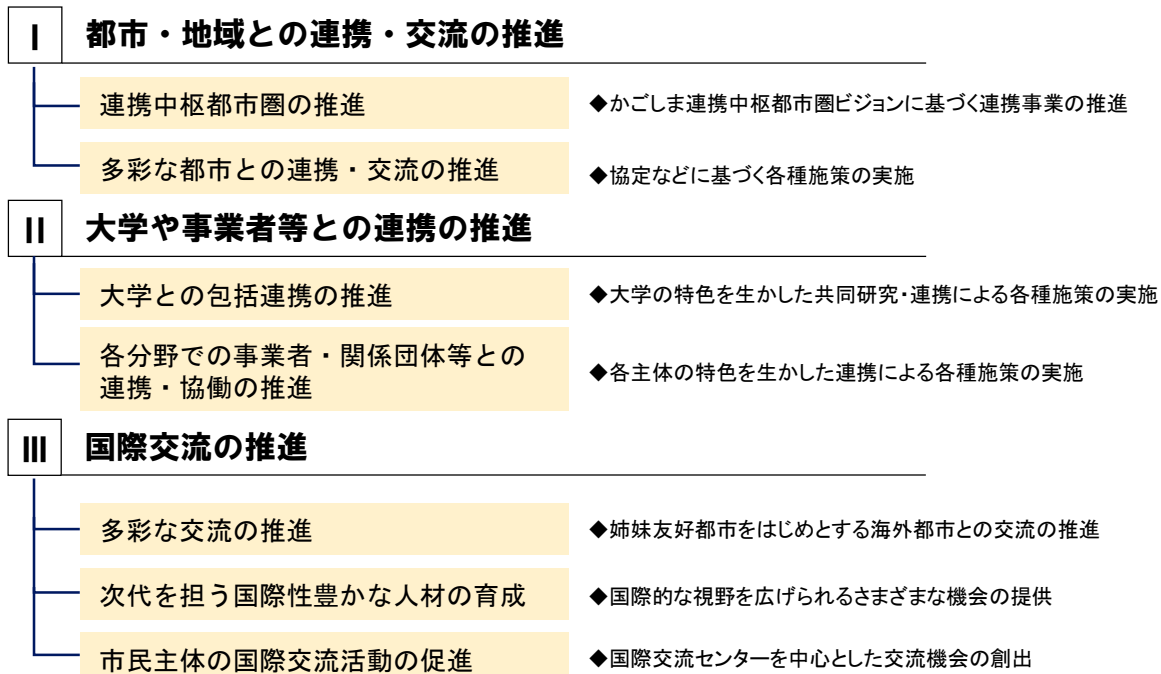
県外	鶴岡市	兄弟都市	国外	ナポリ市(イタリア)	姉妹友好都市
	大垣市	フレンドリーシティ		パース市(オーストラリア)	
	熊本市	交流連携協定		長沙市(中国)	
	福岡市			マイアミ市(米国)	
	北九州市			ストラスブール市(フランス)	パートナーシップ協定
	松本市	文化・観光交流協定	大学	鹿児島大学	連携協定
	札幌市	観光・文化交流協定		鹿児島女子短期大学	
	萩市	友好交流に関する盟約		鹿児島国際大学	
	渋谷区	観光・文化交流協定		鹿児島純心女子短期大学	
	県内	日置市		連携中枢都市圏	
いちき串木野市		志学館大学			
始良市		錦江湾奥会議			
霧島市					
垂水市					

基本的方向

- I かがしま連携中枢都市圏の圏域の発展に資するため、連携協約に基づく取組を進めるとともに、交流人口増加や観光振興、地域経済の活性化などに資するため、他都市との交流を進めるほか、これらの取組の市民への周知広報に努めます。
- II 地域課題の解決に当たり、大学や事業者などが有する豊富な人的・知的・物的資源や機能等を積極的に活用します。
- III 市民や関係団体などと連携・協働しながら、多くの国・地域の都市と多面的な交流を進めるとともに、次代を担う国際性豊かな人材の育成や市民・関係団体の活動などへの支援により、本市の個性や魅力を生かした国際化を進めます。

施策の体系

多角的な連携・交流の推進



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「他都市や事業者・団体等との連携・交流が進んでいる」と感じる市民の割合	24.5%	➡	27.2%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
連携中枢都市圏における連携事業数	30事業	➡	35事業	
大学との新規連携事業・取組数	7件/年	➡	5年間で100件	
国際交流事業への参加者数	1,367人	➡	2,120人	

市民みんなで

市民・地域	◇本市とつながりのある国内外の都市をはじめ、多くの国・地域に関心を持ち、交流を進めましょう。
事業者・団体等	◇本市とつながりのある国内外の都市・地域との交流を進めましょう。 ◇行政等と連携を図りながら、地域づくりを進めましょう。 ◇姉妹友好都市をはじめ、多くの国・地域に関心を持ち、交流を進めましょう。

4 シティプロモーションの推進

施策の目標 市内外で鹿児島ファンを拡大するシティプロモーションを推進します！



現状と課題

認知度を高めるために工夫を要するプロモーション

- 首都圏や関西圏等における本市に関する情報の接触度やアジアにおける認知度は高いといえず、情報が十分に届いていない状況にあります。
- 首都圏や関西圏等では、本市のイメージの中心は桜島であり、火山の恵みや人の温かさといった多彩な魅力を伝える工夫が求められています。

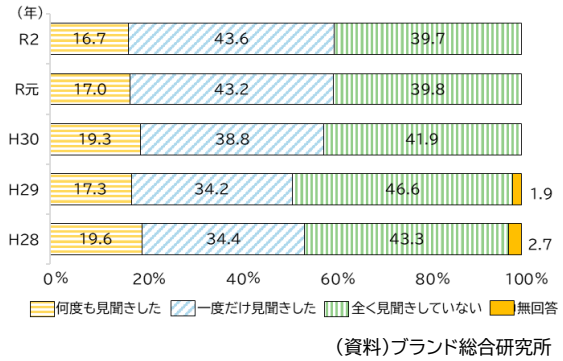
期待される新たな地域づくり（魅力づくり）の担い手

- 本市は、少子高齢化の進行や20代の若者が転出超過の傾向にあり、若い世代の減少により、まちの活力低下が懸念されています。
- 近年、首都圏を中心に地方生活や地域づくりに関心を寄せる若い世代が増加しており、新たな地域づくりの担い手として期待されています。
- 現在、本市では、人や地域に関心を持つ人々が集まり、楽しみながら地域に活力を生み出そうとする活動の機運が芽生えつつあります。

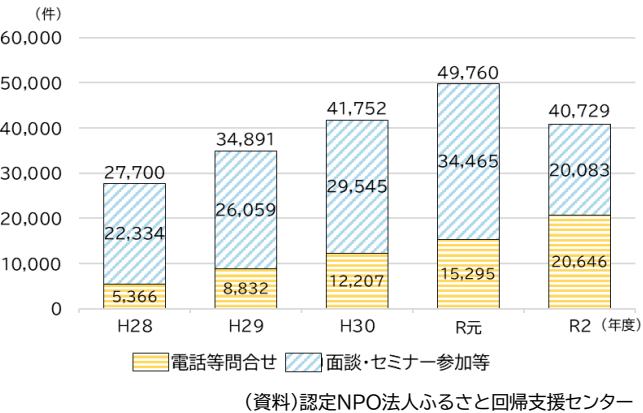
地方移住への関心の高まり

- 国は、地方創生の実現に向けた取組の中で、地方への移住を積極的に推進しています。
- 若い世代を中心に地方移住への関心が高まる傾向を的確に捉え、地方への人の流れをつくること が求められています。

本市についての情報接触度の推移



認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京）への
問合せ・来訪者数



基本的方向

- Ⅰ 全市をあげて、まちの魅力・価値の発掘・創出・磨き上げを行うとともに、あらゆる媒体を活用した国内外への魅力発信により、本市の認知度及びイメージを高めます。
- Ⅱ まちづくりへの共感が深まる市政広報や魅力の体験機会の提供等により、市内外において、本市の人や地域に積極的に関わろうとする人材の創出を図ります。
- Ⅲ 移住希望者に対する情報提供や相談・受入体制の充実、多様なニーズに対応した支援制度の整備・拡充を図り、本市への円滑な移住を促進します。

施策の体系

シティプロモーションの推進

- Ⅰ 都市ブランディングの推進
 - 魅力の発掘・創出と磨き上げ ◆官民一体となったシティプロモーションの推進
 - 都市イメージの向上 ◆国内外への魅力発信 ◆首都圏におけるイベント開催
- Ⅱ シビックプライドの醸成
 - 市民の共感を育む市政情報の発信 ◆SNS等を活用した市民との協働による情報発信
 - 市民等のまちづくり意識の喚起 ◆地域資源の体験機会の提供
◆市内まちづくりキーパーソンのネットワーク構築
 - 関係人口の創出・拡大 ◆市外在住者への体験機会の提供
◆関係人口ネットワークの構築
- Ⅲ 移住の促進
 - 移住情報の提供 ◆ポータルサイト等を活用した情報発信
 - 相談・受入体制の充実 ◆コーディネーターによる相談対応・関係機関との連携
 - 移住支援制度の充実 ◆移住支援制度の整備・拡充

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
4大都市圏における“鹿児島ファン”の割合	11.4%	➡	13.0%	本市イメージ調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
地域ブランド調査における「魅力度」	39.3%	➡	44.8%	地域ブランド調査
「友人・知人に本市を勧めたい」と思う市民の割合	53.0%	➡	60.5%	本市イメージ調査
本市の移住関連施策を通じた移住者数	121人／年	➡	5年間で600人	

市民みんな

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇多彩な地域資源に触れ、その体験や感動を広く発信しましょう。 ◇本市に関心を持つ人や移住希望者に対し、おもてなしや思いやりの心を持って交流を深めましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域資源の掘り起こしや魅力向上、新たな魅力の創出に取り組みましょう。 ◇本市シンボルマーク等を効果的に活用し、全市をあげたシティプロモーションに取り組みましょう。 ◇本市に関心を持つ人や移住希望者に対し、さまざまな情報や活躍できる場を提供しましょう。

5 誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の形成

施策の目標

一人ひとりの人権や多様性が尊重され、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりを進めます！



現状と課題

社会情勢の変化に伴う人権問題の多様化

- 社会生活においては、子どもや高齢者への虐待、女性への暴力、障害者への差別などが依然として存在するほか、感染症に関する差別も繰り返し発生しています。
- 社会情勢の変化に伴い、インターネットによる人権侵害や性的少数者への差別が顕在化するなど、人権問題は多様化しています。

ジェンダーに基づく課題の顕在化

- 男女共同参画社会の実現は、国の最重要課題と位置づけられ、法制度の整備が進められています。
- 政策・方針決定過程への女性登用が進まない中、災害や感染症などに起因する社会不安・環境変化等に伴い、女性への暴力や固定的な性別役割分担意識などのさまざまな課題が顕在化しています。

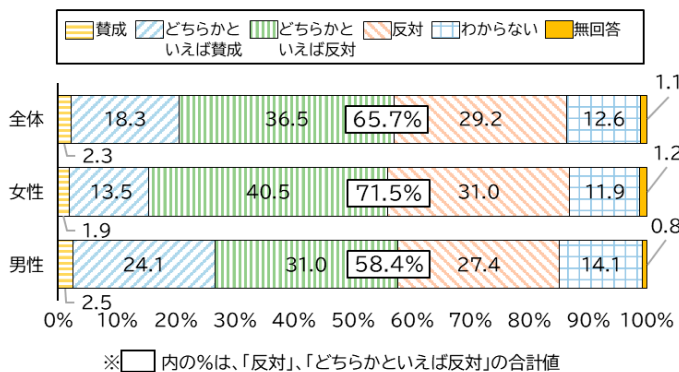
外国人住民への対応

- 人口減少・少子高齢化の進行やグローバル化により、直近5年間で外国人住民は約1.5倍となり、今後も、さらなる増加が見込まれています。
- 言語や文化、価値観の違いなどから、地域におけるコミュニケーションや必要な情報の伝達に課題があります。

平和を尊重する思いの共有

- 世界では今なお民族、領土、資源などの問題をめぐる紛争や対立が続いています。
- 我が国においては、国民の多くが戦後生まれとなっていることから、平和を尊重する思いを育み続けることが必要です。

性別役割分担（男性は仕事、女性は家庭）の考え方についての意識



(資料)男女共同参画に関する市民意識調査(R2年度)



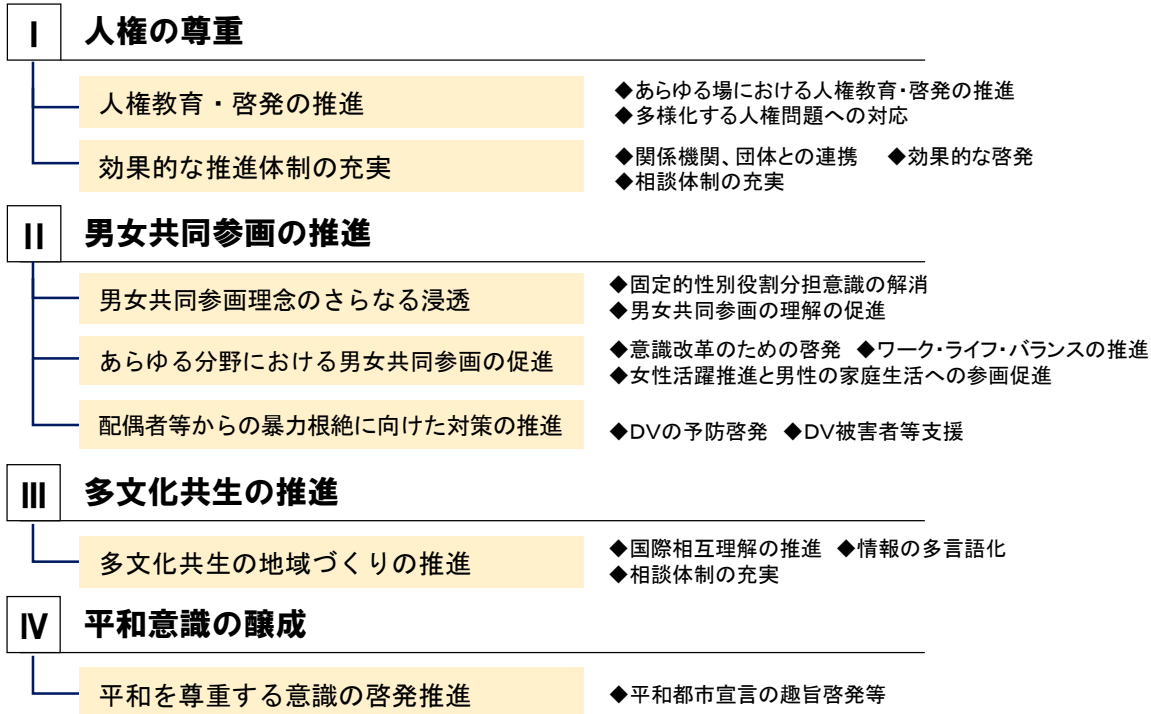
人権街頭啓発

基本的方向

- I 学校や家庭、地域社会など、あらゆる場や機会を捉え、人権教育や人権啓発を推進します。
- II 男女共同参画の推進に向けた意識啓発を図るとともに、重大な人権侵害であるDVや性暴力などの根絶に向けた取組を進めます。
- III 国籍や民族などの異なる人々が互いに文化的差異を認め合い、ともに生きていく地域づくりを推進します。
- IV 平和を尊重する意識を醸成するため、各種平和啓発事業を推進します。

施策の体系

誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の形成



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「一人ひとりの人権や多様性が尊重され、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりが進んでいる」と感じる市民の割合	17.1%	➡	22.1%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
人権について学ぶ機会のあった市民の割合	20.4%	➡	30.4%	市民意識アンケート調査
「男性は仕事、女性は家庭」という固定観念を持たない市民の割合	65.7%	➡	78.7%	男女共同参画に関する市民意識調査
多文化共生事業への参加者数	1,938人	➡	3,200人	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇人権についての理解を深め、性別や年齢、国籍等に関わりなく、互いに認め合い、具体的な行動につなげましょう。 ◇男女共同参画の意義を理解し、家庭や地域、職場への浸透を図りましょう。 ◇平和を尊重し、平和の大切さを次の世代に伝えましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇性別や年齢、国籍等に関わりなく、互いに理解し認め合える環境づくりや人権の視点を踏まえた企業活動に努めましょう。 ◇方針決定過程への女性の参画を進め、男女がともに仕事と生活の調和を図ることができるよう職場環境の整備に努めましょう。

1 ゼロカーボンシティかごしまの推進

施策の目標

地球温暖化対策に協働・連携して取り組み、CO₂排出実質ゼロを目指します！



現状と課題

地球温暖化による気候変動リスクの深刻化

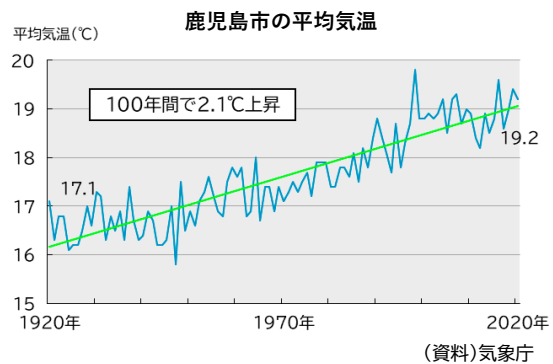
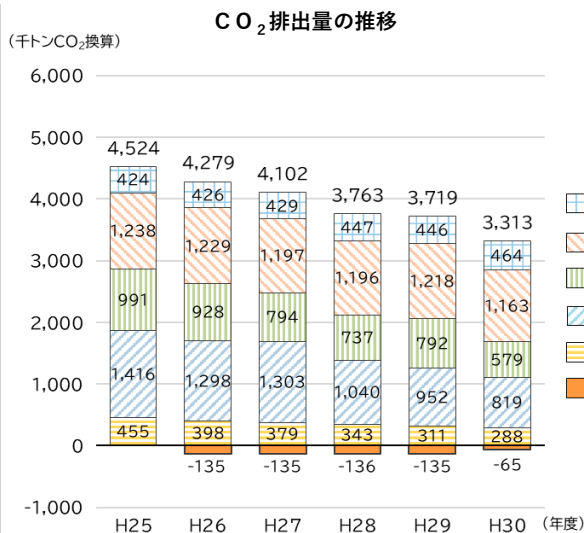
- 近年、猛暑や豪雨など、異常気象による災害が増加しており、世界的に「気候危機」と呼ばれるほど切迫した状況にあります。
- 気候変動の影響により、自然災害、健康や農作物への被害が懸念されており、それらに備える対策の必要性が高まっています。
- パリ協定などの国際的な潮流を踏まえ、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする都市の実現に向け、市民や事業者等と一体になって取り組むことが必要です。

持続可能なエネルギーへのシフト

- 私たちの生活に欠かせないエネルギーは、依然としてCO₂を排出する化石燃料に大きく依存しています。
- 東日本大震災や大型台風による停電等を契機に、大規模発電所に頼らない、エネルギー供給源の分散化が課題となっています。
- それぞれの地域で消費するエネルギーを、CO₂を排出しない、持続可能なエネルギーへシフトすることが求められています。

地球温暖化に対する理解から行動への変容

- 地球温暖化について、多くの市民や事業者が身近な問題として危機感を抱いてはいるものの、自らの課題として捉え、積極的に行動する機運までには至っていない状況にあると考えられます。



市有施設の太陽光発電システム

基本的方向

- I 省エネルギーの推進や電気自動車等への転換、健全な森林づくりによる吸収源対策の推進を図るなど、CO₂排出量の削減に取り組むとともに、気候変動により、既に現れている、又は将来想定される自然災害や健康被害などを防止・軽減する適応策の推進を図ります。
- II 太陽光発電システム等の導入やゼロカーボン電力のさらなる利用拡大などにより、再生可能エネルギーの地産地消を進めます。
- III 環境学習・環境教育を推進するとともに、市民や事業者等に対してわかりやすい広報・啓発を行うことにより、環境問題についての理解を深め、エコスタイルへの転換を推進します。

施策の体系

ゼロカーボンシティかごしまの推進

- I **CO₂排出量の削減と気候変動の影響への対応**
 - 省エネルギー技術の普及促進 ◆建築物の省エネルギー化の推進
 - 電気自動車等の普及促進 ◆公用車への導入推進 ◆市民・事業者への導入支援
 - 森林整備等によるCO₂吸収源対策の推進 ◆森林整備・保全の推進 ◆都市緑化の推進
 - 気候変動適応策の推進 ◆自然災害や自然生態系に対する影響への適応 ◆市民の生活や健康に対する影響への適応
- II **再生可能エネルギーの地産地消の推進**
 - ゼロカーボン電力への転換 ◆卒FITの有効活用 ◆地域新電力等との連携
 - 市有施設における率先導入 ◆市有施設への導入推進と有効活用 ◆バイオガスの地産地消
 - 市民・事業者への導入支援 ◆補助等支援策の実施
- III **エコスタイルへの転換**
 - 環境学習・環境教育の推進 ◆かごしま環境未来館を中心とした環境学習及び協働・連携の推進
 - エコライフスタイルへの転換 ◆市民への広報啓発 ◆シェアリング・エコノミーの普及促進
 - エコビジネススタイルへの転換 ◆事業所等との連携

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
CO ₂ 排出量の削減率(平成25(2013)年度比)	28.2%減	➡	41.0%減	
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
新車販売台数に占める電気自動車等の割合	31.5%	➡	60.0%	市内の自動車販売店への調査
「太陽光発電の普及が進んでいる」と感じる市民の割合	34.5%	➡	46.0%	市民意識アンケート調査
かごしま環境未来館の利用者数	91,945人	➡	130,000人	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇地球温暖化に対する理解を深め、省エネルギーなど環境に配慮したライフスタイルを実践しましょう。 ◇電気自動車等や太陽光発電などを積極的に導入しましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇省エネルギー対策や環境マネジメントなどに積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を実践しましょう。 ◇太陽光や風力、水力等の再生可能エネルギーを積極的に導入しましょう。 ◇使用電力をゼロカーボン電力に転換しましょう。

2 循環型社会の構築

施策の目標 資源が循環し、環境負荷が低減される社会を構築します！



現状と課題

家庭・事業系ごみの減少傾向の鈍化

- 家庭及び事業系のごみ量は、これまで各種施策の取組により、減少傾向にありましたが、近年横ばいで推移しています。
- 清掃工場に搬入されるごみに、古紙類等の資源物や産業廃棄物が混入しているなど、分別がなされていないものがみられます。

プラスチック容器類等の消費量の増加

- 飲料カップなどのプラスチック容器類等は、便利なライフスタイルへの移行とともに消費量が増加しています。
- プラスチック容器類等の不適正な処理による河川等への流出は、海の生態系に影響を及ぼす海洋プラスチック問題の要因ともなっています。

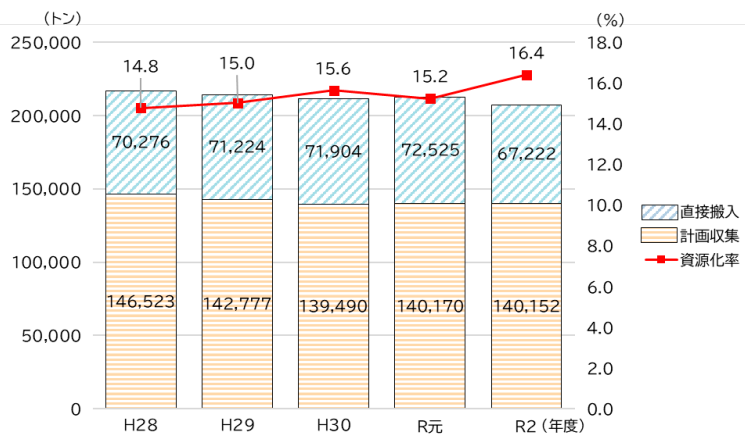
ごみ出しが困難な高齢者等の増加

- 高齢化の進行等により、家庭から排出されるごみ・資源物をごみステーションまで運ぶことが困難な方が増加することが見込まれます。

産業廃棄物の不法投棄や不適正保管

- 不法投棄や排出事業者による不適正保管がみられます。
- 産業廃棄物の資源化は進んでいますが、資源化されたりサイクル製品の利活用の促進を図る必要があります。

計画収集量（家庭から）・直接搬入量（主に事業所から）・資源化率の推移



生ごみリサイクル授業



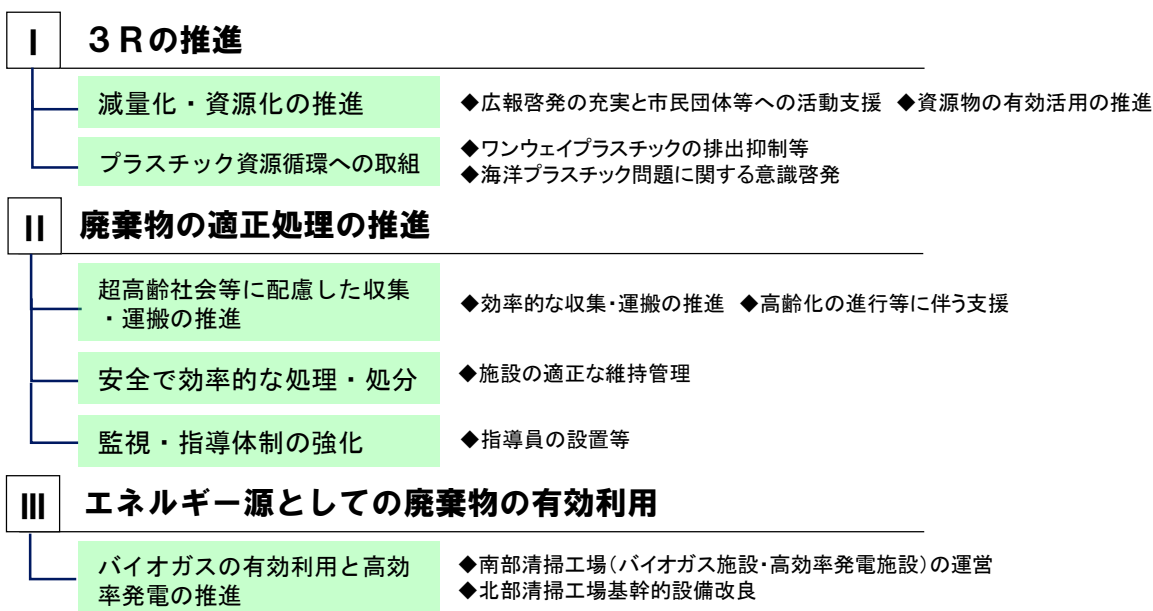
南部清掃工場

基本的方向

- Ⅰ 3Rの推進による資源の有効活用や市民・事業者への意識啓発を図るとともに、プラスチックの資源循環への取組を進めます。
- Ⅱ 効率的で超高齢社会等に対応した収集・運搬やごみステーションの美化の推進、不適正処理の防止等に向けた監視・指導の強化に取り組みます。
- Ⅲ 清掃工場においては、エネルギー源としての廃棄物の有効利用や高効率発電の推進を図ります。

施策の体系

循環型社会の構築



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
3Rをすべて実践している市民の割合	26.3%	➡	40.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
資源化率	16.4%	➡	21.8%	市ごみ量統計
不法投棄確認件数	200件	➡	145件	
ごみ1トン当たりの発電量	416kWh/t	➡	469kWh/t	北部・南部清掃工場の年間ごみ発電量合算値

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇簡易包装や耐久性に優れた商品の購入など、ごみの減量化や資源物の分別に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルを実践しましょう。 ◇ワンウェイプラスチック製品の使用削減に努めましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごみの減量化に努めるとともに、排出者責任に基づき、適正に処理しましょう。 ◇リサイクル製品の積極的な活用等により、環境負荷の低減に努めましょう。

3 人と自然が共生する都市環境の構築

施策の目標 豊かな生物多様性のもと、人と自然がふれあうまちを創ります！



現状と課題

生物多様性を損なう要因への対応

- 開発などの人間活動や地球温暖化、外来種の侵入などによる影響が生物多様性を保全する上での課題となっています。
- 生物多様性の重要性に対する市民や事業者の意識の高揚を図り、具体的な行動につなげていくことが必要です。

緑の保全・創出と次世代への継承

- 人と自然が共生する環境や景観の形成、余暇活動の場の提供など、さまざまな役割を担っている緑が、市街化区域では少ない状況となっています。
- 都市内に残る緑を保全するとともに、新たな緑を創出し、緑豊かな環境を次世代に継承していく必要があります。

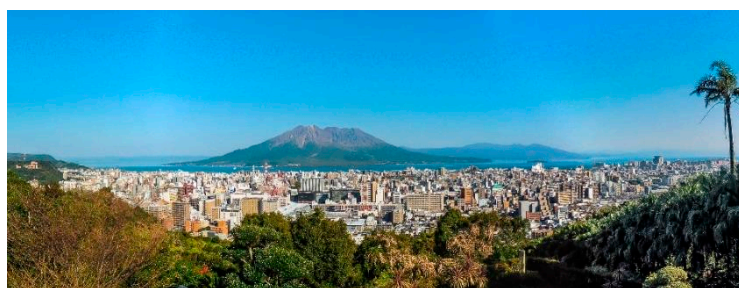
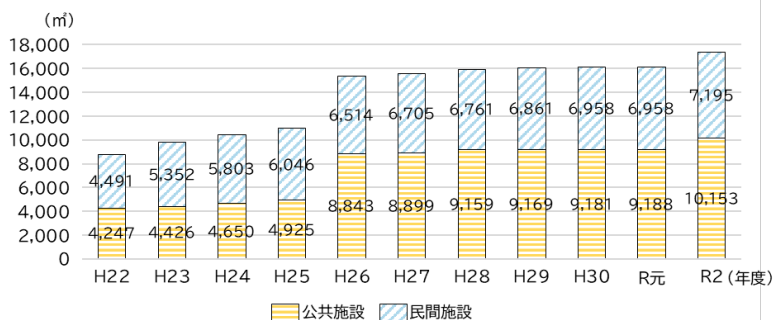
公園利用者の多様なニーズへの対応

- 市民1人当たりの都市公園面積は全国平均に比べ依然として低い水準にあり、今後も引き続き、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図っていく必要があります。



市民との協働による緑化活動

屋上・壁面緑化面積の推移



武岡公園整備予定地からの眺望



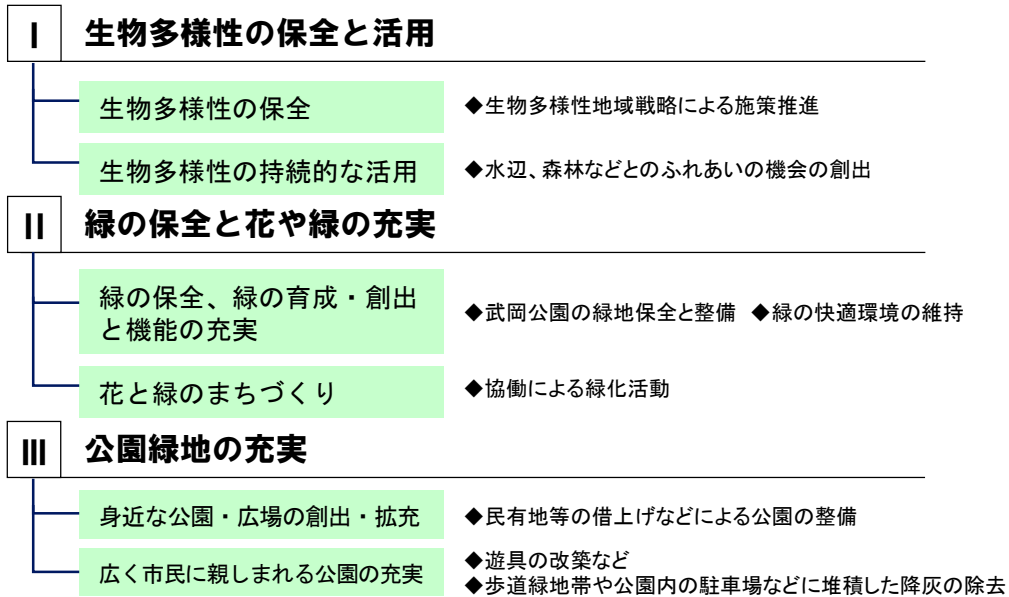
自然百選（平田の里山）

基本的方向

- Ⅰ 自然共生社会を築くため、市民や事業者等と連携し、自然環境の保全や自然とのふれあいの創出、持続可能な利用などを推進します。
- Ⅱ 市民や事業者等との協働による緑化活動の仕組みづくりを進め、緑の保全や創出に取り組むことにより、花と緑で彩るまちづくりを推進します。
- Ⅲ 公園緑地の調和のとれた配置・拡充やすべての人にとって利用しやすい公園づくりに取り組みます。

施策の体系

人と自然が共生する都市環境の構築



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「緑や水辺などの自然とのふれあいの場や機会がたくさんある」と感じる市民の割合	66.0%	➡	73.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「かごしま生きものラボ」を授業等で活用している小学校の割合	61.7%	➡	89.0%	市内の全小学校へのアンケート調査
屋上・壁面緑化の整備面積	17,348㎡	➡	18,300㎡	公共、民間施設の屋上緑化及び壁面緑化の整備面積の合計
市民1人当たりの都市公園面積	7.9㎡/人	➡	8.1㎡/人	都市公園面積/人口

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇自然や生きものとの関わりについて関心を持ち、自然環境の保全や自然とのふれあいに積極的に取り組みましょう。 ◇地域の公園や緑をみんなで大切に守りましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇自然環境に配慮した事業活動を行うとともに、自然保護活動へ参加・協力しましょう。 ◇花や緑で潤いと彩りのある環境づくりに努めましょう。

4 生活環境の向上

施策の目標 きれいで快適な生活環境を目指します！



現状と課題

化学物質による環境リスクへの対応

- 大気等の常時監視や発生源の規制・指導などの取組により、大気、水質は良好な状態が保たれています。
- 安全で快適な生活環境を保全するためには、アスベスト飛散防止や化学物質による環境リスクの低減などに向けた取組が必要です。

住みよい生活環境のさらなる推進

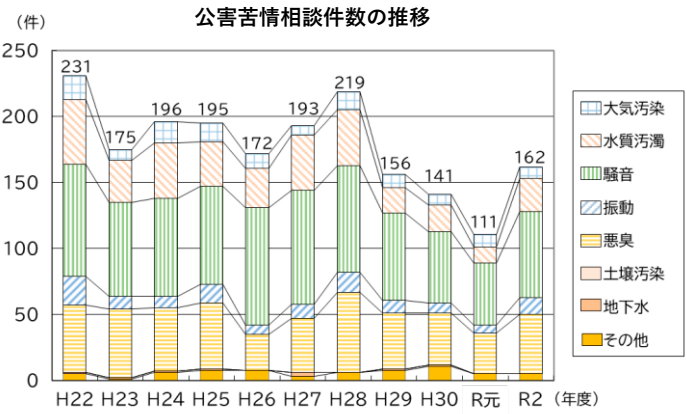
- 市民や団体等による市民一斉清掃や美化啓発活動等により、まちの環境美化が図られています。
- ごみのポイ捨て防止や衛生害虫駆除による、住みよい生活環境づくりをさらに推進する必要があります。
- 犬猫等については、生活環境の向上と殺処分数の減少のため、適正な飼い方などに関する意識啓発を図る取組が必要です。

墓地のあり方の変化

- 継承者が不在となった管理の行き届かない墓への対応や参道整備などの環境整備を行う必要があります。



大気汚染常時監視測定局（市役所局）



クリーンシティかごしま

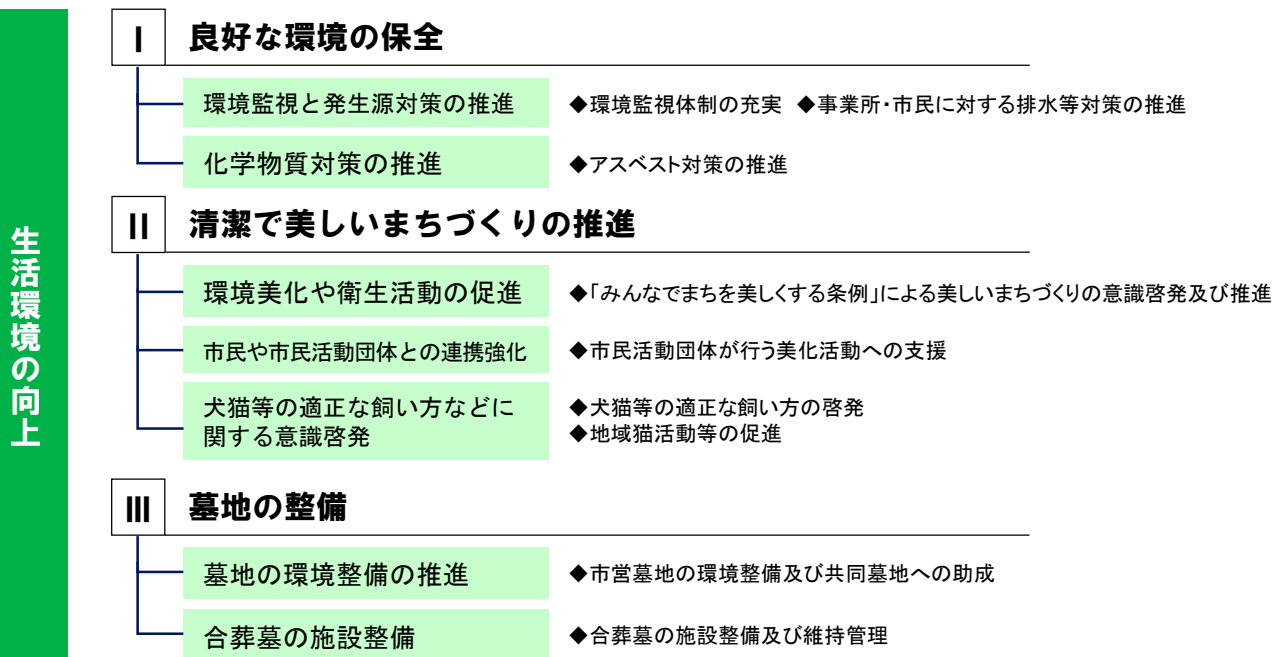


唐湊墓地

基本的方向

- I 環境監視体制の充実や発生源対策に取り組むとともに、アスベストなどの化学物質対策を推進します。
- II 環境美化や衛生活動に対する市民意識の高揚に努め、市民総参加による美しいまちづくりをさらに推進します。また、人と動物の調和のとれた共生社会を目指す取り組みを推進します。
- III 市営墓地内の施設改良や環境整備を行い、墓地使用者の利便性の向上を図るとともに、合葬墓の整備を図ります。

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「きれいで快適なまち」と感じる市民の割合	68.5%	➡	74.5%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
公害苦情相談件数	162件	➡	154件	
まち美化地域指導員の認定数	3,234人	➡	4,074人	
過去1年間にまち美化活動に参加したことがある市民の割合	40.3%	➡	50.0%	市民意識アンケート調査

市民みんなで

市民・地域	◇環境保全活動や美しいまちづくりに向けた活動に積極的に参加しましょう。 ◇犬猫等を適正に飼養しましょう。
事業者・団体等	◇アスベストの飛散防止対策を適正に行うなど、環境リスクの低減に取り組みましょう。 ◇地域と連携して、まちの美化活動に取り組みましょう。

1 地域特性を生かした観光・交流の推進

施策の目標 オンリーワンの魅力で世界から選ばれる観光都市を目指します！



現状と課題

国内外の市場トレンドの変化

- 人口減少を要因として、我が国の旅行消費額に占める割合が高い国内市場の縮小が懸念される中、観光産業の一層の振興により、国内外からの交流人口をさらに増加させていくことが期待されています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大によって、国内市場はもとより、インバウンド市場は特に大きな影響を受けていますが、感染症収束後においては、インバウンド市場は引き続き重要な位置づけとなると見込まれます。

観光客のニーズの多様化

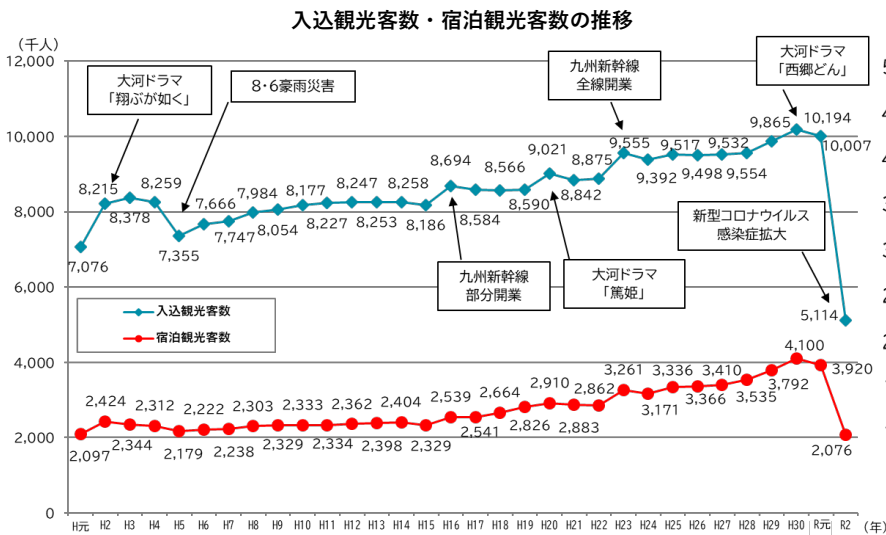
- ライフスタイルや嗜好の変化、またインバウンドなどの観光市場の拡大により、観光客のニーズが多様化しています。
- 防災や感染症対策への関心が高まり、安心・安全への対応がさらに重要となっています。

地域間競争の激化

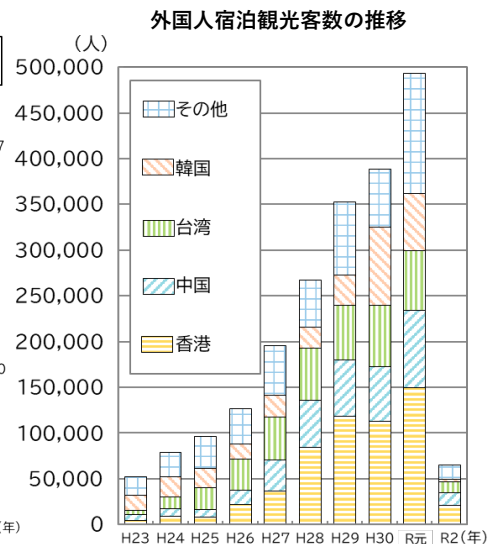
- 観光への関心の高まりを背景に、さまざまな地域や業種が観光市場へ参入し、地域間競争が激化しています。

観光分野における急速なデジタル化

- スマートフォンを用いて情報収集から予約・支払まで完了するなど、加速度的に消費者行動が変化しています。
- 急速なスピードでICTが進化し、観光客の行動分析が進んでいます。



(資料)鹿児島市観光統計



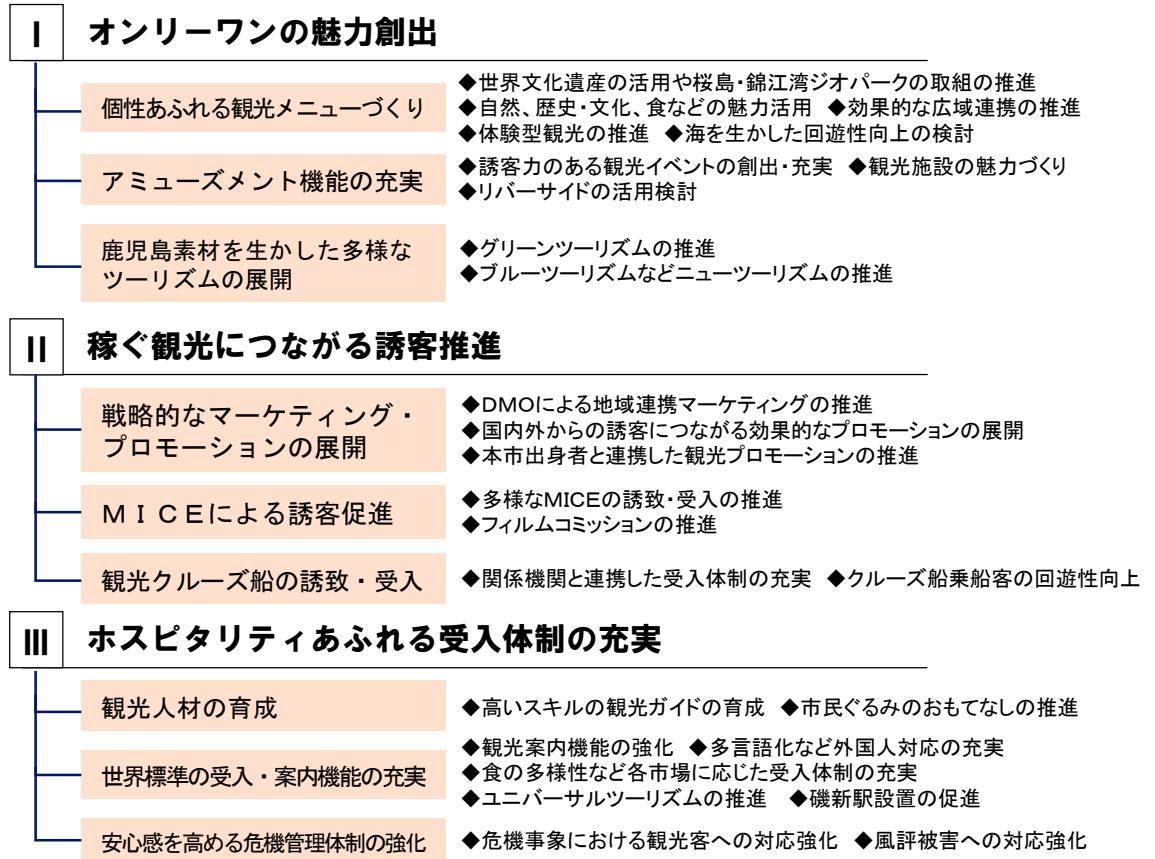
(資料)鹿児島市観光統計

基本的方向

- I 世界に誇れる個性豊かな観光資源を磨き上げ、オンリーワンの魅力づくりを展開します。
- II 多様な切り口による戦略的なプロモーションを展開し、稼ぐ観光の実現につながる一層の誘客に取り組みます。
- III 観光客の満足度をさらに高め、ホスピタリティあふれる安心・快適な受入環境の充実を図ります。

施策の体系

地域特性を生かした観光・交流の推進



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「観光がまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	39.1%	➡	73.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
宿泊観光客数	2,076千人	➡	4,000千人	市観光統計
1人1泊当たりの観光消費額	28,800円／人泊	➡	31,000円／人泊	市観光消費額調査
知人に鹿児島市への旅行を勧めたい観光客の割合	46.3%	➡	100.0%	市観光消費額調査

市民みんなで

市民・地域	◇地元の魅力を楽しみ、一人ひとりが「鹿児島ファン」として、観光客におもてなしの心を持って接しましょう。
事業者・団体等	◇安心して快適に観光できる観光地づくりを進めましょう。 ◇新たな視点や連携により、鹿児島の素材の付加価値を高め、観光消費額の向上を目指しましょう。

2 スポーツ交流・振興の推進

施策の目標 スポーツを通じて活力あるまちを目指します！



現状と課題

スポーツの持つ魅力の高まり

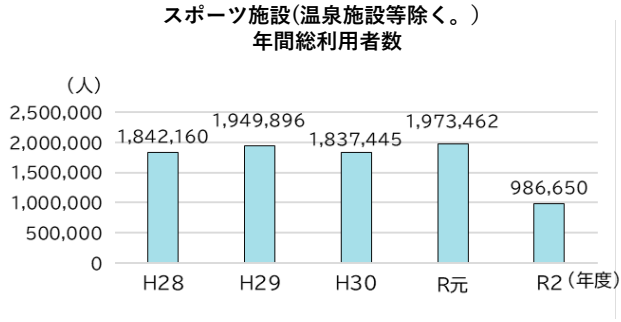
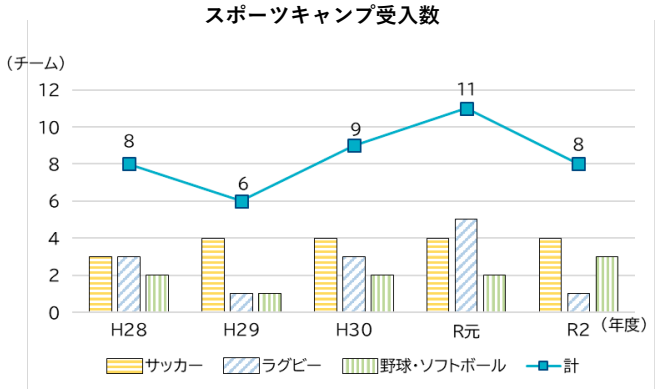
- 鹿児島マラソンやスポーツキャンプ、特別国民体育大会等を通じた「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツの楽しみ方がスポーツ参画人口の拡大につながっています。
- 自然・景観・歴史・文化、温泉、食など、さまざまな地域資源とスポーツコンテンツ等を融合させ、さらに魅力を高める動きが各地域で広がっています。

地元プロスポーツ・スタジアム等への期待

- スポーツを通じた活力あるまちづくりを牽引する上で、地域資源である地元プロスポーツチームなどを育成する重要性が高まっています。
- サッカー等スタジアムなどは、まちづくりやにぎわい創出の拠点となる役割を担うことが期待されています。

スポーツニーズの高まりと多様化

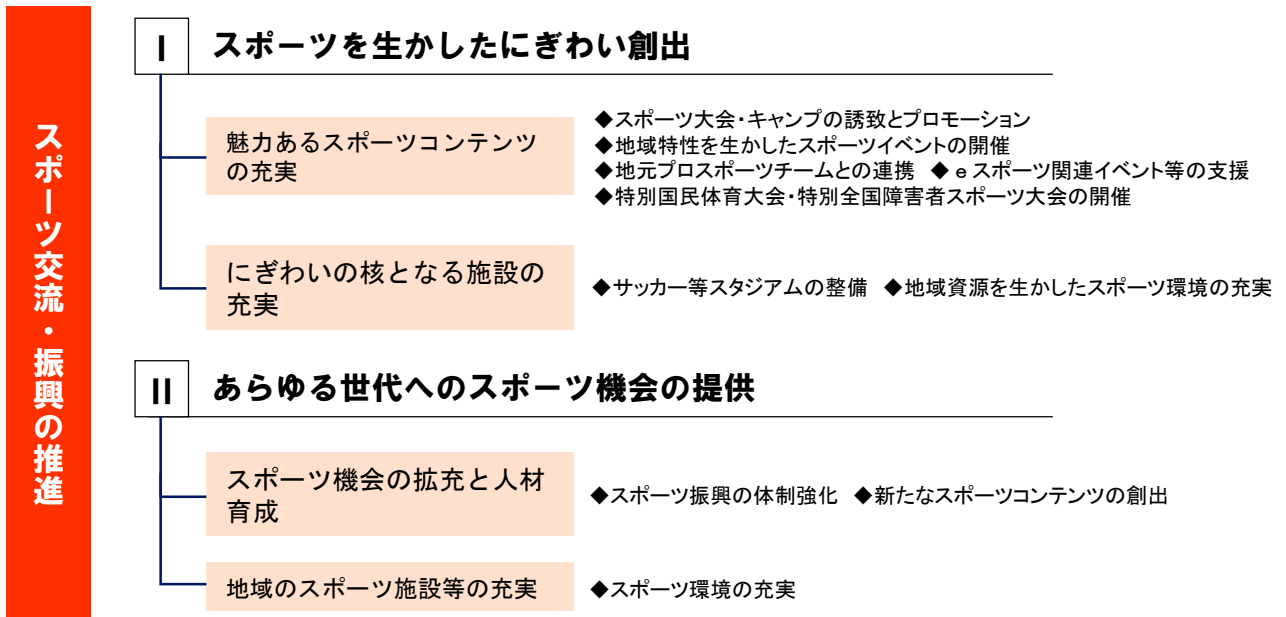
- 社会環境やライフスタイルの変化により、eスポーツを含め、スポーツニーズが多様化しているほか、スポーツを支える担い手の役割も変化しています。
- 日常生活の中でライフスタイルやそれぞれの体力・技術、目的・興味に応じて、スポーツを気軽に楽しめる機会を充実させる重要性が高まっています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大やスポーツ施設の老朽化などに対し、安心・安全にスポーツを楽しむ環境づくりへのニーズが高まっています。



基本的方向

- I スポーツの多様な楽しみ方を提案し、まちなぎわい創出と交流人口の拡大につながるようなスポーツコンテンツ・施設の充実を図ります。
- II 市民の目的や体力に応じたスポーツ機会の充実を目指し、あらゆる世代がスポーツに親しむことができる環境整備を図ります。

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「スポーツがまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	42.4%	➡	50.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
スポーツキャンプの受入数	8チーム／年	➡	5年間で50チーム	
スポーツ施設の利用者数	987千人	➡	2,170千人	

市民みんなで

市民・地域	◇スポーツイベントを楽しみ、地元プロスポーツチームを応援しましょう。 ◇運動を習慣づけるとともに、地域のスポーツ活動等に参加し、心身の健康増進を図りましょう。
事業者・団体等	◇スポーツイベント等の開催をまちなぎわい創出につなげましょう。 ◇スポーツを通じた地域振興・貢献に取り組みましょう。

3 地域産業の活性化

施策の目標

多彩な“人財”が活躍し、持続可能な経済活動が展開されるまちを目指します！



現状と課題

社会経済情勢の変化や技術革新の進展

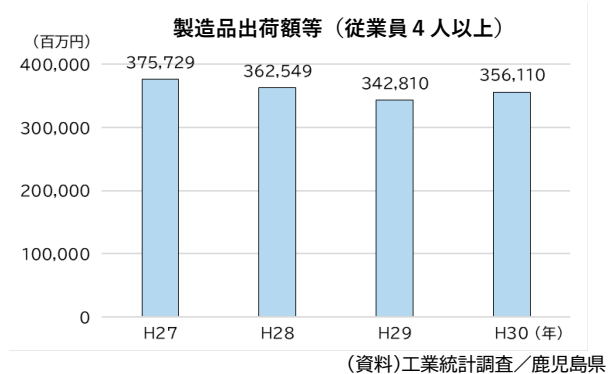
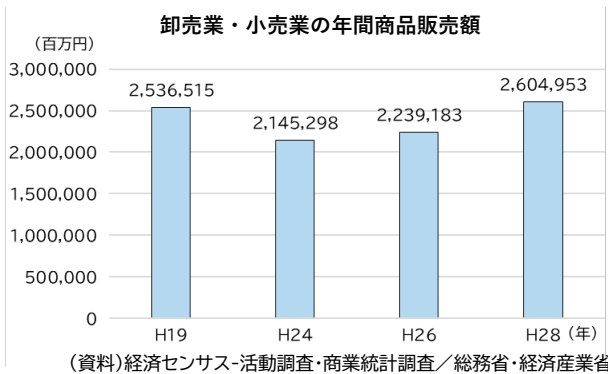
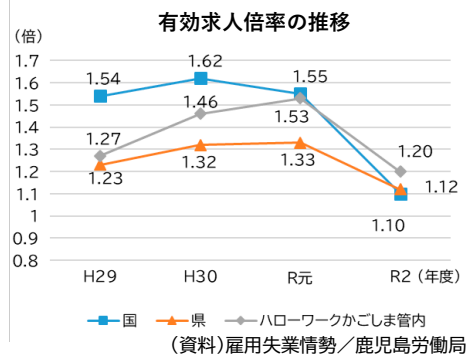
- 人口減少に伴う消費市場の縮小やEC（電子商取引）市場規模の拡大など、地域産業を取り巻く環境は大きく変化してきています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大は、事業活動の停滞や消費マインドの低下など、地域産業に重大な影響を与えています。
- 中小企業経営者の高齢化が進行し、後継者の不在など、事業の継続に課題を抱えている企業が増加しています。
- 技術革新が急速に進展する中、先端技術を活用した生産性の向上の可能性が広がってきています。

国内市場の縮小とグローバル化

- 国内市場の縮小が見込まれる一方、国際的な経済連携関係が構築されるなど、世界の経済圏は変化し、海外での新たな市場獲得の可能性が広がっています。

若年層の流出と労働力人口減少による人手不足

- 新卒者県内就職率が低く、若者の地元定着は厳しい状況が続いているほか、労働力人口減少による人手不足への対応が求められています。



基本的方向

- I 新たな事業展開等の促進や新たな価値を生み出す人材等の創出のほか、企業立地の推進などにより、新たな産業の創出を図ります。
- II ビジネス環境の変化への対応を支援するとともに、地域の中核を担う商店街やものづくり産業の活性化を図るなど、地域を支える産業の成長促進に取り組めます。
- III 海外取引に関する事業者の販路拡大を支援するとともに、海外との円滑な取引のための環境整備を行うなど、海外展開の促進を図ります。
- IV ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、市内事業所の労働環境整備を支援し、働き手の事情に応じた多様で柔軟な働き方を促進します。また、働く意欲のあるすべての人の就労を促進するとともに、若者の地元定着を図ります。

施策の体系

地域産業の活性化



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「産業振興が図られ雇用機会に恵まれるなど、地域産業が活性化している」と感じる市民の割合	13.5%	➡	31.8%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
本市支援による新規創業者数	33事業者／年	➡	5年間で180事業者	
1事業所当たりの製造品出荷額等(従業者4人以上)	76,254万円	➡	82,538万円	県工業統計
本市の事業活用による海外展開を伴う商談成約件数	10件／年	➡	5年間で80件	
鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)管内の新規学卒者の県内就職率	65.1%	➡	66.6%	鹿児島公共職業安定所統計

市民みんなで

市民・地域	◇市内企業の製品・サービス等に対する理解を深め、積極的に利用しましょう。
事業者・団体等	◇新たな事業展開や付加価値の高い製品等の開発に取り組みましょう。 ◇デジタル化等を通じて、効率的なビジネス環境づくりを進めましょう。 ◇多様な働き方を推進し、職場の魅力向上に取り組みましょう。

4 中心市街地の活性化

施策の目標 観光・商業・交流によるにぎわいあふれる中心市街地を目指します！



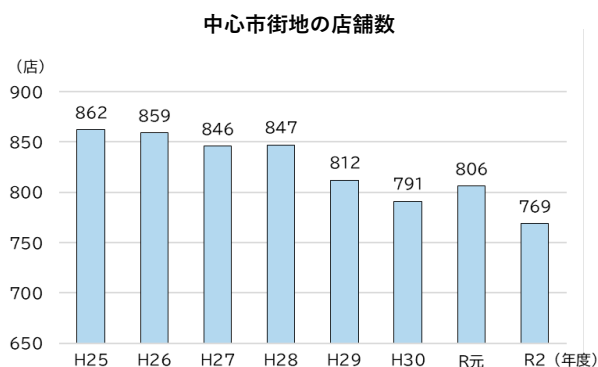
現状と課題

商業機能の集積度合いの低下

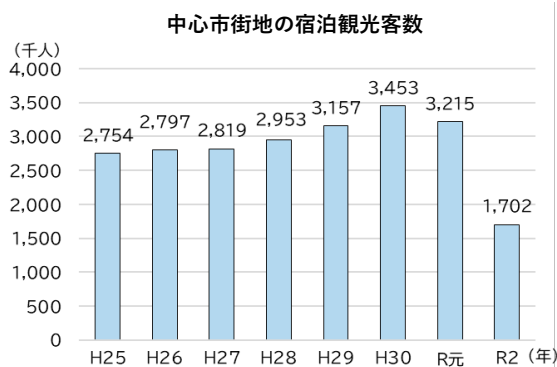
- 中心市街地外域の大型商業施設の増加やEC市場規模の拡大などにより、中心市街地の商業機能の集積度合いが相対的に低下しています。
- それに伴い、市民の中心市街地への来街機会が減少しています。

観光客を街なかに誘導する取組の必要性

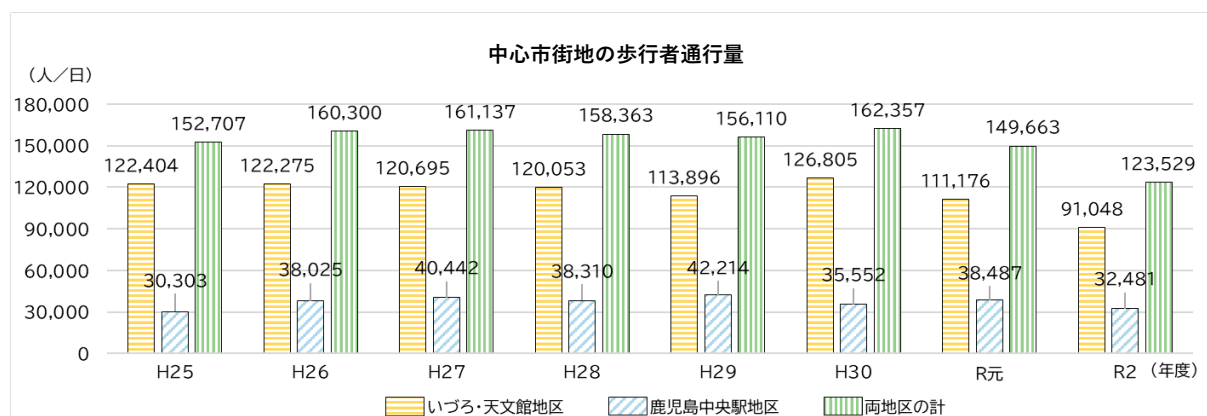
- これまでの取組により、中心市街地の入込観光客数や宿泊観光客数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年は大きく減少しました。
- また、市全体でのさらなる人口減少や個人消費の縮小など、地域経済への影響が懸念されます。
- 街なかにおけるにぎわいと活力を維持し、向上させるためには、中心市街地にさらに多くの観光客を呼び込み、滞在させるための取組が必要です。



(資料) 鹿児島市空き店舗実態調査
※調査区域内の通りに面した1階部分の店舗数



(資料) 鹿児島市観光統計



(資料) 鹿児島市歩行者通行量調査

基本的方向

- I 商業・居住・業務機能ややすらぎ空間などの都市機能のさらなる充実、街なかへの出店・創業を促す取組など、街なかのにぎわい創出を進めます。
- II 多彩な地域資源やイベントの充実等による街なかならではの魅力向上や街なかで過ごし楽しむ機能の充実により、都市型観光を推進します。

施策の体系

中心市街地の活性化

I 街なかのにぎわい創出

多様な都市機能のさらなる充実

◆多世代が安心して働き暮らせる都市空間の創出

街なかへの出店・創業の促進

◆新たな人材の育成・支援 ◆鹿児島の魅力を生かした企業立地

民間主導によるにぎわい創出

◆街なかのにぎわいづくり支援 ◆持続的・自立的な取組の促進

にぎわい拠点を生かした回遊性向上

◆街なかめぐりの仕掛けづくり

II 都市型観光の推進

街なかならではの魅力向上

◆歴史や食などの地域資源の活用 ◆宿泊につながるイベント等の充実

街なかを楽しむ観光機能の充実

◆多様な都市観光機能の充実

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「中心市街地がにぎわっている」と感じる市民の割合	31.6%	➡	43.9%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合	89.4%	➡	91.2%	市空き店舗実態調査
中心市街地の宿泊観光客数	1,702千人	➡	3,320千人	市観光統計

市民みんなで

市民・地域	◇中心市街地を訪問し、買い物やイベントへの参加など、街なかならではの魅力を楽しみましょう。
事業者・団体等	◇地域住民や行政と協力して中心市街地のにぎわいづくりや魅力の向上に取り組みましょう。

5 農林水産業の振興

施策の目標 魅力ある地域資源を育み、生かし、つながる持続可能な農林水産業の確立を目指します！



現状と課題

高齢化による担い手の減少

- 高齢化が進み、農林水産業従事者数は減少しています。
- 新規就業者や後継者の育成を図っていますが、生産物の価格低迷や資材の高騰などにより、経営は不安定な状況です。

気候変動等による生産環境の変化

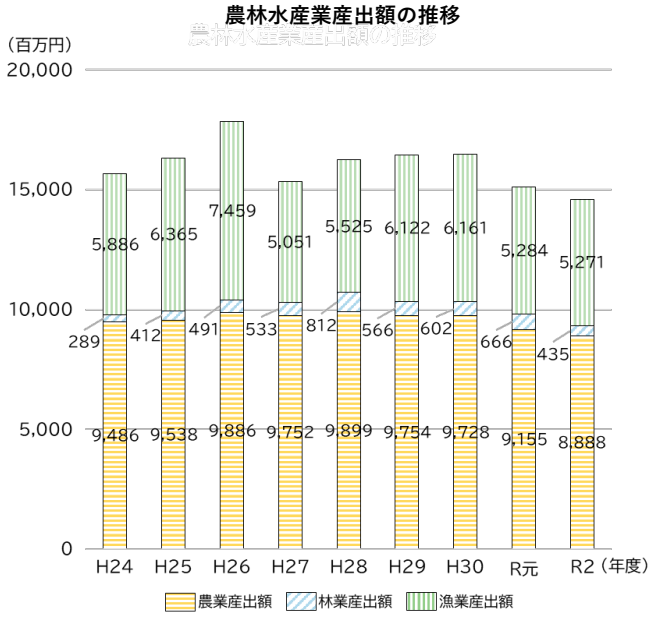
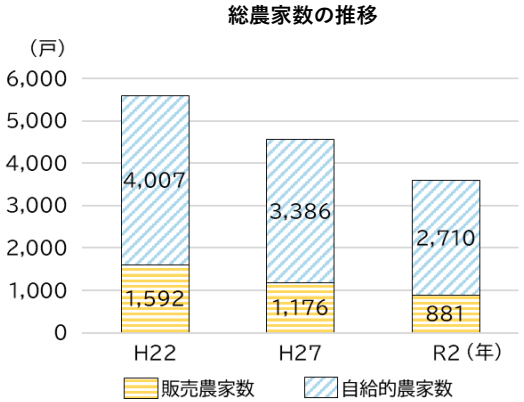
- 平均気温の上昇による影響や新たな病害虫の発生、鳥獣による農作物等への被害など、生産環境が変化しています。

生産基盤の機能維持

- 自然災害の頻発化、農道や水路等の生産基盤の老朽化、遊休農地や管理不足の森林などにより、国土の保全や水源かん養等の多面的機能の低下が懸念されています。

消費者ニーズの多様化や他産地との競争激化

- 単身者・高齢者世帯の増加やライフスタイルの変化などにより、調理済み食品等の利用や健康への関心の高まりなど、消費者ニーズは多様化しています。
- 少子高齢化等に伴い国内市場が縮小し、TPP 11や日米貿易協定の発効などにより、輸入の増加も懸念され、他産地との競争は激化しています。

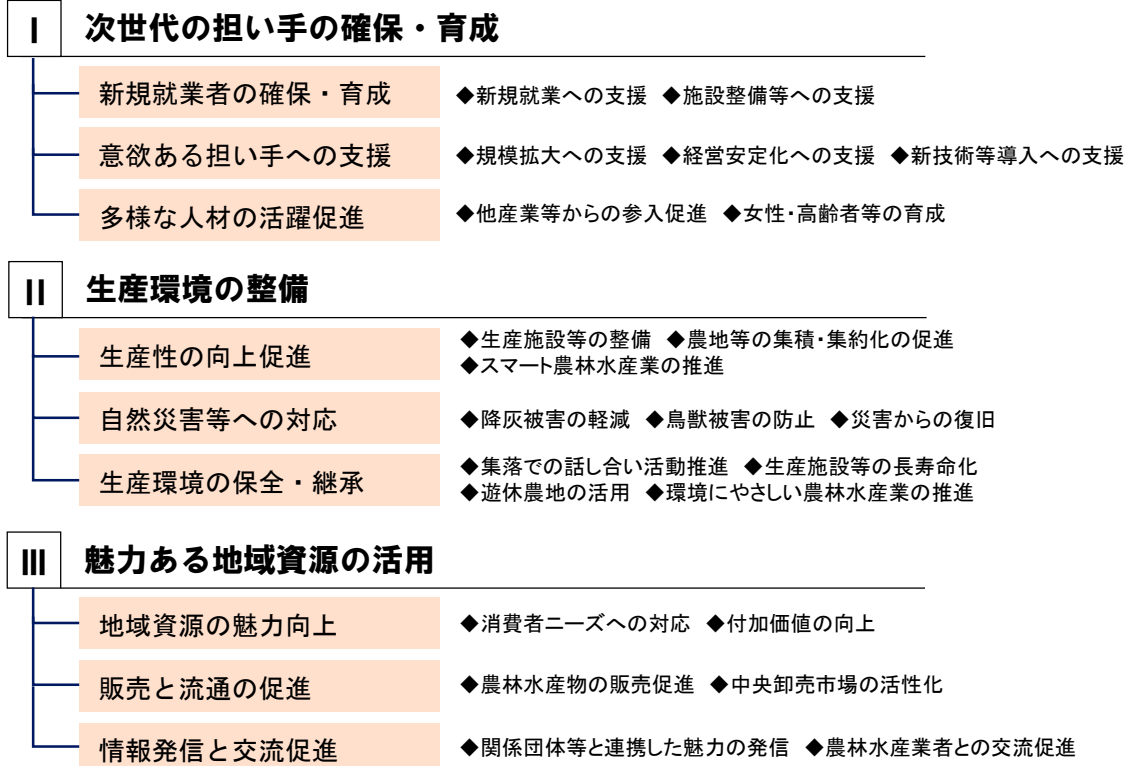


基本的方向

- I 新規就業者及び後継者等への支援や多様な人材の活用を図るなど、今後活躍する次世代の担い手の確保・育成に取り組みます。
- II 将来にわたって農林水産業を営んでいくために、スマート農林水産業を推進するなど、生産環境の整備に取り組みます。
- III 地域の有する“人材、農林水産物、それらを取り巻く環境”などの地域資源の活用を図ります。

施策の体系

農林水産業の振興



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「農林水産業の振興が図られている」と感じる市民の割合	67.6%	➡	71.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
農林水産業の新規就業者数	24人/年	➡	5年間で150人	市農林水産部統計
農林水産業産出額	14,594百万円	➡	15,774百万円	市農林水産部統計
6次産業化・農商工連携等によってつくられた新商品数	6品目/年	➡	5年間で50品目	市農林水産部統計

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇地元の農林水産物・農林水産業の魅力を多くの人に伝えましょう。 ◇地元農林水産物の消費に努めましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇環境負荷低減に取り組むとともに、安心・安全かつ新鮮で良質な農林水産物の安定供給に努めましょう。 ◇多様なニーズへの対応や付加価値向上に取り組み、他産地との差別化を図りましょう。

1 高齢化対策の推進

施策の目標

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指します！



現状と課題

高齢化の進行と人口減少

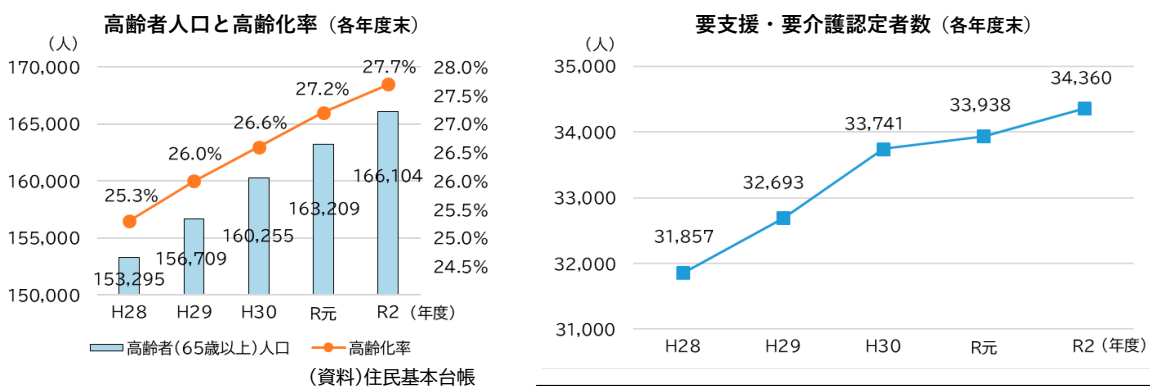
- 2025年には団塊世代が75歳以上、2040年には団塊ジュニア世代が高齢期を迎えるなど、今後も高齢化はますます進行することが見込まれます。
- 65歳以上人口の増加と生産年齢人口の減少に伴い、少ない現役世代で多くの高齢者を支えるという構造が強まります。
- “人生100年時代”を見据え、高齢者をはじめすべての人が生涯にわたって元気に活躍し続けられる社会が求められています。

介護を必要とする人や認知症高齢者の増加

- 高齢者の多くは介護が必要な状態になっても、可能な限り在宅で生活することを希望しています。
- 高齢者人口の増加に伴い、介護を必要とする人は、今後も増えることが予想されており、高齢者のひとり暮らし世帯や高齢夫婦世帯も増えています。
- 2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されており、多くの人が認知症に対する不安や心配を感じています。
- 介護する家族等の心的ストレスなどにより、高齢者虐待は増加傾向にあります。

介護サービス需要の増加・多様化

- 高齢化の進行に伴う要介護高齢者の増加などにより、介護サービス需要はますます増加し、サービス利用の状況も多様化しています。
- 介護保険制度の適正かつ持続的運営を図り、必要な介護サービスを安心して利用できる体制を確保する必要があります。

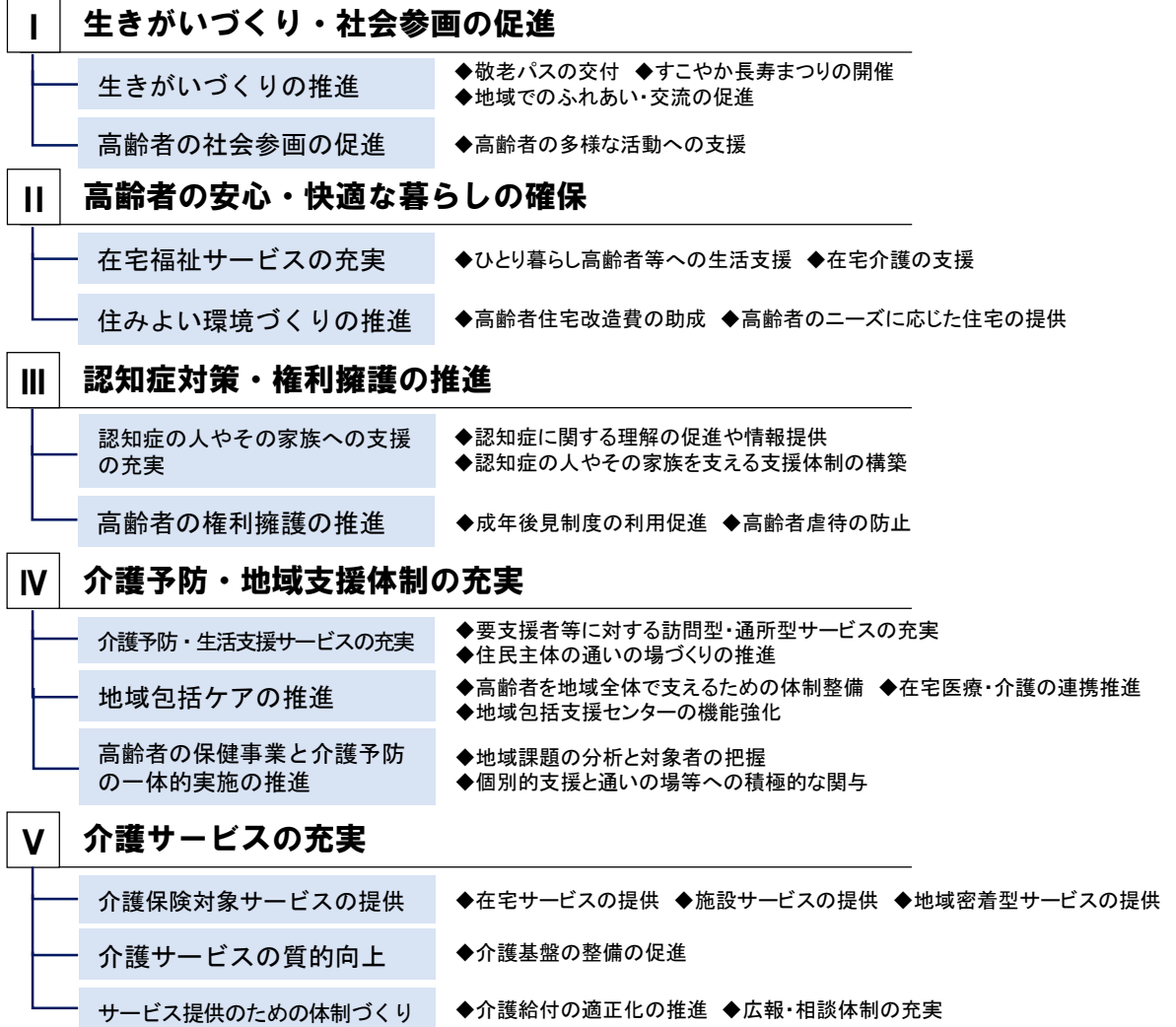


基本的方向

- I 明るく活力に満ちた高齢期を過ごせるよう、生きがいづくりや知識・経験を生かせる社会参画促進の取組を充実します。
- II 在宅生活を支援する福祉サービスの充実を図るとともに、住みよい環境づくりを推進することで、高齢者の安心・快適な暮らしを確保します。
- III 高齢者が地域で安心して暮らせるよう、認知症の早期発見・早期対応に取り組み、認知症の人やその家族の視点を重視しながら支援するほか、高齢者の権利擁護の取組を推進します。
- IV 地域包括ケアを推進するため、多様な主体による生活支援等を充実させるとともに、介護予防や疾病予防・重症化予防の一体的な実施を推進します。
- V 介護サービスの質的向上を図るとともに、介護給付の適正化など、サービス提供のための体制づくりを推進し、介護サービスを充実します。

施策の体系

高齢化対策の推進



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「高齢者が住み慣れた地域で、地域の支援やサービスを利用しながら、安心して暮らしている」と感じる市民の割合	37.1%	➡	42.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
愛のふれあい会食の年間延べ利用者数	62,033人	➡	130,000人	
ひとり暮らし高齢者世帯への安心通報システムの設置台数	1,420台	➡	1,600台	
認知症サポーター養成数(累計)	50,622人	➡	74,800人	
通いの場への参加者数	10,316人	➡	14,100人	
ケアプラン適正化指導により、ケアプランの質の向上等が図られた割合	76.5%	➡	83.0%	改善等件数/指導件数

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇高齢者自ら生きがいがづくりや健康づくり、社会参画に積極的に取り組みましょう。 ◇認知症に関する正しい理解を深めましょう。 ◇高齢者への声掛けや見守りなどに取り組みましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇高齢者が活躍できる環境をつくりましょう。 ◇認知症に関する正しい理解を深め、認知症の人やその家族を支援しましょう。 ◇高齢者が抱える多様なニーズに対応したサービスを充実させましょう。

2 地域共生社会の実現

施策の目標 福祉の充実を図り、地域共生社会の実現を目指します！



現状と課題

地域福祉を取り巻く情勢の変化

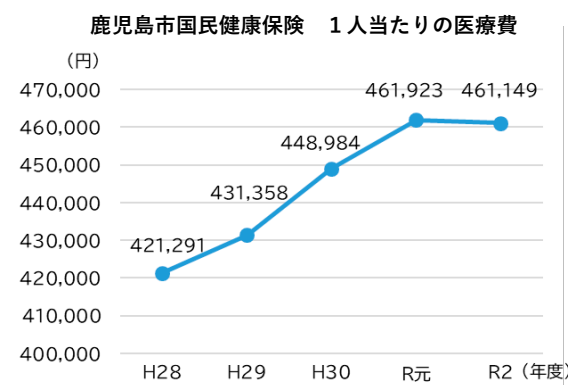
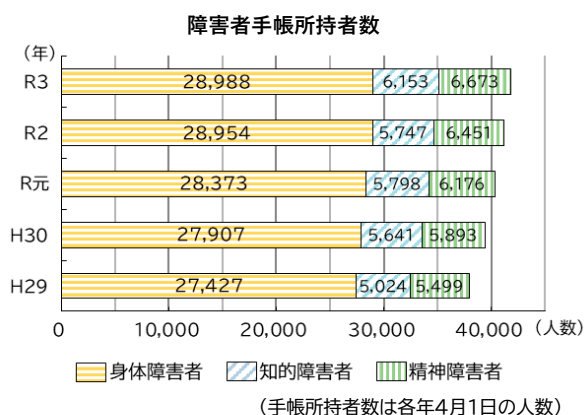
- 人口減少や少子高齢化の進行等により、地域福祉を支える担い手が減少してきています。
- 個人や世帯を取り巻く環境の変化により、8050問題やダブルケアなど、住民が抱える課題が複雑・複合化してきています。
- 厳しい経済情勢の中、自ら支援を求めることが難しい人など、生活困窮者の自立を引き続き促進していく必要があります。

障害者のニーズの多様化

- 障害の重度化や高齢化、療育に関する認識の高まりなど、障害者のニーズは多様化しており、また、家族等への支援も重要となっています。
- 利用者が個々のニーズに応じた支援を受けることができるよう、必要な事業所数を確保するとともに、サービスの質を向上させることが大切です。
- 障害に対するさらなる理解の促進に向けた啓発を行いながら、障害者の生活を制約している社会的障壁を取り除く必要があります。

社会保障制度を取り巻く状況の変化

- 国民健康保険は、県が財政運営の責任主体となり、制度の安定化を進めていますが、被保険者の減少や医療費の増大など、厳しい財政運営が続いています。
- 国民年金制度は、老後などの生活安定に欠かせない、みんなで支え合う制度であり、持続可能で安心できる年金制度の構築が求められています。
- 厳しい経済情勢により、今後、生活保護申請者が増加することが懸念されます。

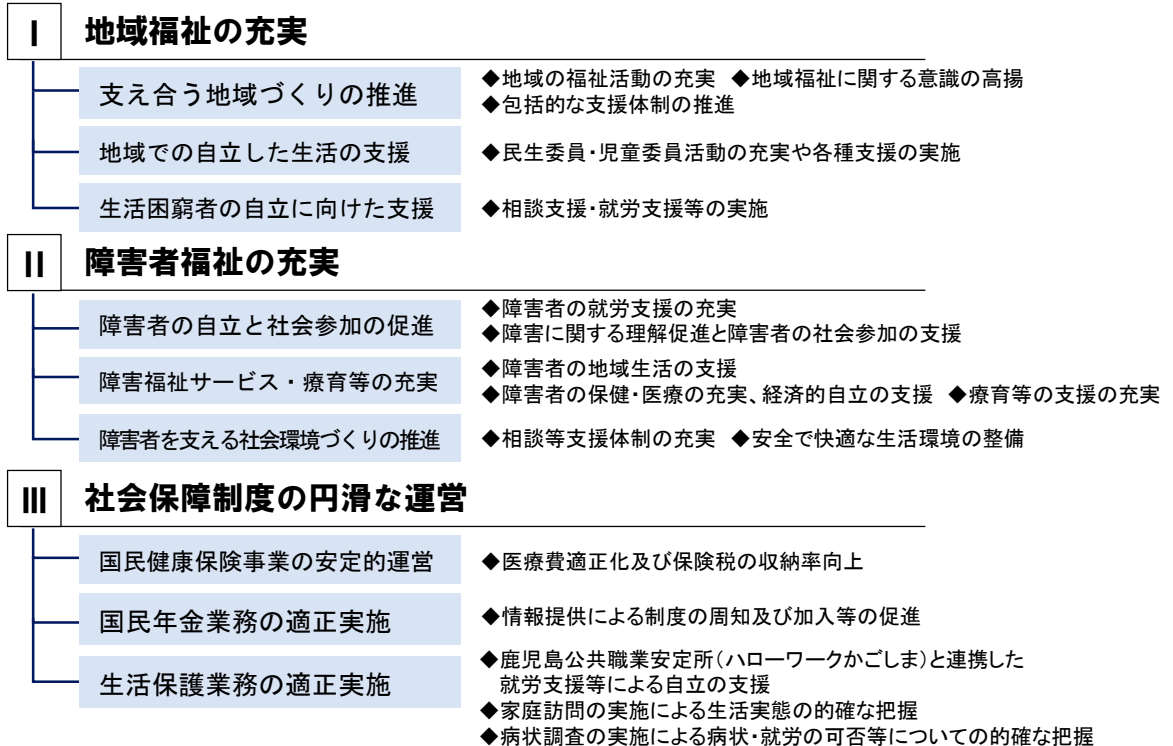


基本的方向

- I 地域共生社会の実現に向け、地域福祉に関する意識の高揚を図り、支え合う地域づくりを推進するとともに、生活困窮者等が地域で自立した生活をするための包括的な支援を行うなど、地域福祉の充実を図ります。
- II 障害の有無に関わらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重し支え合う社会の実現に向け、障害者の自立及び社会参加の支援を行います。
- III 国民健康保険及び国民年金の制度の周知に努め、適正で安定的な運営に取り組むほか、さまざまな事情により、困窮している人に対し、生活保護法に基づき必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。

施策の体系

地域共生社会の実現



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「福祉が充実し、お互いに支え合う暮らしやすいまちである」と感じる市民の割合	28.9%	➡	34.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
過去1年間に福祉活動やボランティア活動に参加したことがある市民の割合	19.3%	➡	24.0%	市民意識アンケート調査
障害児通所支援を利用している子どもの数	4,959人	➡	7,600人	
1人当たりの医療費(国民健康保険)	461,149円	➡	533,000円	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇福祉活動やボランティア活動に積極的に参加しましょう。 ◇障害についての理解を深め、障害特性に応じた配慮をしましょう。 ◇生活習慣を見直すなど、健康の保持増進に努めるほか、毎年の特健康診査を積極的に受診しましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇市民や地域と連携・協働しながら、支え合う地域づくりを進めましょう。 ◇障害者が適性に応じて能力を発揮することができるよう、働きやすい職場づくりを進めましょう。 ◇退職者等への国民健康保険制度の周知に努めましょう。

3 健康・医療の充実

施策の目標 誰もが健康に暮らせるまちづくりを進めます！



現状と課題

体とこころの健康に不安のある人の増加

- 肥満や運動不足、食塩のとり過ぎなど、生活習慣に課題のある人が増えています。
- ストレスなどにより、こころに悩みを抱えている人が増えています。

生活習慣病による健康リスク及び在宅療養へのニーズの高まり

- がんなどの生活習慣病で亡くなる人が多い一方で、各種健（検）診の受診率が低い傾向にあります。
- 健（検）診後に把握された健康課題に対して、「時間をつくるのが難しい」等の理由で受診などの適切な行動がとれていない人がいます。
- 指定難病の患者やこころの病のある方など、地域で安心して自分らしく生活を送りたいとのニーズが高まっています。

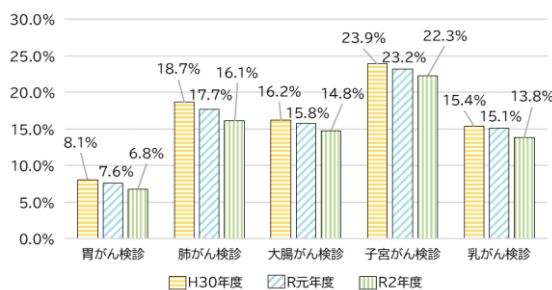
医療を取り巻く環境の変化

- 救急医療を含め、良質で適切な医療を提供する体制は概ね確保されていますが、医療法に基づく立入検査において管理等に不備が認められる医療機関が一部見られます。
- 市立病院は引き続き、健全経営を維持しながら、高齢化のさらなる進行や医療技術の進歩等に的確に対応する必要があります。

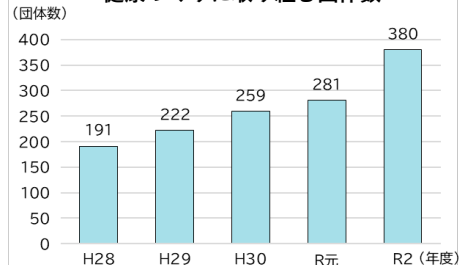
健康を脅かす感染症等の発生

- 新興感染症や結核などの感染症については、人やものの移動のグローバル化に伴い、短期間で広範囲にまん延する可能性が高くなっています。
- 令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症は、本市においても多数の感染者が発生し、社会・経済に多大なる影響が生じています。
- 感染拡大と小康を繰り返す感染症等の健康危機への対策には、長期間に及ぶことを見据えた体制整備が求められます。

5大がん検診の受診率推移



健康づくりに取り組む団体数



基本的方向

- I 体やこころの健康づくりの推進により、幅広い世代が健康づくりに取り組むための支援の充実を図ります。
- II 各種健（検）診の受診率向上、健康管理及び生活習慣病予防の支援を行うとともに、疾病を持つ人への地域生活支援の充実を図ります。
- III 安心・安全な医療を確保するとともに、夜間・休日の救急医療においては、必要とする方の利便性向上を図り、市立病院においては、地域医療機関との連携を図りながら、多様化・高度化する医療ニーズに応えるなど、質の高い医療を提供します。
- IV 健康危機対策として、市民生活や事業活動の中における感染予防策の定着を図るとともに、新たな感染症等に即応するため、医療機関等との連携と感染症等への対策を強化します。

施策の体系

健康・医療の充実



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「健康づくりへの支援や医療体制が充実している」と感じる市民の割合	46.3%	➡	64.6%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
市民と一体となって健康づくりに取り組む団体数	380団体	➡	585団体	健康づくり市民会議、食育推進ネットワーク、健康づくりパートナーへの登録情報
がん検診受診率	6.8～22.3%	➡	50.0%	受診者数/対象者数
医療機関における院内感染発生の報告数	5件	➡	3件	
感染症病床等を有する医療機関のうち、感染管理講演会へ参加した医療機関の割合	—	➡	80.0%	感染管理講演会へ参加した医療機関数/一般病床、感染症病床、結核病床を有する医療機関数

市民みんなで

市民・地域	◇健康づくりに興味・関心を持ち、健（検）診の受診や生活習慣の見直しを行い、健康管理に取り組みましょう。 ◇手洗いなど、基本的な感染予防対策を実践しましょう。
事業者・団体等	◇職場全体で、生活習慣の改善など、従業員の健康づくりに取り組みましょう。 ◇従業員に対し、手洗いを呼びかけるなど、事業所での感染予防対策を実践しましょう。

4 生活の安全性の向上

施策の目標 安心感に満ちた、安全で暮らしよいまちづくりを進めます！



現状と課題

地域社会における事故やけがのリスクへの対応

- 地域では、依然として交通事故や転倒・転落など、不慮の事故が身近に発生しており、虐待やDV等による外傷のリスクも高まってきています。
- 世界保健機関が推奨するセーフコミュニティの外傷予防の取組を全市域に展開していますが、地域活力の低下などにより、活動が低調な状況も見受けられます。

交通事故情勢の変化

- 交通規制等の強化や先進安全自動車などの新たな技術の進展が図られる中、交通安全計画の推進等により、交通事故発生件数は大幅に減少しています。
- 交通事故による死者数の減少が未だみられず、また、高齢化の進行に伴い、高齢運転者による交通事故の占める割合が増加しています。

犯罪の巧妙化・多様化

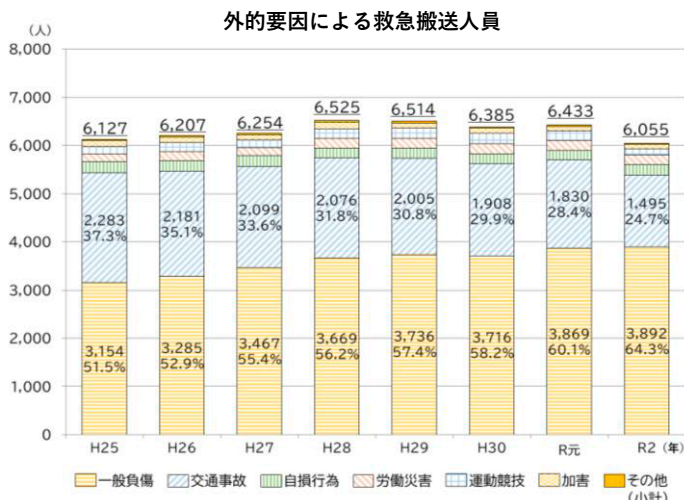
- 刑法犯認知件数は大幅に減少していますが、依然として、うそ電話詐欺が後を絶たず、不正アクセスといったサイバー犯罪も増加傾向にあります。
- 声掛けやつきまとい事案など、子どもが犯罪にあう危険が増えています。

消費者を取り巻く環境の多様化

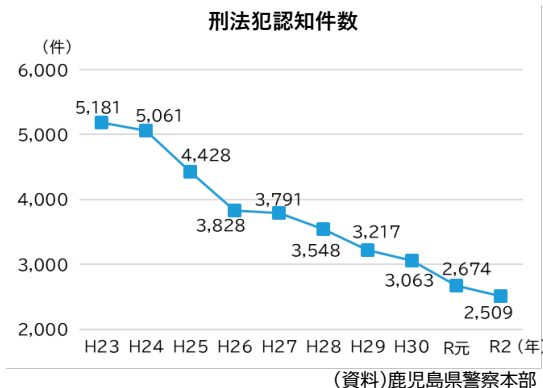
- ICTの高度化や取引形態の複雑多様化など、消費者を取り巻く環境の変化に伴い、新たな消費者問題や悪質商法が発生しています。
- 高齢者の消費生活相談件数の全体に占める割合は依然として高く、高齢化の進行に伴い、消費者トラブルのさらなる増加が懸念されています。

食品・生活衛生を取り巻く環境の変化

- 食を取り巻く環境は、グローバル化や流通システムの高度化など大きく変化しており、衛生管理の国際標準化が求められています。
- 理美容や旅館などにおいては、営業形態が多様化・複雑化するとともに、感染症等への対応も求められています。



(資料)鹿児島市救急統計



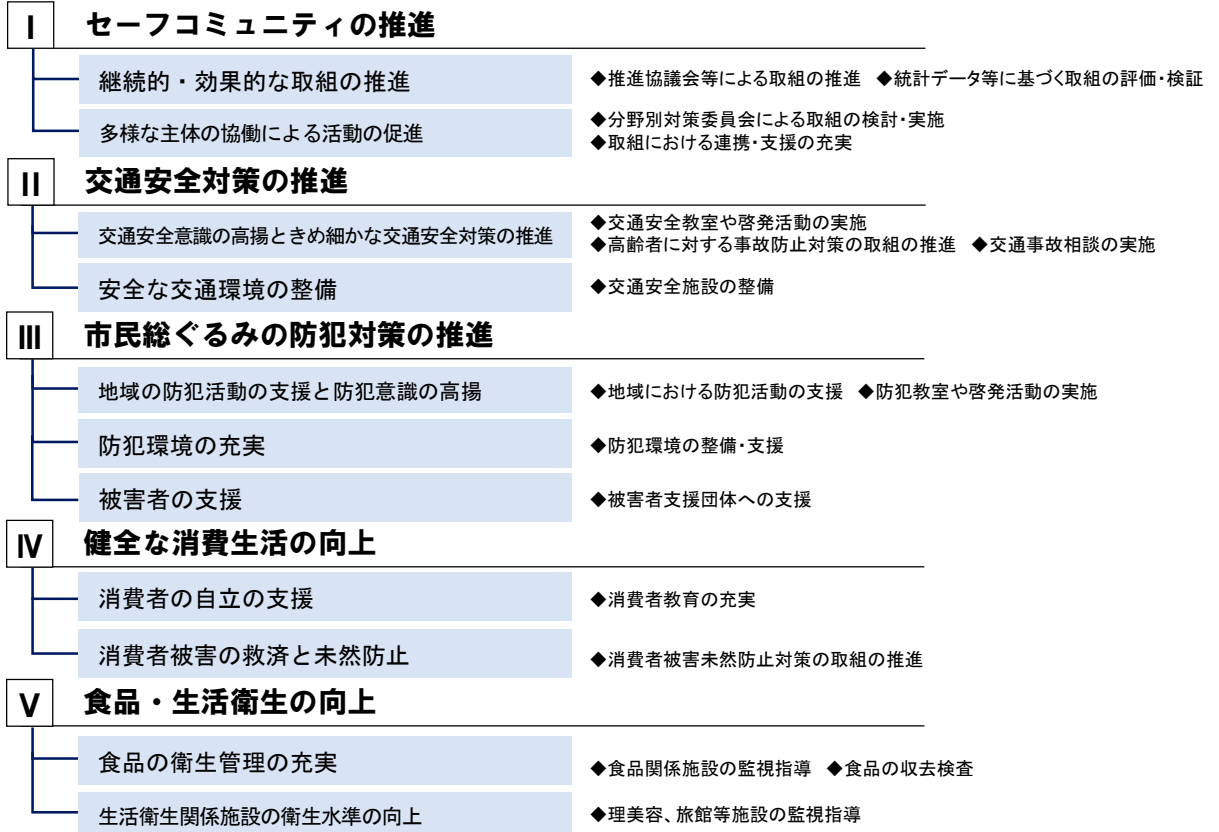
(資料)鹿児島県警察本部

基本的方向

- I 国際認証基準に基づくセーフコミュニティの取組の継続的な評価・検証を行い、改善しながら、事故やけがの予防活動を活性化し、地域の安全性のさらなる向上を図ります。
- II 交通安全に係る教育や施設の充実を図るとともに、高齢者など各世代の特性や交通実態等を踏まえた交通安全対策を推進します。
- III 地域や関係機関等と連携・協働しながら、自主的な防犯活動の支援や防犯意識の高揚を図るなど、犯罪の未然防止に向けた取組を進めます。
- IV 地域、学校等での消費者教育や関係機関との連携、消費者啓発などを推進し、消費者の自立を支援するとともに、消費者被害の救済と未然防止を図ります。
- V 食品・生活衛生関係事業者への監視指導の強化や衛生知識の普及啓発、衛生管理の助言・指導など、状況に応じた実効性のある取組を進めます。

施策の体系

生活の安全性の向上



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「事故やけがの予防、交通安全や防犯等の対策により、安心・安全で暮らしやすい」と感じる市民の割合	48.6%	➡	53.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
外的要因(事故やけが)による救急搬送人員	6,055人	➡	6,200人	市救急統計
交通事故による重傷者数	242人	➡	160人	県警察本部
刑法犯認知件数	2,509件	➡	2,100件	県警察本部
消費生活出張講座の受講者数	3,123人	➡	5,550人	
食中毒の発生件数	0件	➡	0件	

市民みんなで

市民・地域	◇交通安全や防犯対策など、安心・安全に関する知識の習得に努めましょう。 ◇お互いに協力して、防犯パトロールなど、地域での活動に取り組みましょう。
事業者・団体等	◇研修等を通じて、従業員に交通安全や防犯対策など、安心・安全に関する知識等を習得させるよう努めましょう。 ◇市や関係機関、地域と連携して、事故や犯罪を防止する活動に取り組みましょう。

5 命を守る危機管理・防災力の向上

施策の目標

自助・共助・公助が連携して危機や災害に強いまちを目指します！



現状と課題

風水害などの頻発化・大規模化

- 線状降水帯の発生等による大雨や台風のほか、地震や火山噴火、原発事故など、さまざまな危機事象が全国各地で発生しています。
- 災害の大規模化や人口減少・高齢化の進行などに伴い、公助の限界についての懸念も指摘されています。
- 「自らの命は自ら守る」、「地域住民で助け合う」という市民の防災意識が醸成された地域社会を構築することが求められています。

大規模噴火のおそれもある活火山桜島

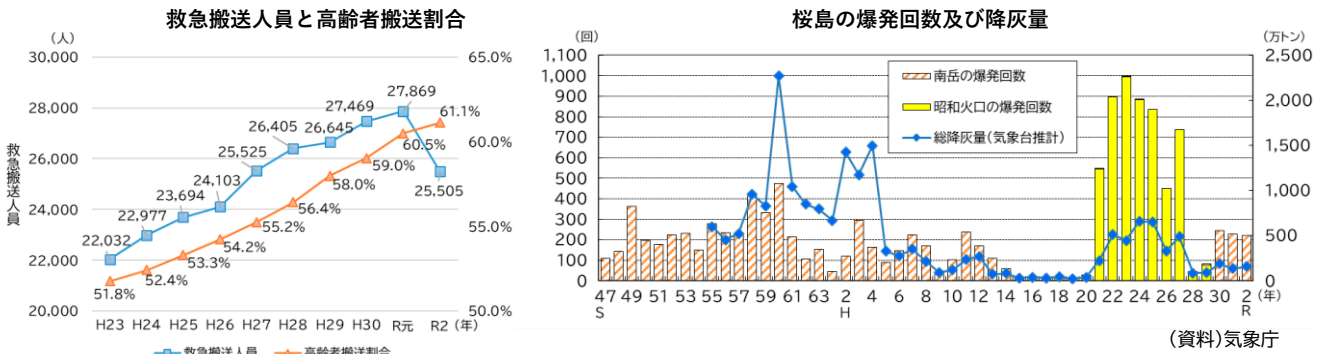
- 世界有数の活火山である桜島は60年以上も噴火活動を続けており、降灰のほか、噴石の飛散なども発生しています。
- 始良カルデラ下のマグマ溜りには多量のマグマが蓄積され、大正噴火級の大型噴火に対する警戒を要する時期に入ったとされています。

災害時の行政機能等の大幅な低下

- 大規模災害などが発生すると、市庁舎も被災し、職員や物資、情報など利用できる資源に制約を受け、行政機能が低下することが懸念されます。
- 市民の生命・身体・財産を守り、災害による市民生活への影響を最小化するためには、ライフラインやインフラなどの強靭化が課題となっています。

複雑多様化する災害や救急需要の増大

- 火災・事故のほか、テロ災害など、あらゆる事象への対応とその備えが強く求められています。
- 高齢化の進行などにより、救急需要の増大が予想されています。



基本的方向

- I 大規模自然災害に備えた強靭な地域づくりを計画的に進めるとともに、関係機関・専門家との連携による総合的な危機管理対応能力の向上を図ります。
- II 各種災害に対する被災抑制等に向けた防災対策事業を市民と協働しながら推進するなど、防災体制を充実します。
- III 消防活動及び救急救命の体制を強化するほか、火災予防対策を推進します。
- IV 河川や公共下水道(雨水)等の整備による浸水対策、雨水の流出抑制、急傾斜地の崩壊対策など、総合的な治水・土砂災害対策を推進します。
- V 大規模噴火でも犠牲者ゼロを目指す体制づくりと、安心・安全を次世代につなぐ防災教育を進めるとともに、火山防災対策の積極的な情報発信に取り組みます。

施策の体系

命を守る危機管理・防災力の向上

I 総合的な危機管理対応能力の向上

危機管理体制の強化と関係機関・専門家との連携

◆国土強靱化地域計画の推進 ◆災害対策本部体制の強化
◆地域防災計画等の見直し、各種マニュアル等の整備、実践的な訓練の実施

危機管理意識の高揚

◆初動体制マニュアルの活用、危機管理セミナー等の開催

II 市民との協働による防災対策の推進

防災意識啓発活動の推進

◆ハザードマップ等による避難行動の理解促進 ◆自主防災組織の活動支援
◆民間等と連携した耐震化等の促進

地域における防災体制の充実と関係機関の連携

◆感染症等にも対応する防災資機材等の備蓄など、避難所機能の充実
◆避難行動要支援者等への支援体制の充実

III 質の高い消防力の強化

大規模災害等対策の推進

◆災害対応力の強化 ◆消防団を中核とする地域防災力の強化

救急需要対策の推進

◆救急救命体制の強化

火災予防対策の推進

◆防火安全対策の推進

IV 治水・土砂災害対策の推進

河川改修の促進や公共下水道(雨水)等の整備推進

◆二級河川の整備促進 ◆準用河川等の改修・浚渫
◆公共下水道(雨水)の整備

雨水流出の抑制

◆調整池等の改良

土砂災害対策の推進

◆急傾斜地の崩壊対策 ◆砂防施設の整備促進

V 火山防災トップシティの推進

大規模噴火でも「犠牲者ゼロ」を目指す防災対策

◆噴火対策の充実 ◆桜島火山活動対策協議会による要望活動
◆火山防災トップシティ推進体制の強化

次世代に「つなぐ」火山防災教育

◆火山防災を学習する機会の創出や教育教材の作成・配布
◆火山防災スペシャリストの養成

「鹿児島モデル」による世界貢献

◆火山防災対策に係る情報発信
◆火山防災に係る関係市町村との連携の推進

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「災害に強いまちである」と感じる市民の割合	35.5%	➡	45.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
国土強靱化地域計画の指標達成率	—	➡	100.0%	
自主防災組織の活動率	25.3%	➡	41.7%	自主防災組織の活動団体数/自主防災組織数
市民による応急手当実施率	57.6%	➡	60.8%	市救急統計
公共下水道(雨水管きよ)の整備率	72.5%	➡	73.3%	雨水管きよ整備済面積/下水道事業計画区域
桜島火山爆発総合防災訓練の参加者数	約3,100人/年	➡	5年間で21,350人	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇「自らの命は自ら守る」、「地域住民で助け合う」ことを心掛け、日頃から災害に備えましょう。 ◇家庭や地域で、危険箇所・避難行動の確認を行うとともに、防災訓練に積極的に参加しましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇災害に備え、事業継続計画の策定や事業所の耐震化などの取組を進めましょう。 ◇地域社会の一員として、組織力を生かし、被害の軽減や災害復旧・復興に協力しましょう。

1 少子化対策・子育て支援の推進

施策の目標 結婚・妊娠・出産・子育てに希望あふれるまちを目指します！



現状と課題

婚姻件数・出生数の減少

- 本市の婚姻件数と出生数は、近年減少傾向にあります。これには、20代・30代の人口減少や経済的な不安定さ、仕事と子育ての両立の難しさなどのさまざまな要因が影響していると考えられます。
- 本市の平均初婚年齢は男女ともに上昇傾向にあり、また、25～39歳の女性の未婚率は全国平均よりも高くなっています。

妊娠・出産・子育てへの不安の軽減

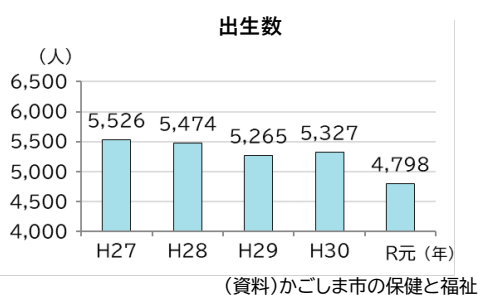
- 核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、子育て家庭を取り巻く環境が変化し、子育てへの不安や孤立感を感じている家庭が少なくありません。
- さまざまな不安や悩みを抱える若年妊婦等への地域でのきめ細かな支援が求められています。
- 安全で安心な妊娠・出産・子育てへのニーズが高まっています。
- 晩婚化や出産年齢の高年齢化等により、希望しても子どもを得られにくい人が増えています。

幼児教育・保育に必要な量の確保と質の向上

- 待機児童は、共働き家庭の増加等による保育需要の増加に伴い、依然としてその解消に至っていません。
- 幼児教育・保育の無償化に伴い、国から、施設における教育・保育の質の向上が要請されています。
- 保護者の就労形態の多様化に対応した保育サービスが求められています。

子育て世代のニーズの多様化

- 共働き家庭の増加等により、放課後における児童の健全育成の取組など、多様化する子育て世代のさまざまなニーズを踏まえた支援が必要となっています。
- 核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、育児不安の増大や子育ての孤立化などが課題となっています。



基本的方向

- I 結婚は個人の自由な意思決定に基づくものである点に留意しつつ、若い世代へのライフプランニング支援や出会いの場の提供など、安心して結婚できる環境の充実に努めます。
- II 妊娠・出産を希望する方への支援体制の構築や安心して子どもを産み育てることができる環境整備など、妊娠・出産・子育て期へと切れ目ない支援に取り組みます。
- III 保育士確保や就労継続支援を通じた保育の受け皿確保に取り組むとともに、安全な教育・保育環境や保育サービスの提供体制の充実に努めます。
- IV 児童クラブの待機児童解消を図るとともに、地域における子育て支援活動の推進や支援拠点施設の機能充実など、地域の子育て力の向上に取り組みます。

施策の体系

少子化対策・子育て支援の推進

I 出会い・結婚の支援の充実

- 出会いの機会・場の提供 ◆婚活イベントの実施
- 結婚に関する相談・支援 ◆結婚相談所(マリーサポートかごしま)の運営 ◆結婚新生活支援
- 若い世代へのライフプランニング支援 ◆ライフデザインセミナーの開催

II 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実

- 妊娠・出産を希望する女性等への支援 ◆検査・予防接種の実施 ◆不妊・不育症に悩む方への支援
- 妊産婦健康診査・健康相談の実施 ◆妊産婦健康診査の充実
- 妊娠・出産包括支援の推進 ◆子育て世代包括支援センターの充実 ◆乳幼児健康診査の充実 ◆妊産婦への支援の充実
- 小児保健医療の推進 ◆予防接種・歯科口腔保健施策の実施

III 幼児教育・保育の充実

- 就学前児童の待機児童対策 ◆保育士等の確保と就労継続支援 ◆保育士等の業務負担軽減 ◆保育の受け皿の確保
- 安全な教育・保育環境の充実 ◆事故防止対策巡回支援 ◆施設の耐震老朽整備 ◆認定こども園・幼稚園の施設等整備
- 多様な保育サービスの提供 ◆病児・病後児保育等の実施 ◆保育コーディネーター等による情報提供

IV 地域における子育て支援の充実

- 児童クラブの充実 ◆児童クラブの運営 ◆児童クラブの整備
- 地域の子育て力の向上 ◆地域子育て支援拠点施設の運営・相談体制の充実 ◆地域子育て活動の推進 ◆子育て支援ネットワークの充実

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「安心して子どもを産み育てられる環境が整っている」と感じる市民の割合	38.2%	➡	46.6%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
婚活事業への参加者の満足度	86.1%	➡	90.0%	婚活イベント参加者アンケート調査
乳幼児健康診査の受診率	97.8%	➡	100.0%	かごしま市の保健と福祉
保育所等の待機児童数	82人	➡	0人	
児童クラブの待機児童数	42人	➡	0人	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇若い世代の結婚や子育てを応援する気運づくりを進めましょう。 ◇妊娠期から、親と子の健康の維持・増進に努めるとともに、性別を問わず子育てに向き合い、明るい家庭を築きましょう。 ◇子どもが、地域の人々との交流を通じて健全に成長できる環境づくりに取り組みましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇子育てと両立しながら働ける環境づくりに努めましょう。 ◇行政や市民と連携し、安心して子育てができる環境をつくり、子どもの健全な成長を支援しましょう。

2 子どもの健やかな成長への支援

施策の目標

子どもたちが健やかに成長し、将来にわたって夢や希望を持てるまちを目指します！



現状と課題

子育てに伴う経済的負担の軽減

- 2019年国民生活基礎調査によると、子育て家庭の約6割が「生活が苦しい」と回答しており、中でも母子世帯では、約8割から同様の回答があることから、ひとり親家庭をはじめ、子育て家庭への支援の充実を図る取組が必要となっています。

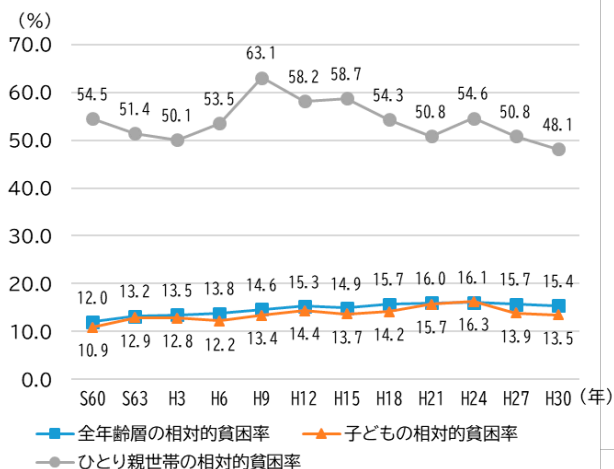
地域社会での支援が必要な子どもへの対応

- 平成29年度に実施した本市の子どもの生活に関するアンケート調査によると、14.6%の子どもが相対的貧困状況にあります。
- 子どもの貧困の原因は、家庭だけでなくさまざまな要因によることから、その解決に当たっては、家庭のみではなく、地域社会全体で解決していく必要があります。

児童虐待相談の増加

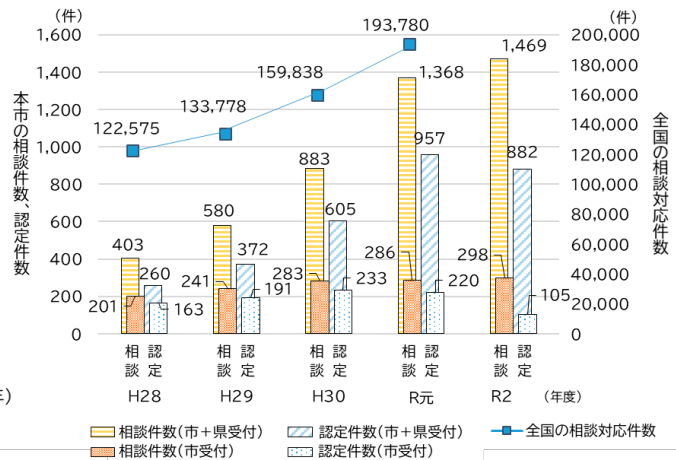
- 児童虐待は、子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世の育成への影響も懸念されるため、その防止は社会全体で取り組むべき重要な課題となっています。
- 児童虐待相談件数は、全国と同様に本市でも増加傾向にあり、児童虐待の取組の充実や体制の強化が必要となっています。

相対的貧困率（全国）



(資料)国民生活基礎調査/厚生労働省

児童虐待相談・認定件数



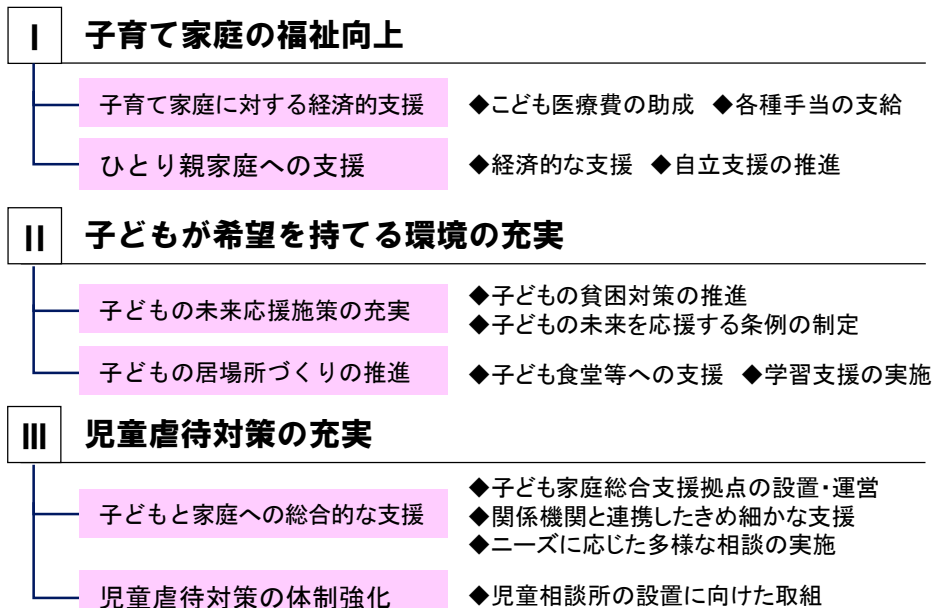
(資料) 児童虐待相談件数、認定件数/市及び県中央児童相談所統計
 全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数/厚生労働省
 ※全国の相談対応件数については、令和元年度までの数値
 ※市の認定件数については、令和2年度から重症度別認定を導入し、集計方法を変更した。

基本的方向

- Ⅰ 子育て家庭に対する経済的支援やひとり親家庭の自立に向けた支援の充実を図り、子育て家庭の生活の安定を図ります。
- Ⅱ 生まれ育った環境によって子どもの現在及び将来が左右されることのないよう、今後もさまざまな関係機関と連携し、子どもの貧困対策や居場所づくりを推進します。
- Ⅲ 児童虐待の発生予防から早期発見、支援等に至るまで、切れ目のない総合的な支援を実施するとともに、児童相談所の設置など体制強化を図ります。

施策の体系

子どもの健やかな成長への支援



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「子どもたちが健やかに成長し、将来にわたって夢や希望を持てる」と感じる市民の割合	29.2%	➡	40.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
就業支援を受けたひとり親の就業率	59.0%	➡	70.0%	母子家庭等就業支援講習会受講者等の就業状況調査
市内の子ども食堂数	29箇所	➡	39箇所	県子ども食堂登録制度
児童虐待相談件数に占める虐待認定件数の割合	35.2%	➡	29.0%	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域で子どもと子育て家庭を見守りましょう。 ◇子どもが地域の人たちと交流できる環境づくりに努めましょう。 ◇児童虐待を受けたと思われる子どもに気付いたときは、すぐに相談しましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇ひとり親家庭の親の雇用を推進しましょう。 ◇子どもの健やかな成長を支援する活動に協力しましょう。 ◇市民・地域と連携して、見守りなど、要保護児童等の支援に努めましょう。

3 学校教育の充実

施策の目標 夢と志を持ち可能性に挑戦する児童生徒を育む教育を目指します！



現状と課題

人間関係の希薄化や生活体験の不足等

- 人口減少や価値観の多様化などにより、人間関係におけるつながりの希薄化、規範意識や倫理観の低下、生活体験の不足などが指摘されています。
- 豊かな人間性や社会性、思いやりの心を育み、児童生徒の不安や悩みへの適切な対応が求められています。

社会の変化に対応する確かな学力の育成

- 情報化社会の進展などにより、予測が困難な時代によりよい社会と幸福な人生の創り手となるために必要な「生きる力」の育成が求められています。
- 幼・小・中・高の各段階で、一人ひとりの能力に応じた指導の充実を図る必要があります。

児童生徒の健やかな心身の成長と安全への備え

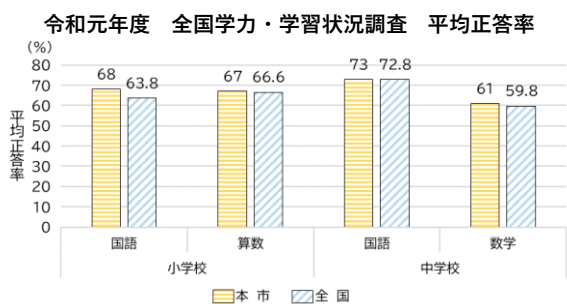
- 社会環境や生活様式の変化に伴い、運動や食を含む生活習慣等に関する正しい知識の習得や指導方法の工夫が必要とされています。
- 学校における事故の防止や自然災害への備えが指摘されている中、防災対策を含む学校安全の充実に向けた取組が求められています。

保護者や地域住民が参画する学校運営と教職員の資質向上

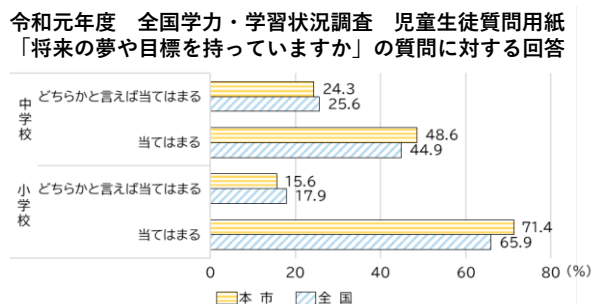
- 保護者や地域住民等の理解と参画を得ながら、学校の課題解決に取り組み、学校運営に積極的に生かすことが必要とされています。
- 次世代を担う人材を育成するために、高い専門性を持ち、新たな課題に積極的に取り組むなど、教職員のさらなる資質向上が求められています。

児童生徒が安心して学べる環境の整備

- 環境や防災等に配慮した施設整備を進める必要があります。
- 家庭の経済状況や地理的条件等を考慮した教育費の負担軽減に加え、本市の教育の一翼を担う私立学校等との連携が求められています。



(資料)全国学力・学習状況調査/文部科学省



(資料)全国学力・学習状況調査/文部科学省

基本的方向

- I 規範意識や自他の生命を尊重する心、困難を乗り越えながら物事を成し遂げる力、自ら考え判断し行動する力等の育成に取り組みます。
- II 技術革新が一層進展し、変化の激しい社会で児童生徒が成長していくために、ICTの利活用やキャリア教育の充実、市立高等学校の振興を図るなど、個性と能力を伸ばす教育を推進します。
- III 運動・スポーツに親しむ機会の充実、健康的なライフスタイルの確立に向けた支援、安全教育・防災教育の充実に取り組みます。
- IV 地域と連携・協働しながら、学校運営を継続的に改善するとともに、教職員研修の充実を図ります。
- V 教育施設の整備や教育費の負担軽減、関連団体との連携を含めた教育環境の充実を図ります。

施策の体系

学校教育の充実

I 心を育む教育と青少年教育の推進

- 道徳教育・人権教育の充実 ◆道徳教育や人権教育に関する研修会の開催等
- 生徒指導・教育相談等の充実 ◆いじめの防止や不登校などへの対応 ◆教育相談体制の充実
- 青少年教育と体験活動の充実 ◆次世代を切り拓く人材の育成
- 青少年を育む環境づくりの推進 ◆情報モラル教育の推進 ◆関係機関等との連携

II 個性と能力を伸ばす教育の推進

- 学習指導の充実 ◆学力検査と幼・保・小連携研修会の実施
- 特別支援教育の充実 ◆特別支援教育体制等の充実
- 教育の情報化の推進 ◆ICTの利活用の推進 ◆効果的な活用に関する調査研究
- キャリア教育など時代の変化に対応する教育の充実 ◆キャリア教育・郷土教育等の充実 ◆国際理解教育の充実 ◆市立高等学校の振興

III 体育・健康・安全の充実

- 学校体育の充実 ◆授業改善の推進、運動・スポーツ活動の充実
- 健康教育の充実 ◆健康及び食に関する指導の充実
- 安全教育・防災教育の充実 ◆学校の安全、防災対策の推進

IV 地域とともにある学校づくりの推進

- 学校運営の充実 ◆学校運営協議会による地域と連携・協働した学校運営の充実 ◆教職員研修の充実 ◆法的専門家を活用した相談体制の充実
- 教育課程の改善・充実 ◆児童生徒の実態に即した教育課程の改善・充実

V 学びを支援する教育環境の充実

- 施設の整備・充実 ◆校舎・屋内運動場・エアコン等の整備・更新 ◆トイレの洋式化の推進
- 教育費の負担軽減等の教育環境の充実 ◆負担軽減制度の利用促進等 ◆私立学校等との連携

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「夢と志を持ち可能性に挑戦する児童生徒を育む教育がなされている」と感じる市民の割合	25.6%	➡	37.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6: -4、中3: -5 (H27～R元年度の平均)	➡	小6: ±0、中3: ±0	全国学力・学習状況調査 ※全国平均を100とした本市との差
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との比較	小6: +19、中3: -0.1 (H27～R元年度の平均)	➡	小6: +2、中3: +1	全国学力・学習状況調査 (国語、算数・数学) ※全国平均を100とした本市との差
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小5: ±0、中2: +1 (H27～R元年度の平均)	➡	小5: +0.5、中2: +1.5	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ※全国平均を100とした本市との差
学校運営協議会の活動状況等を知っている保護者の割合	20.1%	➡	80.0%	学校評価(保護者対象)の調査
学校のトイレの洋式化率	53.8%	➡	78.6%	洋式便器数/校舎、屋内運動場等の全便器数

市民みんなで

市民・地域	◇家庭で子どもの生活・学習習慣・健康づくりに取り組みましょう。 ◇学校と連携・協働しながら、子どもの成長を支援する環境づくりに取り組みましょう。
事業者・団体等	◇保護者が子育てしやすい環境づくりに取り組みましょう。 ◇学校の教育活動に協力し、子どもが健全に成長できる環境づくりに努めましょう。

4 生涯学習の充実

施策の目標 市民が生涯を通じて学び、活躍できるまちを創ります！



現状と課題

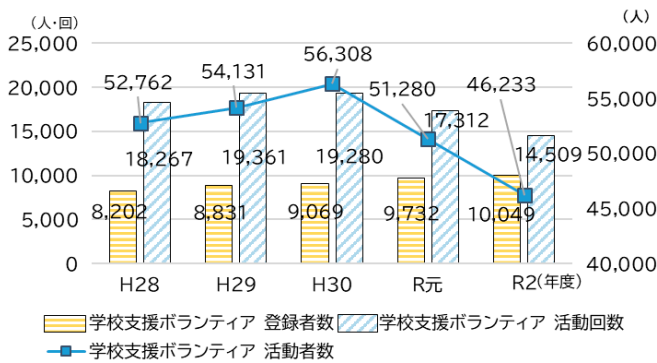
地域における多世代の交流

- 家庭や地域住民との関わりが少なくなる中で、市民が生涯を通じて学習活動に積極的に取り組む気運をさらに高めるとともに、地域社会において各世代が交流することや社会活動への参加など、生きがいの創出につながる取組の重要性が再認識されています。
- 価値観の多様化に伴い、さまざまな学習機会の提供が求められています。

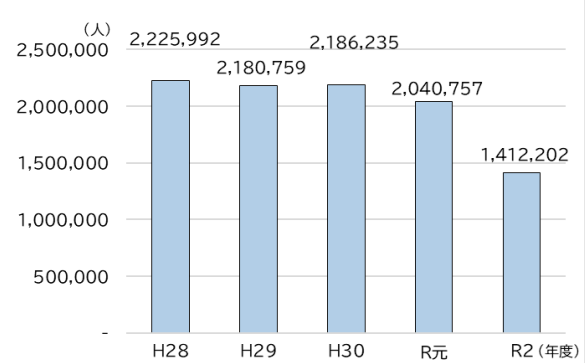
生涯学習に対するニーズの多様化、高度化

- “人生100年時代”など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、これまでの教養に加え、新たな知識を身に付けることなど、生涯学習の充実が求められています。
- 生涯学習関連施設の整備を計画的に進めながら、活動に関するさまざまな情報をわかりやすく市民に届けることが求められています。

学校支援ボランティア



生涯学習関連施設の利用者数



公民館での活動



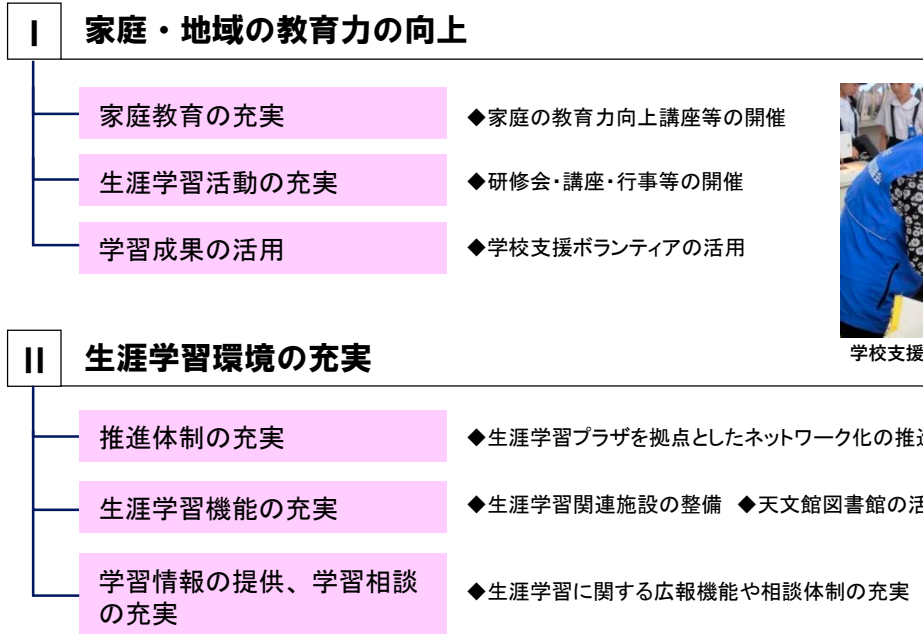
図書館おはなし会

基本的方向

- I ニーズに応じた多様な学習機会の提供や学習成果の活用を図り、家庭や地域の教育力の向上に取り組みます。
- II 生涯学習関連施設の整備、広報機能や相談体制の充実に取り組みます。

施策の体系

生涯学習の充実



学校支援ボランティア

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「生涯を通じて興味・関心のあることを学ぶ環境が整っている」と感じる市民の割合	28.3%	➡	41.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
学校支援ボランティアの活動者数	46,000人	➡	54,000人	
地域公民館や図書館などの生涯学習関連施設の利用者数	1,412千人	➡	2,120千人	

市民みんなで

市民・地域	◇潤いと活力のある人生を楽しむため、生涯学習に取り組みましょう。 ◇生涯学習で学んだことや経験を世代間交流やボランティアなどに生かしましょう。
事業者・団体等	◇それぞれの専門性を生かして、市民が生涯学習に取り組みやすい環境づくりに努めましょう。

5 市民文化の創造

施策の目標 心を潤し、まちに活力をもたらす市民文化の創造を目指します！

4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



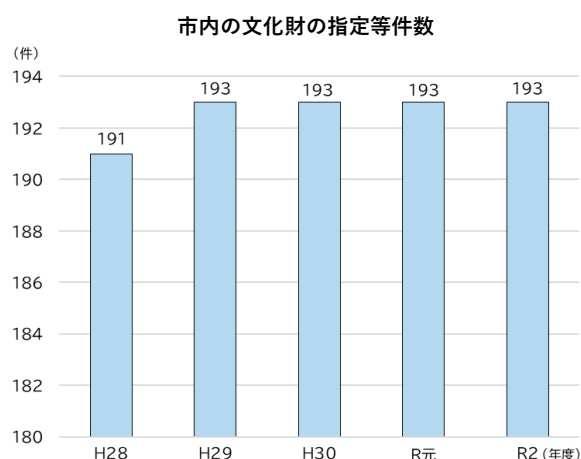
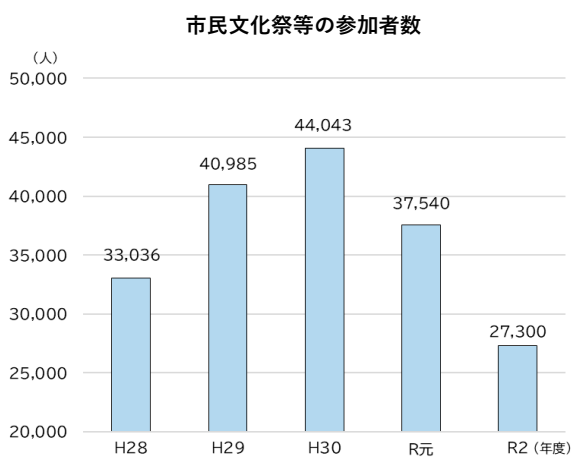
現状と課題

文化芸術を身近に感じる環境や人づくり

- 文化芸術は豊かな人間性を育むとともに生活に潤いをもたらし、まちに活力を与えています。
- 市内には文化芸術に関する施設や団体等があり、さまざまな活動が行われていますが、誰もが、より身近に感じるための環境や活動の担い手の育成が求められています。

文化財の保存・活用と世界文化遺産の価値の継承

- 各地域の史跡や伝統芸能などの貴重な文化財の保存と活用を進めながら、市内外へその魅力を発信する必要があります。
- 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産について、その価値を将来世代へ継承していく必要があります。



芸術鑑賞事業



旧鹿児島紡績所技師館（異人館）

基本的方向

- I 文化芸術に触れ親しむ機会の充実と人材の育成、多彩な活動の支援・情報発信に取り組みます。
- II 文化財の適切な管理保全を行いながら、地域の歴史・文化資源を再評価・再発見できるよう、理解増進や魅力発信に取り組みます。

施策の体系

市民文化の創造

I 文化芸術の振興

文化芸術に触れ親しむ機会の充実と活動の促進

- ◆芸術鑑賞事業等の実施
- ◆文化芸術活動を活性化するための支援

文化施設の活用及び文化芸術情報の発信

- ◆文化施設の管理運営及び文化芸術情報の発信

II 歴史・文化資源の保存と活用

文化財の保存の充実と積極的な活用

- ◆埋蔵文化財・指定文化財等の保存活用
- ◆伝統芸能の保護と活用
- ◆世界文化遺産の構成資産の管理保全と活用



鹿児島城跡



市民文化ホール

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「文化芸術などに親しみ、身近に体験できる環境が整っている」と感じる市民の割合	46.5%	➡	56.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
市民文化祭等の参加者数	27,300人	➡	36,600人	
市内の文化財の指定等件数	193件	➡	195件	

市民みんなで

市民・地域	◇文化芸術に関心を持ち、触れ親しむ機会を持ちましょう。 ◇文化芸術活動や文化財の保存・継承の活動の輪を広げましょう。
事業者・団体等	◇それぞれの専門性を生かして、文化芸術活動や文化財の保存・継承に、市民・地域とともに取り組みましょう。

1 機能性の高い都市空間の形成

施策の目標

地域特性に応じた都市機能を備える魅力ある都市空間を形成します！



現状と課題

成熟した持続可能な都市づくりへの転換

- 「成長・拡大の都市づくり」から「成熟・持続可能な都市づくり」への転換が求められています。

住宅団地における地域の活力低下

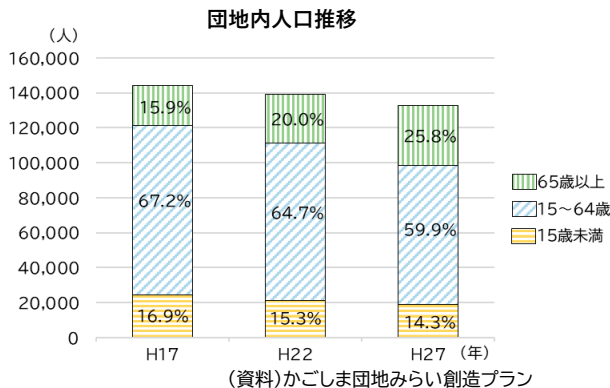
- 住宅団地では、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことなどにより、高齢化や人口減少が顕著となっており、地域の活力低下が懸念されます。

ウォーターフロントの重要性

- ウォーターフロントは、大隅半島や離島などを結ぶ人流・物流の拠点、国内外の観光客等が訪れる交流空間として重要な役割を担っています。

市民や観光客に親しまれる鹿児島らしい景観の継承

- 鹿児島の風土や歴史に培われた地域資源が醸し出す景観は、共有の資産であり、広く市民が大切に思い、観光客にも親しまれていることから、この美しい景観を次世代に引き継いでいく必要があります。



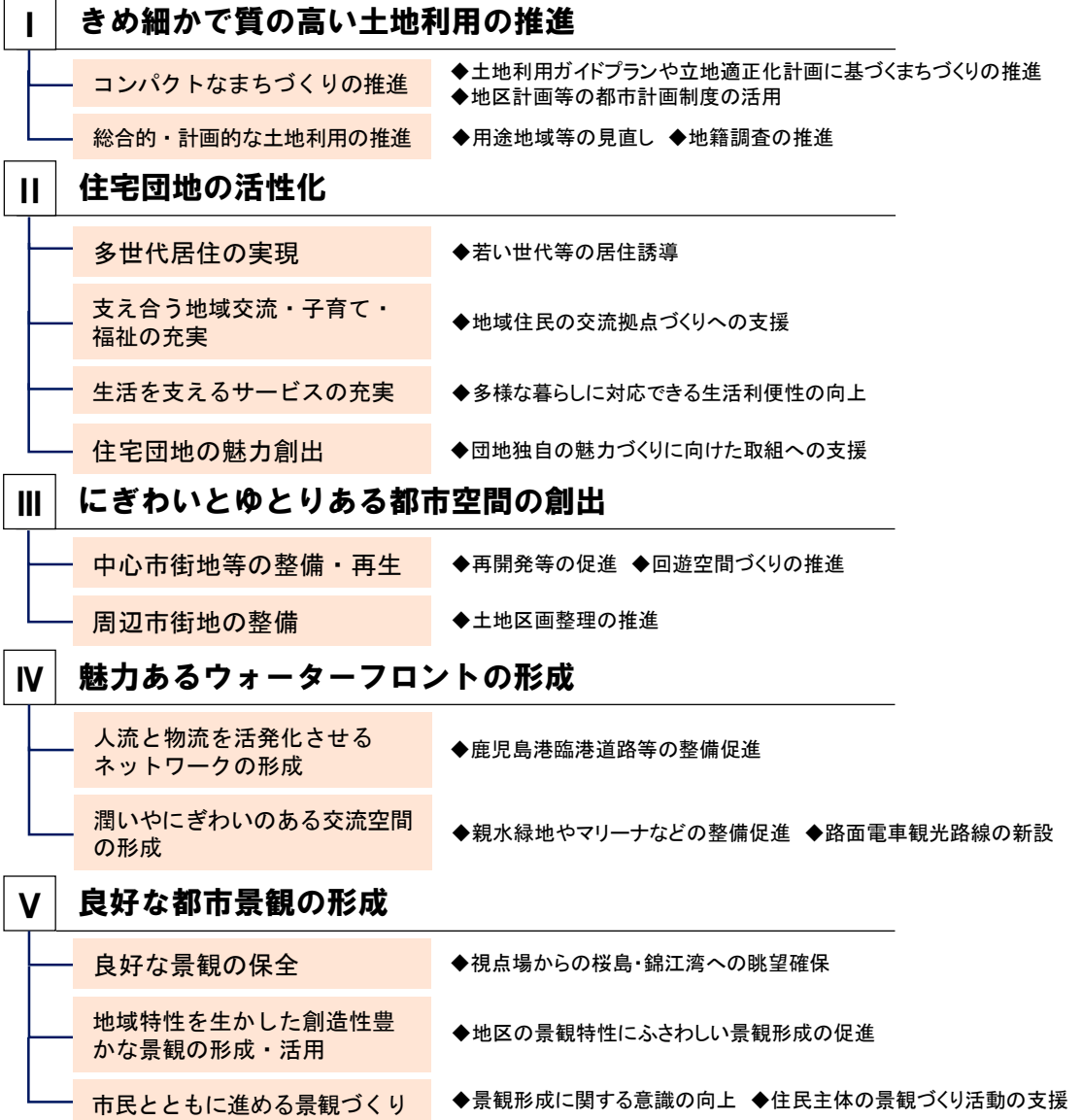
中央町19・20番街区市街地再開発事業

基本的方向

- I 土地の有効活用や高度利用を図るとともに、居住や都市機能を誘導するなど、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。
- II 若い世代の居住を誘導するとともに、住民や事業者等と連携しながら、地域主体による住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- III 中心市街地等のさらなるにぎわいの創出や回遊性の向上を図るほか、周辺市街地において、土地区画整理など生活環境の整備を行います。
- IV 魅力あるウォーターフロントの形成を目指して、特色ある公共交通を活用してアクセスの充実を図るほか、鹿児島港港湾計画に位置づけられた各港区の整備計画及び利用計画を促進します。
- V 住民、事業者、行政の協働の下、景観形成に関するルールに基づいて、地域の個性を積極的に取り入れた良好な都市景観の形成を推進します。

施策の体系

機能性の高い都市空間の形成



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「魅力ある都市空間が形成されている」と感じる市民の割合	38.6%	➡	45.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
都市機能誘導区域内の大規模小売店舗(1,000㎡以上)の割合	33.6%	➡	34.5%	都市機能誘導区域内の大規模小売店舗数/市全域の大規模小売店舗数
住宅団地の活性化に向けて地域主体で実施したまちづくり活動の件数	3件/年	➡	5年間で36件	
土地区画整理事業(市施行)により整備完了した宅地面積の割合	55.7%	➡	66.7%	整備完了した宅地面積/総宅地面積(令和4年4月1日時点での市施行地区)
景観形成に向けて開催したイベント等に参画した市民の数	95人/年	➡	5年間で750人	

市民みんなで

市民・地域	◇課題や魅力を自ら考え、都市計画制度を活用しながら、地域主体によるまちづくりに進んで参加しましょう。
事業者・団体等	◇周辺環境に配慮した市街地の整備など、地域の価値を高め、活力を生み出すまちづくりに積極的に取り組みましょう。

2 暮らしやすい生活基盤の構築

施策の目標 誰もが暮らしやすく、強靱で持続可能な生活基盤を構築します！



現状と課題

災害時における道路の機能確保と交通渋滞等の発生

- 大雨や台風などの自然災害により、人と暮らしを守る道路が被災しており、災害時における救急搬送や避難のための機能確保が求められています。
- 依然として、交通渋滞等が発生する地域があることから、その要因を解消する必要があります。

水需要等の減少と大規模自然災害への対応

- ライフスタイルの変化や人口減少などにより、水需要等が減少する中で、中長期的視点に立った事業運営を行う必要があります。
- 大規模自然災害を想定し、被害やその影響を最小限にとどめる強靱な上下水道が求められています。

空き家等の増加

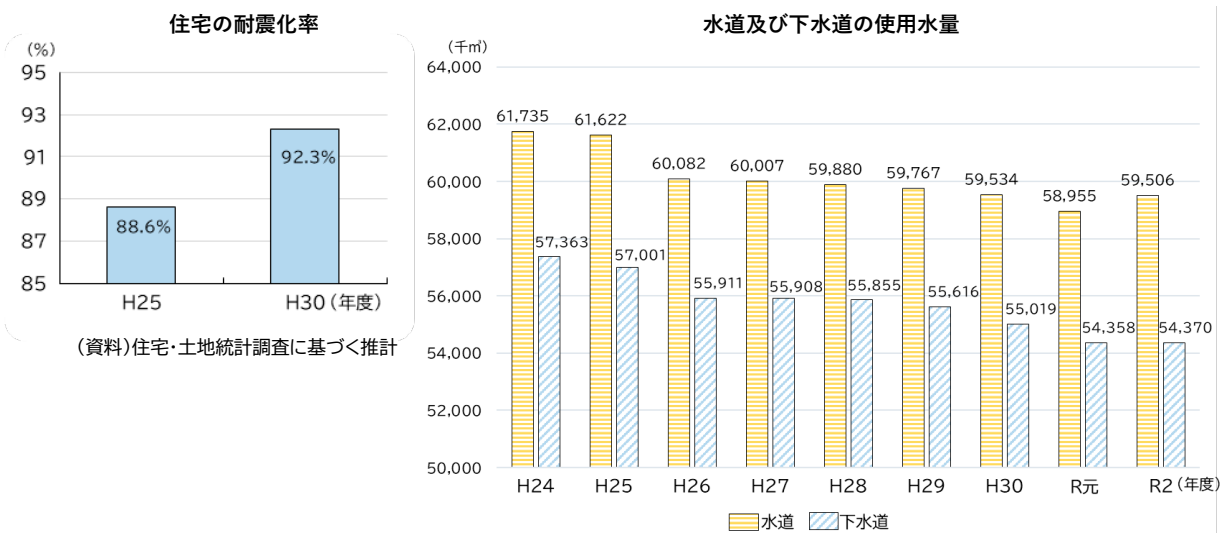
- 空き家等は年々増加しており、今後も人口減少等により、さらに増えていくことが予想されます。

居住ニーズの多様化

- 住宅の安全性や性能、安心して住み続けられる住環境などに加え、子育て世帯や高齢者世帯に対する支援が求められるなど、住宅と住環境に対するニーズが多様化しています。

都市基盤施設の老朽化

- 都市基盤施設の多くは老朽化に伴う大規模な改修や更新の時期を迎えており、改修等に係る財政負担の軽減を図るとともに、必要な行政サービスを持続的に提供することが求められています。

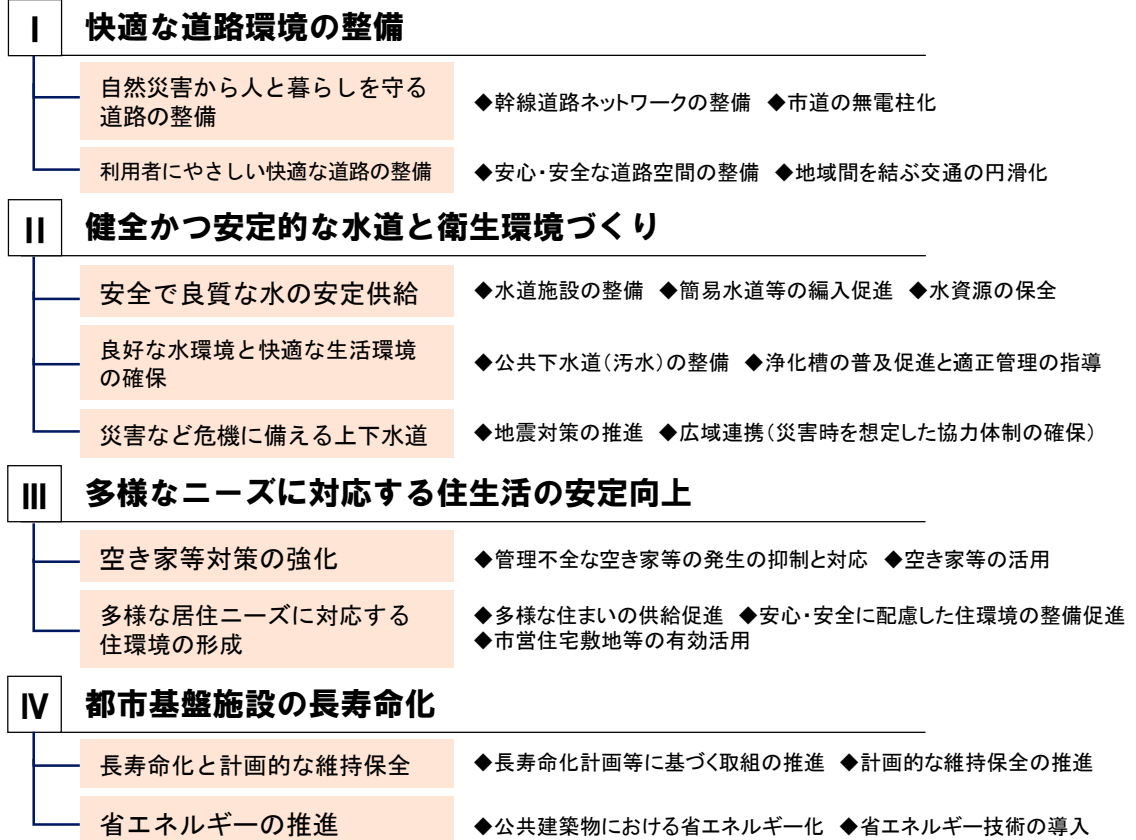


基本的方向

- I すべての人が安心して快適に利用できる道路環境の整備に取り組みます。
- II 安全で良質な水の安定供給及び良好な水環境と快適な生活環境を確保するとともに、災害などの危機に備えます。
- III さまざまな分野と連携し、管理不全な空き家等の発生を抑制するとともに、多様な居住ニーズに対応する安心・安全で暮らしやすい住環境の構築に向けた取組を進めます。
- IV 計画的で効率的な維持保全により、都市基盤施設の長寿命化を図るとともに、改修や更新などにおいて施設に適した省エネルギーの取組を進めます。

施策の体系

暮らしやすい生活基盤の構築



目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
生活道路や上下水道などの都市基盤施設の整備により、「誰もが暮らしやすい生活の基盤づくりが進んでいる」と感じる市民の割合	53.3%	➡	60.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
通学路等の安全が確保された割合	82.9%	➡	86.0%	市道路管理者における交通安全対策の実施件数 / 市道路管理者における交通安全対策が必要な総件数
上水道の基幹管路の耐震化率	51.3%	➡	54.3%	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 / 基幹管路延長
住宅の耐震化率	92.3%	➡	95.2%	住宅・土地統計調査に基づく推計

市民みんなで

市民・地域	◇住宅や住環境に関心を持ち、自らの責任として住まいを安全に維持管理しましょう。
事業者・団体等	◇安全で良質な住まいづくりを促進するとともに、既存ストックの有効活用に取り組みましょう。

3 市民活動を支える交通環境の充実

施策の目標

市民生活と都市活動を支える快適・便利な交通環境の充実を目指します！



現状と課題

社会経済活動の広域化

- アジアとの多面的な交流の必要性が増すなど、社会経済活動の広域化が進む中で、それを支える広域交通網はさらに重要度を増しています。

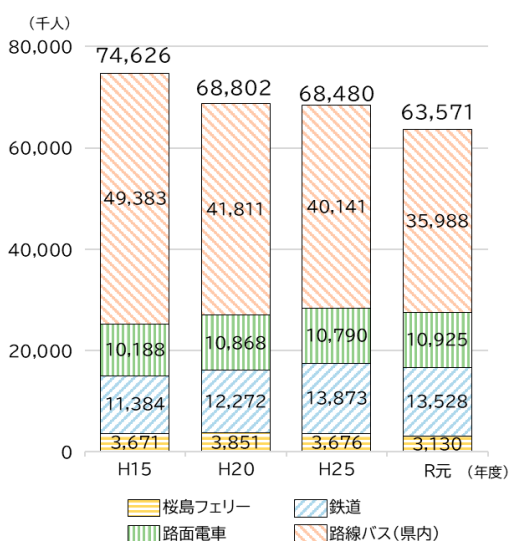
公共交通の利用者減少や担い手不足

- 高齢化等により、公共交通の重要性が高まる一方、人口減少の進行等による利用者減少や担い手不足に伴い、サービスの縮小等が懸念されています。

誰もが使いやすい交通環境

- 新たなICT等も活用し、高齢者や障害者、外国人等を含むすべての人がさらに安全で快適に移動できる交通環境の実現が望まれています。

本市の公共交通利用者数の推移



(資料) 鹿児島市統計書、九州旅客鉄道株式会社、九州運輸局鹿児島運輸支局業務概況



コミュニティバスの運行

基本的方向

- I 広域道路網等や広域公共交通網の充実を図るなど、本市と国内外との交流がより円滑となる総合的な広域交通ネットワークの形成を図ります。
- II 各交通手段の適切な役割分担の下、公共交通の利用促進やICTの活用等も図りながら、安心・安全で効率性が高く持続可能な公共交通体系の構築に向けた取組を進めます。

施策の体系

市民活動を支える交通環境の充実

I 広域交通ネットワークの形成

- 広域道路網等の充実 ◆高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進
- 広域公共交通網の充実 ◆国内外航空路線の拡充促進 ◆在来線の利用促進

II 効率的で持続可能な公共交通体系の構築

- 公共交通の利用促進・サービス水準の向上 ◆ICTを活用した利用しやすい公共交通 ◆停留所等の環境整備
- 公共交通不便地等における交通手段の確保 ◆コミュニティバスの運行等 ◆地域主体による取組等への支援
- 安心・安全な移動環境の整備 ◆バリアフリー化の推進
- 持続的な公営交通の運営 ◆鹿児島市交通事業経営計画に基づく取組の推進
◆鹿児島市船舶事業経営計画に基づく取組の推進

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「道路や公共交通などの交通環境が充実している」と感じる市民の割合	47.1%	➡	51.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
都市計画道路整備率	85.1%	➡	86.6%	整備済みの延長／全体延長
公共交通の利用者数	63,571千人	➡	57,200千人	九州運輸局鹿児島運輸支局業務概況、各事業者資料等

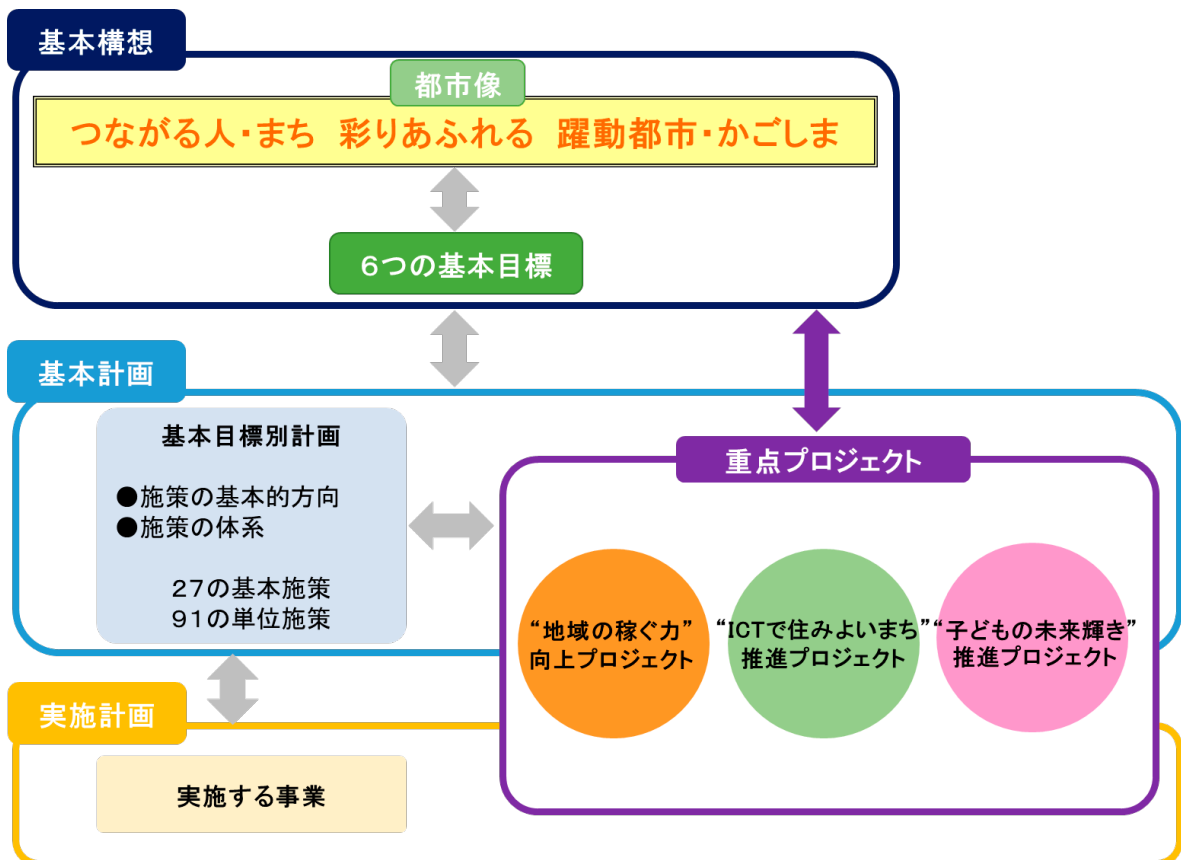
市民みんなで

市民・地域	◇環境にやさしい公共交通での移動などを心掛けましょう。 ◇地域の日常生活になくしてはならない公共交通をみんなで維持しましょう。
事業者・団体等	◇利用者ニーズに応じた安全で快適な運行サービスの提供に努めましょう。 ◇バリアフリーに配慮した車両や施設等の整備に努めましょう。

3 重点プロジェクト

3 重点プロジェクト

- ◇基本構想に掲げた都市像は、6つの基本目標の達成、基本計画及び実施計画に掲げる基本・単位施策及び事業を展開することを通じて実現していくことが基本となりますが、この施策・事業を展開していくに当たり、本市の現況や時代の潮流などを踏まえ、特に先導的かつ重点的に取り組む3つの施策・事業群を「重点プロジェクト」として掲げます。
- ◇「重点プロジェクト」の施策・事業は、基本計画中「基本目標別計画」及び「実施計画」に掲げる施策・事業の中に含まれるものであり、基本目標の達成、ひいては都市像の実現を一層推進していく役割を担うものです。



重点プロジェクト

プロジェクト1 “地域の稼ぐ力” 向上プロジェクト



ねらい

人口減少により、国内市場の縮小や人手不足が顕在化するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域経済への長期の影響が懸念されています。

地域産業の生産性向上や海外展開等を支援するほか、MICEやインバウンドへの対応の強化など観光消費額を高める取組を推進することにより、“地域の稼ぐ力”を向上させます。

概要

- 地域産業のさらなる活力の向上を図るため、ICT等の活用による生産性向上や急成長を目指す企業の新たな事業展開等を支援するほか、海外展開を促進します。
- 農林水産業の収益性向上や農林水産物の高付加価値化・消費拡大を図るため、スマート農林水産業の導入支援や6次産業化・農商工連携の促進に取り組みます。
- 観光消費額のさらなる拡大のため、観光資源の付加価値を高めながら、経済効果が高いMICEの積極的な誘致を行うとともに、今後回復が見込まれるインバウンド対応を強化するほか、多様なツーリズムを展開します。

プロジェクトのイメージ図

“地域の稼ぐ力” 向上



実施する主な取組

地域産業の生産性向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT等の活用により、中小企業の業務効率化・売上アップを図るための取組を支援します。 ● 急成長を目指す企業や起業家の新たな事業展開に対し、伴走型の支援を行うほか、新規事業や業態転換など、新たな領域に挑戦する事業承継を支援します。
アジアマーケットへの進出支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外で開催される展示会等への出展を支援するなど、成長著しいアジア市場への販路拡大や事業展開を戦略的に支援します。 ● 魚類市場を南九州の輸出拠点として位置づけ、開設者と市場関係者が一体となって輸出拡大に取り組むほか、木材の輸出に必要な環境整備を図ります。
農林水産業の収益性向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ● スマート農林水産業を導入し、経営の効率化を図るなど、収益性を高める取組を支援します。 ● 6次産業化や農工商連携などにより、市内産農林水産物の付加価値向上や販路拡大に取り組みます。
MICEの積極的な誘致	<ul style="list-style-type: none"> ● MICE誘致戦略プランに基づき、本市素材を生かしたエクスカージョン等の促進を図るなど、大きな経済効果のあるMICEの誘致に取り組みます。 ● プロ・実業団チームや学生・団体などのスポーツキャンプ・合宿等の誘致を推進します。
インバウンド対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 各市場の特性に応じた観光プロモーションを展開するほか、外国人観光客向けの新たな魅力の創造や安心快適な受入環境の整備に取り組めます。 ● 海外からの観光客誘致に対応できるインバウンド対応人材の育成のほか、クルーズ船の観光客が鹿児島島の魅力を体験できる環境づくりに取り組めます。
多様なツーリズムの展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 修学旅行やグリーンツーリズム、スポーツツーリズムなどの多様なツーリズムを展開します。 ● 本市の特性を生かした、鹿児島らしさを体感できる体験型観光を推進します。

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
市内就業人口1人当たりの総生産	6,534千円	➡	7,073千円	鹿児島市統計書 (市内総生産/市内就業人口)
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
新たな事業展開に取り組む事業者数	17事業者/年	➡	5年で110事業者	
スマート農林水産業関連技術の導入件数	16件/年	➡	5年で65件	市農林水産部統計
1人1泊当たりの外国人観光消費額	30,700円/人泊	➡	33,000円/人泊	市観光消費額調査

市民みんな

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇市内企業の製品・サービス等に対する理解を深め、積極的に利用しましょう。 ◇地元の農林水産物やそれらを活用した商品の魅力を理解し、多くの人に伝えましょう。 ◇鹿児島らしさを見つけ、価値ある体験を観光客に伝えましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇魅力ある新商品等の開発や販路拡大に取り組ましましょう。 ◇ICT等のスマート農林水産技術を活用し、生産性の向上や省力化等に取り組ましましょう。 ◇観光資源の付加価値を高めながら、MICEやインバウンド、多様なツーリズムに取り組ましましょう。

重点プロジェクト

プロジェクト2

“ICTで住みよいまち” 推進プロジェクト



ねらい

AIやIoTなど技術革新が進む中、新型コロナウイルス感染症対策を契機に、テレワークやキャッシュレス決済など、企業活動・市民生活にもデジタル化の動きがさらに広がっています。

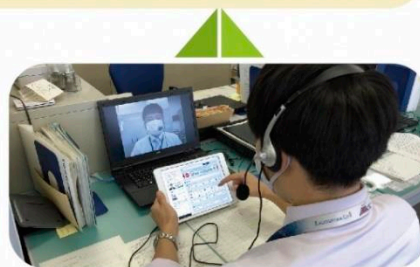
行政の事務や市民サービスへICTを積極的に活用して、市民の利便性の向上や自治体業務の効率化を図ることにより、市民にとって、もっと便利で住みよいまちになることを目指します。

概要

- 市民の利便性向上や行政サービスの効率化を図るため、行政事務のデジタル化など、市民サービスにICTを積極的に活用する取組を進めるほか、新たなICTを積極的に取り入れるなど、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進します。
- 高齢者をはじめ誰もがICTの恩恵を享受できるよう、市民のICTリテラシー向上を推進します。
- 距離的・時間的な制約がなく、競争力を持つことができるICT関連産業を本市の将来の基幹産業に育てるため、ICT技術者などの人材を育成するとともに、雇用の受け皿となるICT関連企業の誘致等を推進します。

プロジェクトのイメージ図

“ICTで住みよいまち” 推進



ICTの活用

市民

より便利な
サービスの創出

事業者・団体

行政事務の
DX推進

行政

実施する主な取組

ICTの活用による市民サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口手続の簡素化・オンライン化や窓口手数料等の支払におけるキャッシュレス決済の拡充など、行政手続のデジタル化を推進します。 ● 市民生活を向上させるため、健康分野をはじめ、さまざまな分野の市民サービスにICTを活用します。
ICTリテラシー向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルデバインド（情報格差）対策として、市民へのICTに関する講座の充実をはじめ、学習機会の提供に取り組みます。 ● さまざまな機会を通じて市民にオープンデータ等の活用を働きかけ、市民のデータ活用力を高めます。
自治体DX推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民記録、地方税、福祉など、主要な業務を処理する情報システムの標準化を進めるとともに、AIやRPAなどの利活用による業務効率化を推進します。 ● 全庁的なDXの推進に当たり、外部人材の活用・職員の育成に取り組みます。 ● 情報システムの標準化やクラウドサービス等の活用などを進めるに当たり、国の情報セキュリティポリシーガイドラインなどを踏まえたセキュリティ対策の徹底に取り組みます。
ICT関連産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいサービスや付加価値の創出を促進するため、AIやIoTなど新たなICTを利活用できる人材や企業の育成に取り組みます。 ● ICT関連企業の戦略的な企業立地に取り組みます。

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
「ICTの活用により、生活が便利になった」と感じる市民の割合	52.6%	➡	65.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
電子申請利用件数	29,441件	➡	43,000件	
国が策定する標準仕様に準拠した業務システムへの移行件数	—	➡	5年で17件	
ICT関連企業の立地協定件数	1件/年	➡	5年で15件	

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 行政の手続や市民サービスにおいて、電子申請やアプリなどを積極的に利用しましょう。 ◇ ICTに関する理解を深め、暮らしや仕事にICTを活用し、生活の質を向上させましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇ AIやIoTなどの新しい技術を活用できる人材育成や業務のデジタル化を推進しましょう。 ◇ ICTを利用して、便利で魅力的なサービスや商品を創出しましょう。

重点プロジェクト

プロジェクト3

“子どもの未来輝き” 推進プロジェクト



ねらい

共働き家庭の増加等により、保育を必要とする保護者のニーズが高まる一方、保育士等の不足などにより、保育所等では依然として待機児童が発生しており、その解消が課題となっています。

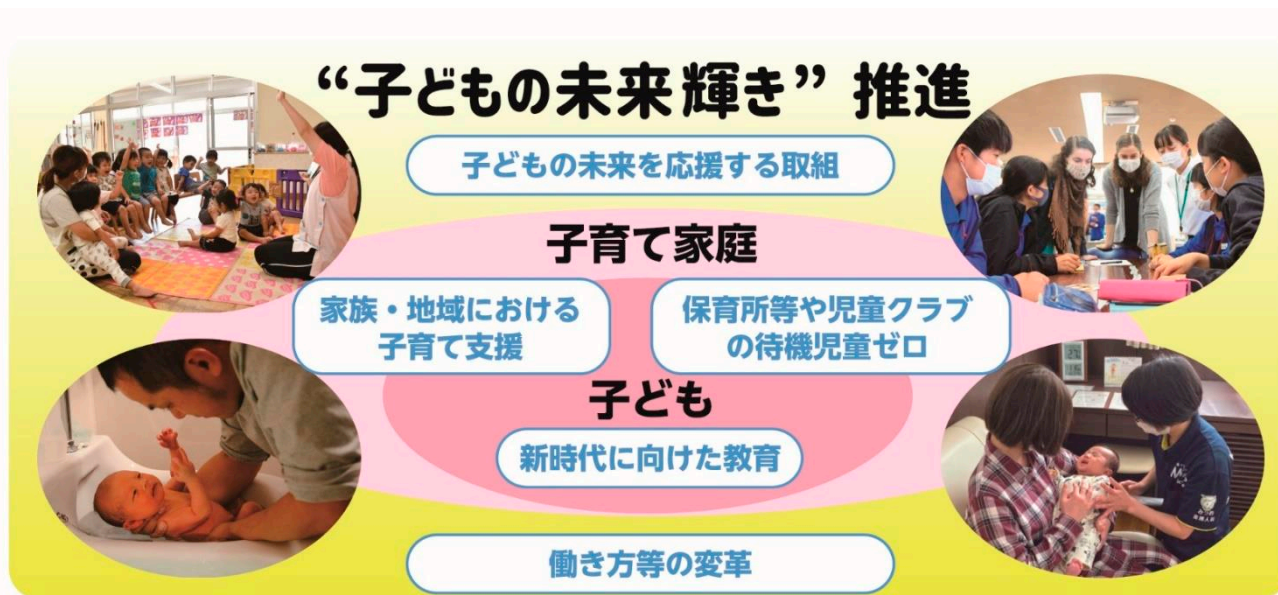
また、子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化などを背景に、児童虐待対応の体制強化や子どもの貧困対策などが喫緊の課題になっているほか、子どもへの教育においては、グローバル化や技術革新など、大きく変化する社会環境に対応できる資質・能力を育むことが求められています。

ソフト・ハード両面からの子育て環境の充実のほか、子どもを守るための取組や新しい時代に対応した教育の推進を図り、子どもが夢や希望を持ち輝ける地域社会を目指します。

概要

- 待機児童ゼロを実現するため、保育士等の確保や施設整備に取り組むほか、身近な地域における子育て支援体制の整備や仕事と家庭を両立しやすい環境づくりを推進します。
- 子どもを社会全体で守り育てるという気運を醸成し、子どもに関わるさまざまな問題の予防につなげるとともに、児童虐待対応の体制強化を図るなど、子どもの権利を尊重し、未来を応援する取組を推進します。
- 社会の変化に対応するための情報活用能力や国際的な視野を育むとともに、キャリア教育を推進し、新しい時代に活躍できる人材を育成します。

プロジェクトのイメージ図



実施する主な取組

待機児童ゼロに向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育士等の魅力発信や復職支援により、保育人材を確保するなど、保育の受け皿の確保に取り組みます。 ● 利用ニーズや地域の実情を踏まえ、施設整備等に取り組み、児童クラブの充実を図ります。
家族と地域における子育て支援の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族において世代間で助け合いながら子育てできるように、親と近居・同居する子育て世代を支援します。 ● 地域の身近な場所での育児等の相談や子育て家庭の交流の場の提供など、地域における子育て支援の充実を図ります。 ● 妊産婦への支援や産後ケア、病児・病後児保育など、妊娠・子育て中の親に寄り添う支援の充実を図ります。
「働き方・暮らし方の変革」の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発や「イクボス推進同盟」への参加促進を図るなど、仕事と家庭を両立しやすい環境づくりを推進します。 ● ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、働き手の事情に応じた多様で柔軟な働き方を促進します。
子どもの未来を応援する取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの権利を尊重し、未来を応援する条例の制定により、子どもの貧困や児童虐待など、さまざまな問題から子どもを地域全体で守り育てる取組を行います。 ● 子どもと家庭を総合的に支援する体制の核となる、子育て支援機能や母子保健機能を有する児童相談所の設置に向けて取り組みます。
新しい時代に対応できる子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミング教育など、情報教育の推進やICTを活用できる学習環境の整備に取り組みます。 ● 国際的な視野を広げるさまざまな機会の提供や、家庭の経済状況に関わらず海外での交流体験ができるよう支援を行います。 ● 子どもが社会的・職業的自立を目指し、将来に向けた進路を意識してキャリアプランを設定できるよう、地域住民等と連携・協働した職場体験学習などのキャリア教育の充実を図ります。

目標指標

このようなまちを目指します！	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	72.9%	➡	80.0%	全国学力・学習状況調査
主な指標	【現況】		【目標(R8)】	【算出方法】
保育所等の待機児童数	82人	➡	0人	
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.0%	➡	100.0%	健やか親子21アンケート
授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6: -1.1 中3: +0.4	➡	小6: +2.0 中3: +2.0	全国学力・学習状況調査 ※全国平均を100とした本市との差

市民みんなで

市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇仕事と生活の調和を心がけ、性別に関わりなく子育てに協力して取り組みましょう。 ◇地域全体で子どもと子育て家庭を見守り、さまざまな体験活動の提供や交流の場づくりなど、心身ともに健全な子どもを育む環境づくりを推進しましょう。
事業者・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ◇長時間労働の是正や育児休業の取得を促進し、ワーク・ライフ・バランスを推進しましょう。 ◇子どもが職業について学ぶ機会の提供など、社会で活躍できる人材の育成を支援しましょう。

4 地域別計画

4 地域別計画

◇市域の各地域・地区別に、まちづくりの基本的方向等を明らかにします。

(1) 地域別計画の考え方

① 地域・地区の区分

- ◆多様な特性を備えた地域によって構成されていることから、行政所管区域を基本に市域を大きく9地域に区分します。
- ◆このうち、2地域（中央地域、谷山地域）については、地形等の自然条件、交通、都市機能の集積等の諸条件を踏まえ、さらに7地区に区分します。

② 計画の内容

- ◆市域の各地域・地区別に、現状及び課題、まちづくりの基本的方向を明らかにするとともに、基本目標別計画の各種施策の主なものなどについて掲載します。

③ 地域別計画の推進に当たって

- ◆地域のまちづくりを進めるに当たっては、市民・事業者などあらゆる主体との連携・協働を図ることが重要です。
- ◆本市では、地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組むことを目指し、地域の多様な団体が幅広く参加する地域コミュニティ協議会が市内全域で設立され、活動しています。
- ◆そのため、地域の特性や課題に精通した地域コミュニティ協議会などの地域団体等との連携・協働を図るとともに、地域活動への支援や担い手の育成など、さまざまな取組を進めることにより、住民主体の地域づくりを一層推進します。
- ◆また、人口減少と少子高齢化が進む中において、地域において安心して暮らせる生活環境を形成するために、居住や都市機能の誘導と公共交通体系の構築等により、地域活力の維持・増進を図るとともに、コンパクトなまちづくりを推進します。
- ◆今後は、これらの取組を通じた成果や課題等も踏まえる中で、地域の実情に応じた施策・事業についてさらに検討を進めます。

《地域・地区の区分》



地域	地区
I 中央地域	(I) 中央地区
	(II) 上町地区
	(III) 鴨池地区
	(IV) 城西地区
	(V) 武・田上地区
II 谷山地域	(I) 谷山北部地区
	(II) 谷山地区
III 伊敷地域	
IV 吉野地域	
V 吉田地域	
VI 桜島地域	
VII 喜入地域	
VIII 松元地域	
IX 郡山地域	

《地域・地区の内訳》

令和3年4月1日現在の町丁目名による

地域	地区	町 丁 目 名
中央地域	中央地区	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
	上町地区	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稻荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
	鴨池地区	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
	城西地区	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
	武・田上地区	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
谷山地域	谷山北部地区	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
	谷山地区	西谷山1～4丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ッ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
伊敷地域		伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く。）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
吉野地域		岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く。）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目
吉田地域		西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
桜島地域		桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
喜入地域		喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
松元地域		石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
郡山地域		花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

(2) 地域の現況

平成27年10月1日現在の町丁目名による

項目	中央地域										
	中央地区	全市構成比	上町地区	全市構成比	鴨池地区	全市構成比	城西地区	全市構成比	武・田上地区	全市構成比	
面積	4.0km ²	0.7%	8.9km ²	1.6%	13.1km ²	2.4%	7.7km ²	1.4%	15.2km ²	2.8%	
人口	40,283人	6.7%	40,603人	6.8%	106,145人	17.7%	46,184人	7.7%	59,946人	10.0%	
	男	17,818人	6.4%	18,317人	6.6%	49,936人	17.9%	21,151人	7.6%	27,981人	10.0%
	女	22,465人	7.0%	22,286人	6.9%	56,209人	17.5%	25,033人	7.8%	31,965人	10.0%
世帯数	24,524世帯	9.1%	18,891世帯	7.0%	54,860世帯	20.3%	21,491世帯	8.0%	26,669世帯	9.9%	
平均世帯人員	1.6人	(2.2人)	2.1人	(2.2人)	1.9人	(2.2人)	2.1人	(2.2人)	2.2人	(2.2人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	10.2%	(13.8%)	12.3%	(13.8%)	13.2%	(13.8%)	12.7%	(13.8%)	13.5%	(13.8%)
	15～64歳	68.0%	(61.3%)	57.4%	(61.3%)	65.4%	(61.3%)	59.9%	(61.3%)	60.6%	(61.3%)
	65歳以上	21.8%	(24.8%)	30.3%	(24.8%)	21.4%	(24.8%)	27.4%	(24.8%)	25.9%	(24.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	0.3%	(1.4%)	0.7%	(1.4%)	0.4%	(1.4%)	0.5%	(1.4%)	0.6%	(1.4%)
	第二次産業	9.7%	(15.4%)	11.9%	(15.4%)	12.2%	(15.4%)	11.0%	(15.4%)	15.8%	(15.4%)
	第三次産業	90.0%	(83.2%)	87.4%	(83.2%)	87.5%	(83.2%)	88.6%	(83.2%)	83.6%	(83.2%)

項目	谷山地域				伊敷地域	全市構成比	吉野地域	全市構成比	吉田地域	全市構成比	
	谷山北部地区	全市構成比	谷山地区	全市構成比							
面積	36.1km ²	6.6%	70.7km ²	12.9%	57.0km ²	10.4%	33.2km ²	6.1%	54.8km ²	10.0%	
人口	84,224人	14.0%	74,862人	12.5%	51,295人	8.6%	47,268人	7.9%	10,578人	1.8%	
	男	39,987人	14.3%	35,414人	12.7%	23,458人	8.4%	22,061人	7.9%	4,916人	1.8%
	女	44,237人	13.8%	39,448人	12.3%	27,837人	8.7%	25,207人	7.9%	5,662人	1.8%
世帯数	34,244世帯	12.7%	30,761世帯	11.4%	20,871世帯	7.7%	18,328世帯	6.8%	4,227世帯	1.6%	
平均世帯人員	2.5人	(2.2人)	2.4人	(2.2人)	2.5人	(2.2人)	2.6人	(2.2人)	2.5人	(2.2人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	16.2%	(13.8%)	15.2%	(13.8%)	13.2%	(13.8%)	15.3%	(13.8%)	11.5%	(13.8%)
	15～64歳	63.8%	(61.3%)	62.6%	(61.3%)	57.5%	(61.3%)	56.1%	(61.3%)	57.1%	(61.3%)
	65歳以上	20.0%	(24.8%)	22.2%	(24.8%)	29.3%	(24.8%)	28.6%	(24.8%)	31.3%	(24.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	0.7%	(1.4%)	1.1%	(1.4%)	1.3%	(1.4%)	2.8%	(1.4%)	5.4%	(1.4%)
	第二次産業	16.3%	(15.4%)	20.4%	(15.4%)	15.6%	(15.4%)	16.8%	(15.4%)	24.4%	(15.4%)
	第三次産業	82.9%	(83.2%)	78.5%	(83.2%)	83.0%	(83.2%)	80.5%	(83.2%)	70.2%	(83.2%)

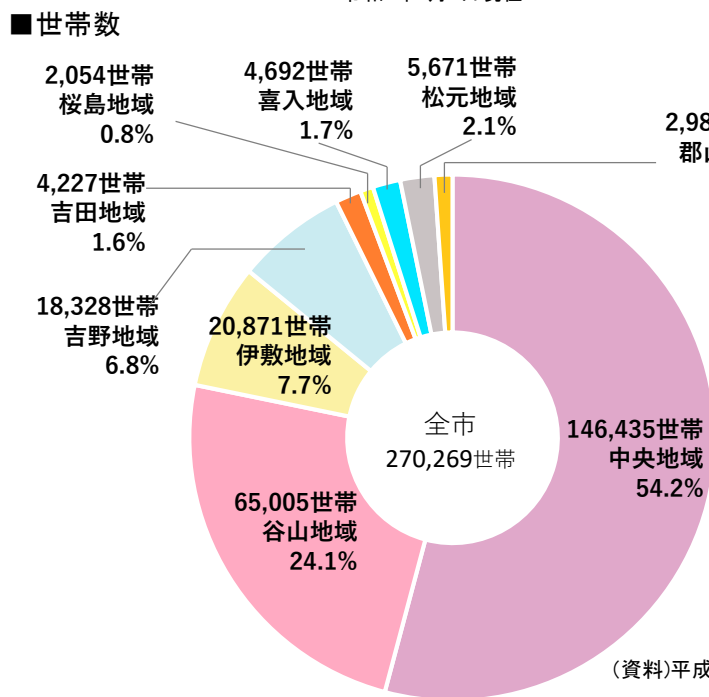
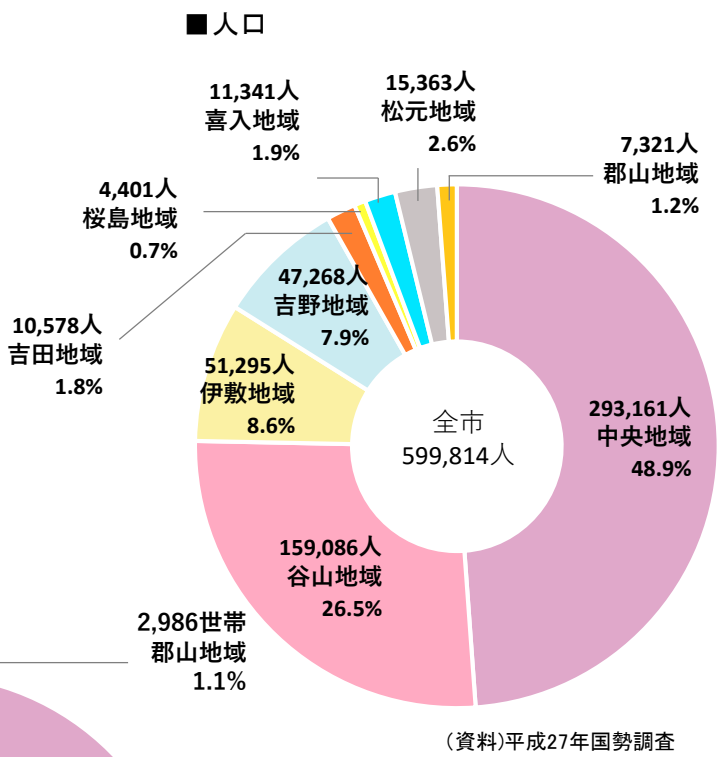
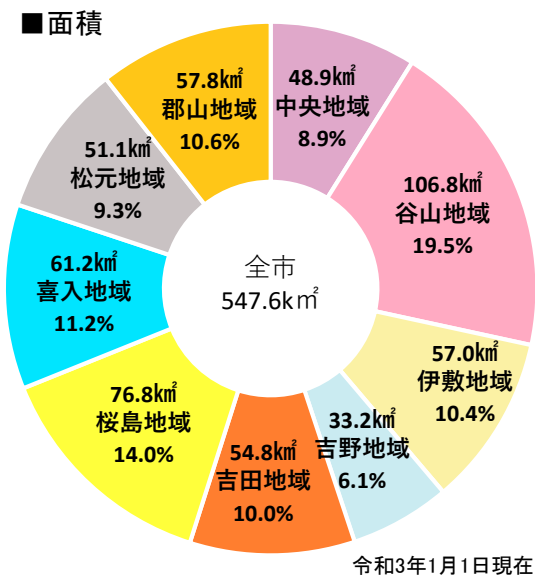
項目	桜島地域		喜入地域		松元地域		郡山地域		
	全市構成比	全市構成比	全市構成比	全市構成比	全市構成比	全市構成比	全市構成比		
面積	76.8km ²	14.0%	61.2km ²	11.2%	51.1km ²	9.3%	57.8km ²	10.6%	
人口	4,401人	0.7%	11,341人	1.9%	15,363人	2.6%	7,321人	1.2%	
	男	2,046人	0.7%	5,292人	1.9%	7,326人	2.6%	3,405人	1.2%
	女	2,355人	0.7%	6,049人	1.9%	8,037人	2.5%	3,916人	1.2%
世帯数	2,054世帯	0.8%	4,692世帯	1.7%	5,671世帯	2.1%	2,986世帯	1.1%	
平均世帯人員	2.1人	(2.2人)	2.4人	(2.2人)	2.7人	(2.2人)	2.5人	(2.2人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	9.6%	(13.8%)	11.7%	(13.8%)	19.5%	(13.8%)	11.8%	(13.8%)
	15～64歳	47.2%	(61.3%)	54.6%	(61.3%)	59.1%	(61.3%)	54.1%	(61.3%)
	65歳以上	43.2%	(24.8%)	33.7%	(24.8%)	21.5%	(24.8%)	34.1%	(24.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	20.3%	(1.4%)	8.9%	(1.4%)	3.3%	(1.4%)	5.8%	(1.4%)
	第二次産業	15.0%	(15.4%)	20.7%	(15.4%)	21.3%	(15.4%)	25.3%	(15.4%)
	第三次産業	64.8%	(83.2%)	70.4%	(83.2%)	75.4%	(83.2%)	68.9%	(83.2%)

(注1) 表中の()は、全市の数値。年齢別人口構成比及び産業別就業者比率は、小数点以下第2位を四捨五入しており、端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

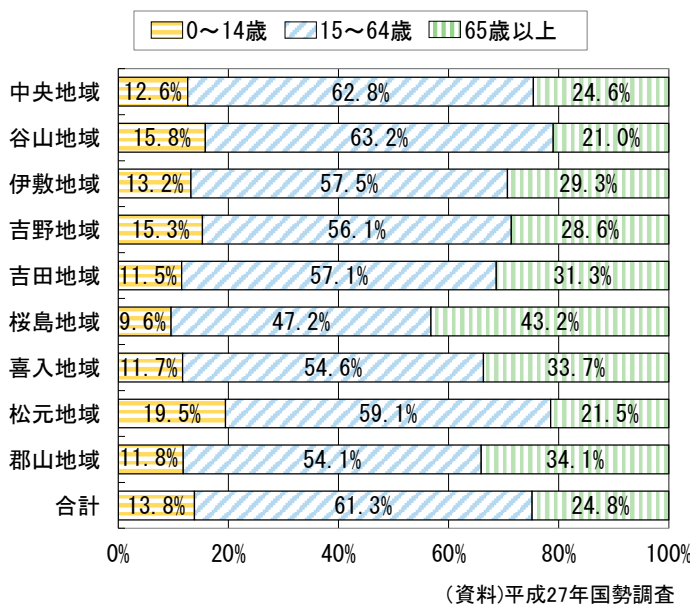
(注2) 年齢別人口構成比は、年齢不詳分を除いて算出している。また、産業別就業者比率は、分類不能分を除いて算出している。

(注3) 平成27年10月1日より後に住居表示が実施された町については、住居表示実施前の町丁目により地域・地区を分類し、上の表にデータを表示している。

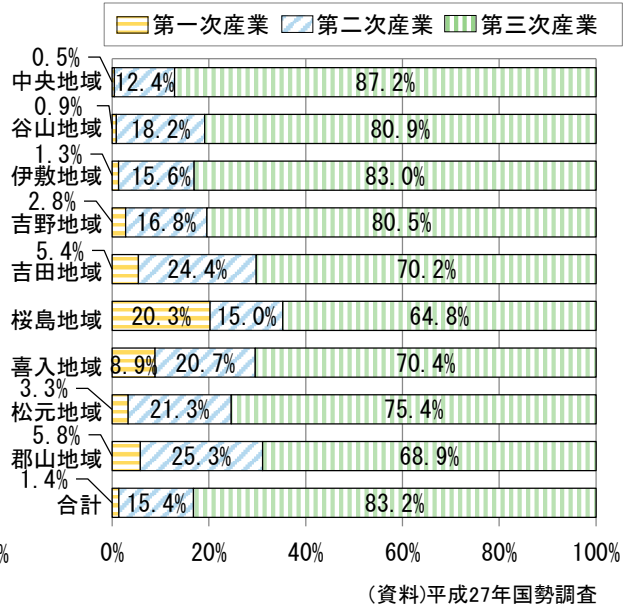
(資料) 平成27年(2015年)国勢調査



■地域別年齢別人口構成比

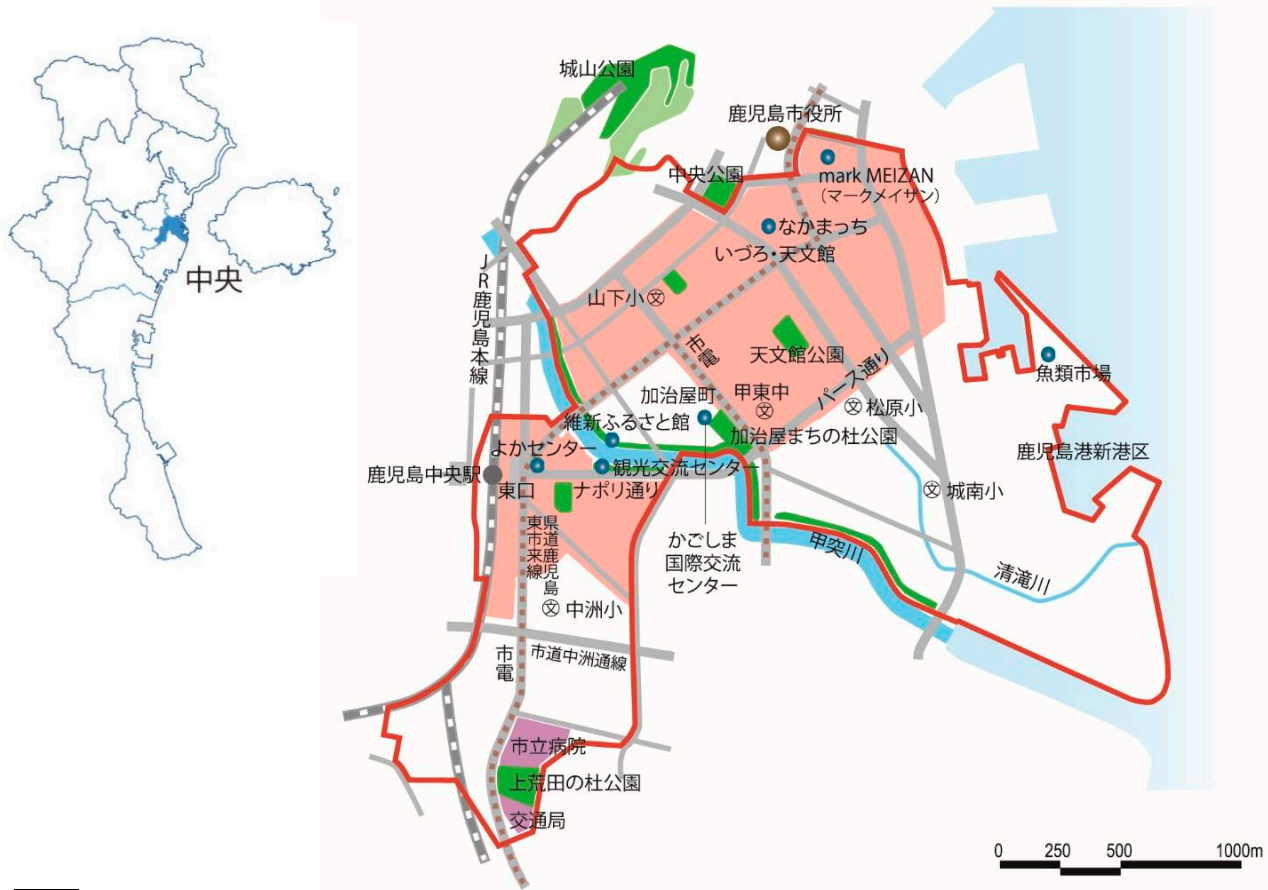


■地域別産業別就業者比率



(3) 地域別計画

I 中央地域 (I) 中央地区



現状と課題

- 本市のほぼ中央部に位置し、いづろ・天文館地区を含む平坦部の市街地と臨海部の新港区、本港区の一部、鹿児島中央駅東口周辺から上之園町、上荒田町で構成されています。
- 人口は増加傾向で、生産年齢人口比率が全市で最も高くなっています。
- 加治屋まちの杜公園や緑化された市電軌道敷、市街地を流れる甲突川などの潤いのある空間整備も進められてきています。
- 新幹線の南の発着点である鹿児島中央駅周辺からいづろ・天文館地区、本港区を結ぶ都市軸を中心に商業・サービス機能などが集積した中心市街地を形成しており、市街地再開発事業などによるさらなる拠点性や回遊性の向上を図る必要があります。
- 主要な交通施設が数多く整備されている一方で、県道鹿児島東市来線や市道中洲通線などに交通が集中するため、慢性的な渋滞が発生しています。



鹿児島中央駅東口



天文館本通り



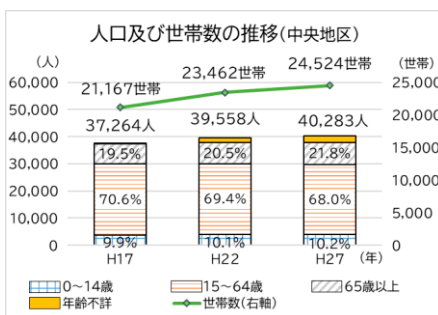
おはら祭

基本的方向

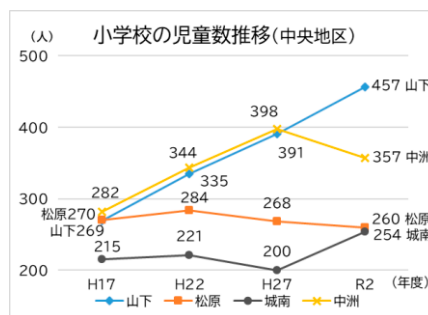
- 中心市街地において、多様な都市機能のさらなる充実を図ります。
- 新規創業者等育成や企業立地の推進などにより、新たな雇用創出を図ります。
- 多彩な地域資源やイベントの充実などによるまちなかの魅力向上を図るとともに、回遊性の向上を図ります。
- 鹿児島東西幹線道路等の整備を促進し、交通の円滑化を図るとともに、公共交通の結節機能の強化を図ります。
- 緑化された軌道敷を走る路面電車など特色ある都市景観、まちなかの公園や街路樹、甲突川などの自然を生かし、にぎわいと潤いが共存する都市空間の創出を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

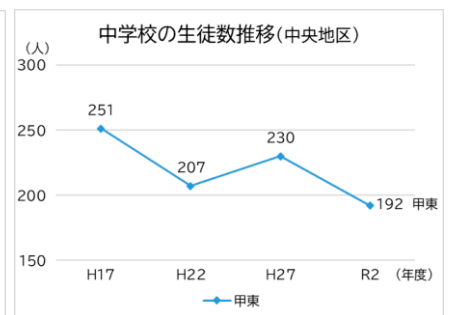
- 立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 鹿児島中央駅周辺の一体的なまちづくり
- クリエイティブ産業創出拠点施設（マークメイザン）を拠点としたクリエイティブ産業の振興
- いづろ・天文館地区のにぎわい拠点を生かした回遊性向上
- 維新ふるさと館や観光交流センターなど観光施設の活用
- 鹿児島マラソンやおはら祭、天文館ミリオネーションなどイベントの開催
- コミュニティサイクルの運営
- 天文館図書館の活用
- 鹿児島東西幹線道路の整備促進
- 天文館公園、加治屋まちなかの杜公園、上荒田の杜公園、甲突川左岸・右岸緑地の活用
- 国際交流センター、東部親子つどいの広場（なかまっち）の活用
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
山下校区コミュニティ協議会	花いっぱい運動の実施、パトロールの充実による安心・安全な町づくり
松原地域コミュニティ協議会	資源回収事業の実施、体幹ストレッチ教室の開催
城南校区まちづくり協議会	城南維新かこカヌー大会や城南ふるさとまつりの開催
中洲校区コミュニティ協議会	中洲校区文化祭の実施

I 中央地域 (II) 上町地区



現状と課題

- 本市の中央部北側に位置し、稲荷川下流域の平坦部と臨海部の本港区、磯周辺の自然海岸及びその後背の台地で構成されています。
- 人口は減少傾向で、年齢別人口構成比は、本市の平均的な数値となっています。
- 桜島や錦江湾の眺望に優れ、市街地に近接した貴重な緑地や自然海岸、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の「旧集成館」や石垣・石塀が残る歴史と風格ある街並みなど恵まれた風土を有しています。
- 市役所周辺には、歴史・文化などに関する市の中心的な公共施設が立地するなど、都市機能が集積した中心市街地を形成しています。
- かごしま水族館や桜島フェリーターミナルなどが立地する本港区を含む周辺一帯においては、いづろ・天文館地区などとの連携が図られた拠点の形成や中心市街地の回遊性のさらなる向上が求められています。
- 鹿兒島駅、本港区などに公共交通が集積し、本市の北の玄関口となっている一方、始良・吉野方面からの交通が集中する国道10号などで慢性的な渋滞が発生しています。
- 玉里団地や坂元団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。
- 稲荷川流域においては、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策が必要となっています。



かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会



鹿兒島城跡



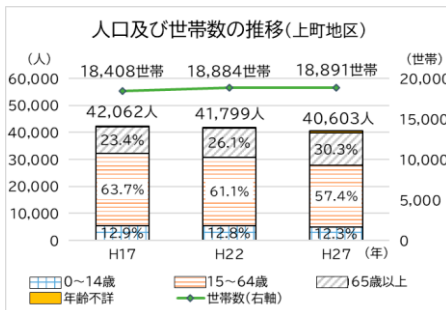
旧鹿兒島紡績所技師館（異人館）

基本的方向

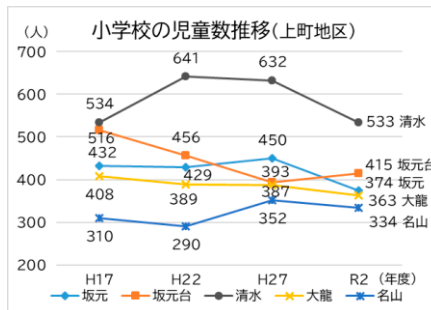
- 良好な都市景観の形成や魅力ある観光資源の活用を図るほか、本港区における魅力あるウォーターフロントの形成及び路面電車観光路線の新設を検討するなど、都市型観光を推進します。
- 鹿児島駅周辺における再開発の推進やイベントの充実などにより、にぎわいの創出と交流の促進を図ります。
- 中心市街地において、多様な都市機能のさらなる充実を図るほか、地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 国道10号など広域交通の円滑化や住宅団地等と都市部のアクセス向上、公共交通の結節機能の強化を図るとともに、稲荷川流域の河川改修の促進などによる治水対策を進めます。
- 世界文化遺産を有する磯地区などの魅力創出やアクセス向上を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

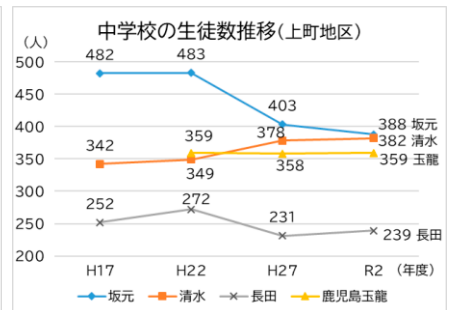
- 路面電車観光路線の新設検討
- かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会などイベントの開催
- コミュニティサイクルの運営
- 浜町1番街区再開発事業の推進、上町ふれあい広場及び上町の杜公園（かんまちあ）の活用
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 国道10号鹿児島北バイパス、県道鹿児島蒲生線の整備促進
- 稲荷川の河川改修の促進
- 世界文化遺産の保全と活用、磯新駅の設置促進
- 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の観光資源としての活用
- 磯地区、南洲門前通り地区、歴史と文化の道地区の景観修景の促進、住民主体の景観づくり活動の支援
- 城山公園自然の森の再生、城山自然遊歩道や中央公園の活用
- かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館、市立美術館、西郷南洲顕彰館、かごしま水族館などにおける企画展やイベント等の開催
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
坂元校区コミュニティ協議会	玉里団地納涼夏まつりの開催、校区安全防犯パトロールの実施
坂元台校区まちづくり協議会	せばる準人舞の継承、校区大運動会の開催
清水校区まちづくり協議会	錦江湾横断遠泳への支援、上町五社参りを通じた歴史の学習
大龍校区まちづくり協議会	校区内史跡紹介冊子や防災マップの作成
名山校区コミュニティ協議会	日曜城山登山の実施、夏祭りやナイトバザールによる生き生きまちづくり

I 中央地域 (III) 鴨池地区



現状と課題

- 本市の中央部南側に位置し、甲突川と新川に囲まれた平坦部と脇田川沿岸から新川にかけての丘陵部及び平坦部、与次郎ヶ浜から金属団地に至る臨海部で構成されています。
- 人口は横ばいに推移しており、生産年齢人口比率が高くなっています。
- 鹿児島大学など4つの大学のほか、市民文化ホールや市立図書館、鴨池公園、大型クルーズ船が接岸できるマリンポートかごしまなどの教育・文化・スポーツ・レクリエーション機能や業務機能が集約されています。
- 国道225号、産業道路などの広域的な道路につながる丘陵部と平坦部を結ぶアクセス道路が多数あり、慢性的な渋滞が発生しています。
- 紫原団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。
- 脇田川流域においては、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策が必要となっています。



鴨池公園



マリンポートかごしま



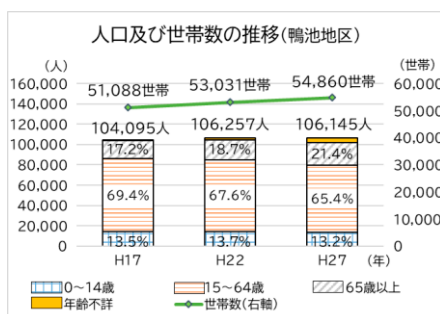
すこやか子育て交流館(りぼんかん)

基本的方向

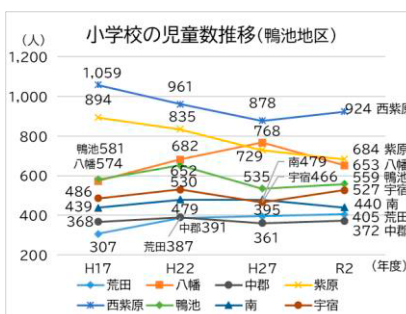
- 幹線道路等の整備促進や生活道路の整備による交通環境の改善を図るとともに、脇田川流域の河川改修の推進などによる治水対策を進めます。
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 大学が有する豊富な人的・知的・物的資源や機能等を地域づくりに積極的に活用します。
- 文化・スポーツ・レクリエーション機能を生かした広域交流空間の形成を図るとともに、マリポートかごしまの国際クルーズ拠点としての活用を促進します。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

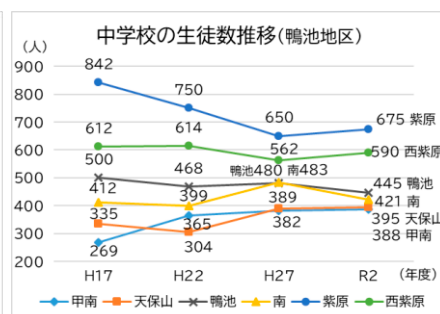
- 臨港道路、鹿児島東西幹線道路、鹿児島南北幹線道路の整備促進
- 交通の円滑化等に向けた地域生活道路の整備
- コミュニティサイクルの運営
- 脇田川の河川改修の推進
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 鹿児島大学、鹿児島女子短期大学、鹿児島純心女子短期大学、志学館大学との連携
- 市民文化ホールや市立図書館・科学館、生涯学習プラザ・男女共同参画センター（サンエールかごしま）などの文教施設の活用
- 鴨池公園水泳プールや野球場、多目的屋内運動場などのスポーツ施設の活用
- マリポートかごしまの活用促進
- すこやか子育て交流館（りぼんかん）を拠点とした子育て支援の推進
- 児童相談所の候補地としての検討
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

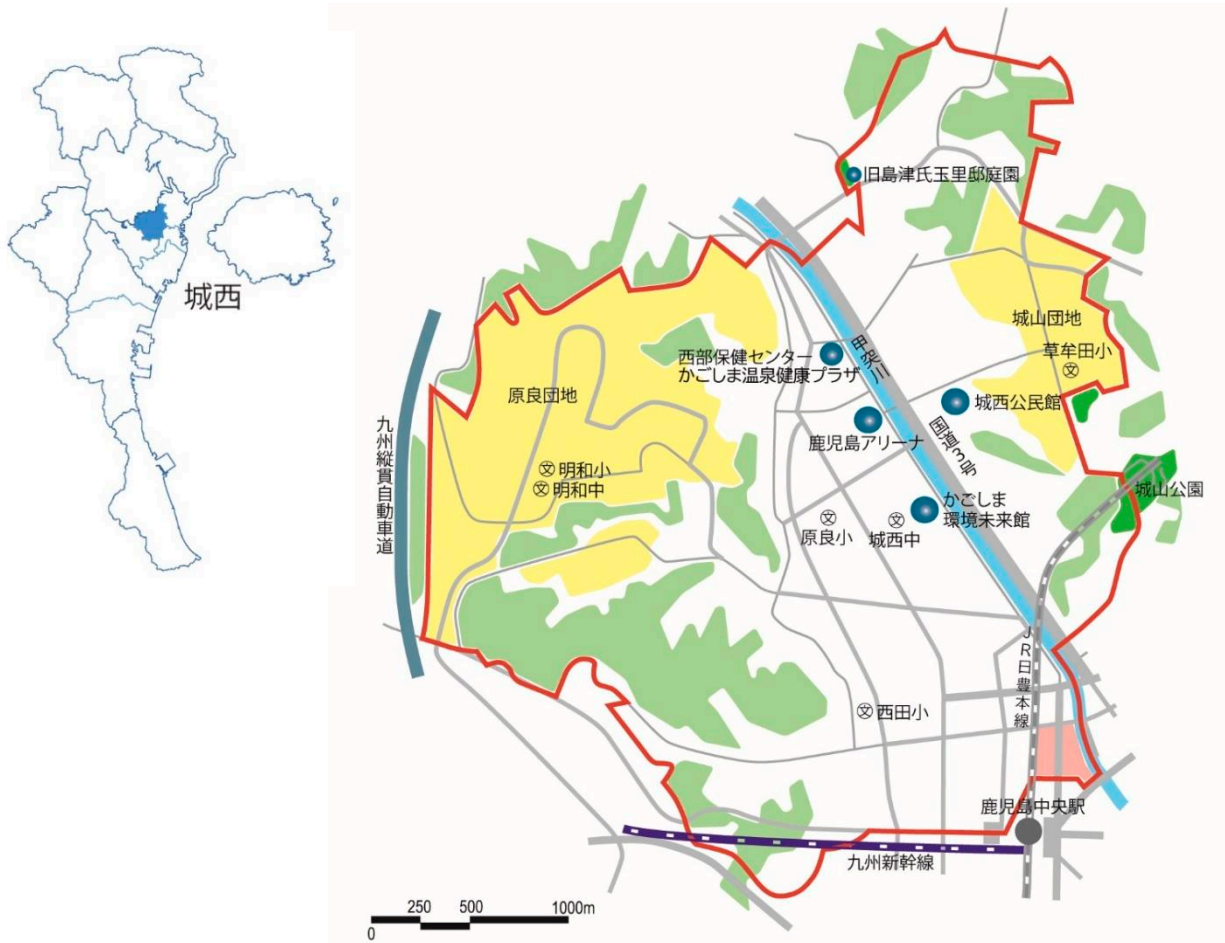


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
荒田校区コミュニティ協議会	防災講話など校区防災意識の啓発、健康体操の実施
八幡校区コミュニティ協議会	地域で子どもを育むまちづくり宣言、「八幡見守り隊」活動の実施
中郡地域コミュニティ協議会	「まちの110番かけこみの家」の推進、地域丸ごと見守り訓練の実施
紫原校区まちづくり協議会	志学館大学との連携によるまちづくり
愛でいっぱいのもちづくり西紫原協議会	愛の西紫原フェスタの開催、自然災害から地域住民の命を守るプロジェクトの推進
鴨池校区コミュニティ協議会	「L.L.かもいけ」の発行、現役世代も参加する支え合い活動「みんなサポかもいけ」の推進
南校区地域コミュニティ協議会	見守り活動の強化、高齢者の社会参加活動の推進
宇宿校区コミュニティ協議会	立志式などの伝承文化・青少年育成、校区駅伝大会などの実施

I 中央地域 (IV) 城西地区



現状と課題

- 本市の中央部北西側に位置し、地区の中央を流れる甲突川沿岸の平坦地と丘陵部の住宅団地等で構成されています。
- 人口は減少傾向で、年齢別人口構成比は、本市の平均的な数値となっています。
- 鹿児島アリーナや旧島津氏玉里邸庭園のほか、環境学習などの拠点施設であるかごしま環境未来館が整備されるとともに、甲突川や城山・護国神社周辺の山林など、都心部の近くに貴重な自然が残されています。
- 原良団地や城山団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。



かごしま環境未来館



鹿児島アリーナ



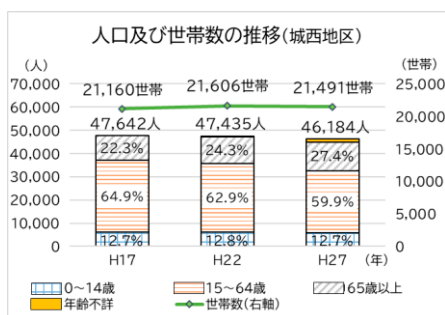
旧島津氏玉里邸庭園

基本的方向

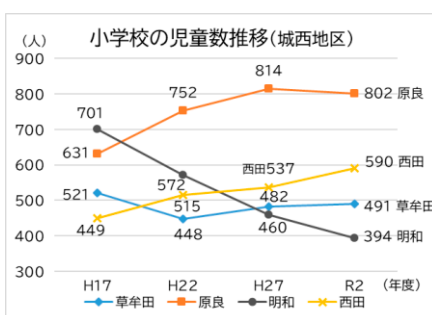
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 生活道路の整備による交通環境の改善を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 鹿児島アリーナを活用し、スポーツ・イベントなどを通じた交流を推進します。
- 甲突川や城山などの自然環境や景観の保全・活用を図るとともに、かごしま環境未来館を活用し、環境学習や環境保全活動を推進します。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

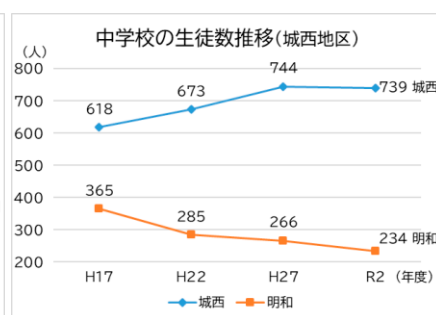
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 交通の円滑化等に向けた地域生活道路の整備
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- コミュニティサイクルの運営
- 鹿児島アリーナの活用
- 甲突川や緑地の保全・活用
- かごしま環境未来館の活用
- 旧島津氏玉里邸庭園の活用
- かごしま温泉健康プラザの活用
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

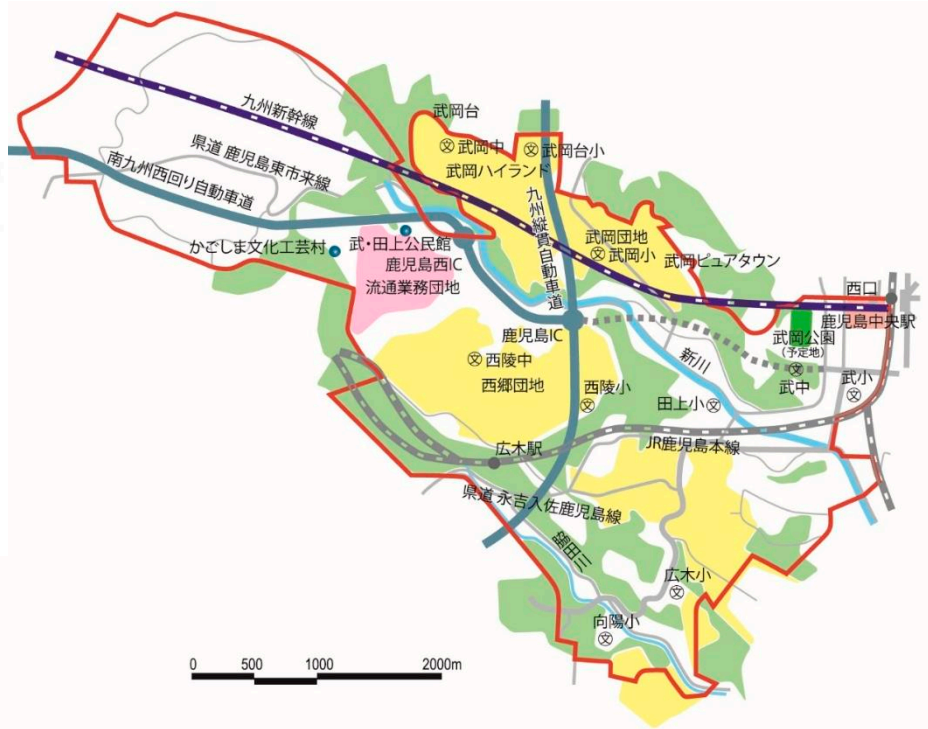


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
草牟田地域まちづくり協議会	薩摩系びな(県指定伝統的工芸品)の伝統継承への支援
原良校区コミュニティ協議会	おはら節発祥の地としての伝統継承、あいご会活動の充実
明和まちづくり協議会	高齢者の見守り活動の実施、子育て世代が参加しやすい地域活動の促進
西田校区まちづくり協議会	自彊学舎を活用した青少年健全育成、自主防災組織の整備

I 中央地域 (V) 武・田上地区

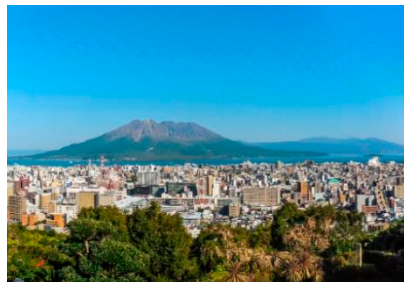


現状と課題

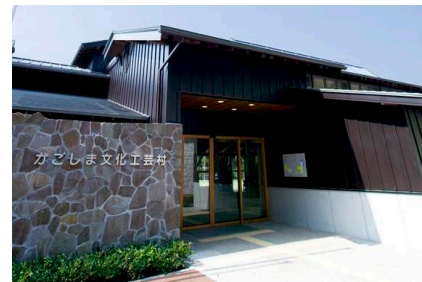
- 本市の中央部西側に位置し、新川、脇田川の上流域の平坦地や丘陵部の住宅団地、西部の山地で構成されています。
- 人口は減少傾向で、年齢別人口構成比は、本市の平均的な数値となっています。
- 丘陵部に鹿児島流通業務団地が形成され、運輸・卸売の事業所が数多く立地するなど、広域的な産業・物流の拠点となっています。
- 鹿児島中央駅西口周辺において、さらなる拠点性の向上が必要です。
- 自動車専用道路のインターチェンジが集中するなど交通の要衝となっていますが、丘陵部の大型団地と都心部間の交通が県道鹿児島東市来線など限られた道路へ集中することから、慢性的な渋滞が発生しています。
- 狭隘な道路など脆弱な生活基盤が見られる新川沿岸の田上小学校周辺などの密集住宅地については、生活環境の改善が必要となっています。
- 鹿児島中央駅西口から眺望できる斜面緑地など、市街地に残された貴重な自然や優れた眺望を生かした憩いや散策の場の整備が求められています。
- 西郷団地や武岡団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。
- 新川流域においては、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策が必要となっています。



鹿児島中央駅西口



武岡公園整備予定地からの眺望



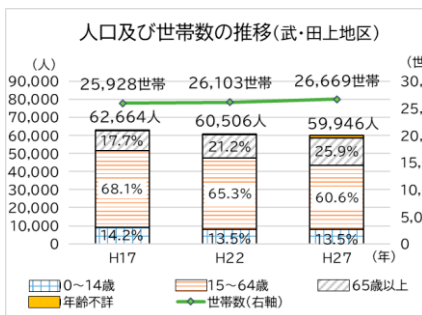
かごしま文化芸術村

基本的方向

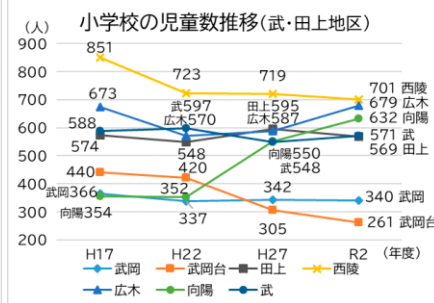
- 鹿児島中央駅西口地区の開発に伴う多様な都市機能の充実や周辺道路の整備など、陸の玄関口にふさわしい都市空間の創出を図ります。
- 鹿児島東西幹線道路など広域的な幹線道路の整備を促進するとともに、生活道路の整備や交通環境の形成を図ります。
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 田上小学校周辺においては、生活環境の改善に向けて土地区画整理事業を検討するとともに、新川流域の河川改修の促進などによる治水対策を進めます。
- 武岡公園の整備などによる市民のふれあいの場の充実を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

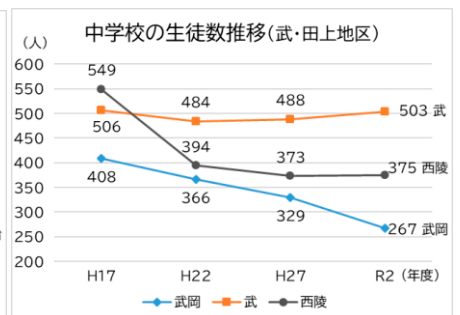
- 鹿児島中央駅西口地区における都市機能の充実の促進、周辺道路整備事業の推進
- 鹿児島東西幹線道路の整備促進と街路事業の推進（武武岡線）
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 田上小学校周辺における土地区画整理事業の検討
- 新川の河川改修の促進
- 武岡公園の整備と緑地保全
- かごしま文化工芸村の活用
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

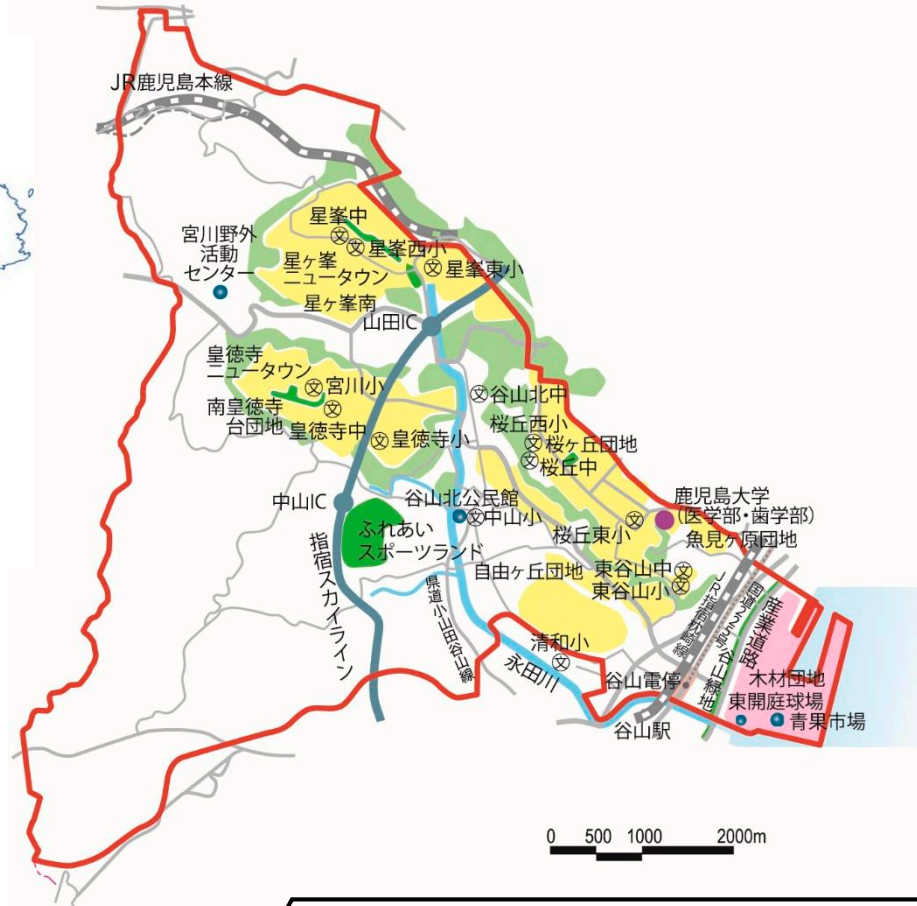


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
武岡コミュニティ協議会	子ども・高齢者の見守り活動の実施、町内会加入促進活動の推進
武岡台校区コミュニティ協議会	立志の集いや福祉を学ぶ集いの開催
武校区まちづくり協議会	歴史探訪ウォーキング大会や小学生向け認知症サポーター育成講座の実施
田上校区まちづくり協議会	自動車学校と連携した高齢者安全スクールの開催、山学校の開催
西陵まちづくり協議会	校区運動会や文化祭の開催、福祉のつどいの開催
広木校区まちづくり協議会	校区文化祭や「地域で育む 青少年育成大会！」の開催
向陽校区まちづくり協議会	しめ縄づくりなどの郷土芸能の継承、災害時対処情報の発信

II 谷山地域 (I) 谷山北部地区



現状と課題

- 本市の南部、谷山地域の北側に位置し、永田川上流域と下流域左岸の平坦地、丘陵地、臨海部の埋立地で構成されています。
- 人口は増加傾向で、年少人口比率、生産年齢人口比率が高くなっています。
- 東開庭球場やふれあいスポーツランドなど、スポーツ活動の拠点が整備されています。
- 山間部や永田川上流域には、豊かな自然環境や良好な田園集落環境が残されており、水稻や野菜・果樹・畜産等の農業が行われています。
- 宅地開発による子育て世代の流入などにより、保育需要の高まりから待機児童が発生しています。
- 谷山電停周辺において、商業・サービス機能の強化を図るとともに、住宅団地と谷山電停周辺、臨海部を連絡する東西方向の道路網の整備や地区内の慢性的な渋滞の緩和が求められています。
- 桜ヶ丘団地や皇徳寺ニュータウンなどにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。



ふれあいスポーツランド



東開庭球場



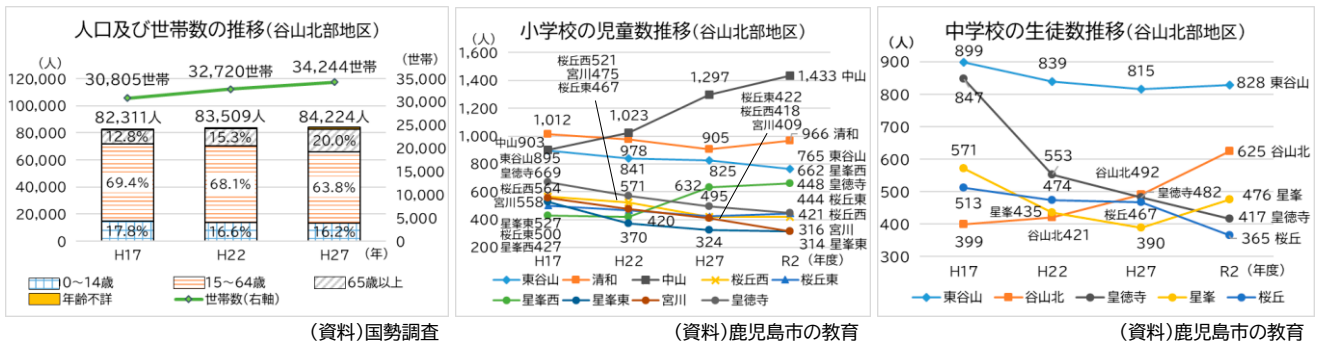
観光農園でのみかん狩り

基本的方向

- 保育の受け皿確保など子育てしやすい環境の形成を図ります。
- 谷山電停周辺において、商業・サービス施設の充実を図るほか、地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 幹線道路の整備促進や生活道路の交差点改良などによる交通環境の改善を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- スポーツ施設等を活用し、健康・スポーツ、各種イベントなどを通じた交流を促進するとともに、地域の特性を生かした農業振興やグリーンツーリズムの推進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

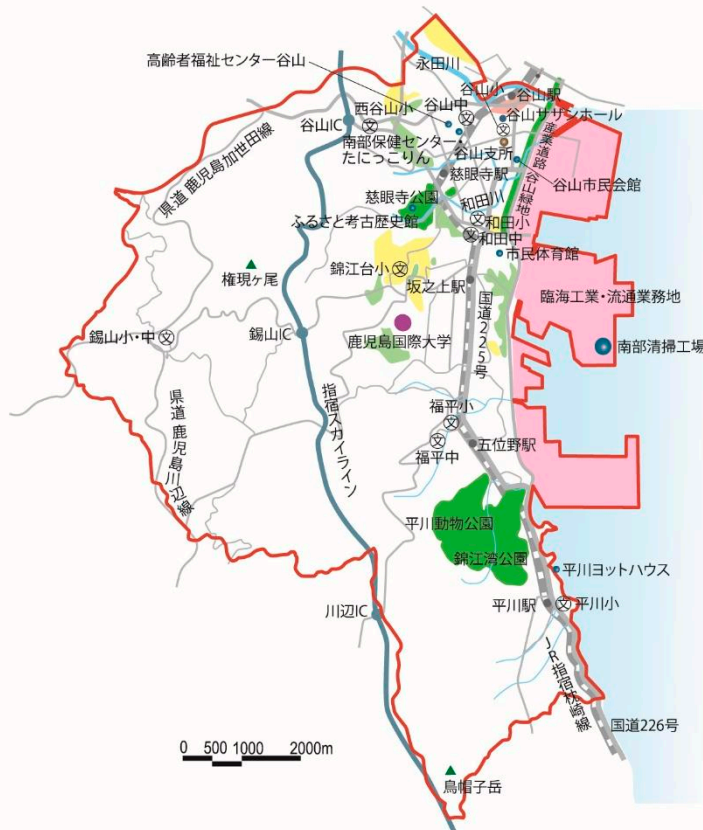
- 保育の受け皿の確保など就学前児童の待機児童対策
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画等に基づくまちづくりの推進
- 鹿児島南北幹線道路、県道小山田谷山線の整備促進
- 交通の円滑化等に向けた地域生活道路の整備
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 東開庭球場やふれあいスポーツランドなどのスポーツ施設等の活用
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- グリーンツーリズムの推進
- 合葬墓の施設整備及び維持管理
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
東谷山校区コミュニティ協議会	親子プログラムフェスタや校区景観を生かしたフォトコンテストの開催
清和校区コミュニティ協議会	星空コンサートや校区成人式の開催
中山校区まちづくり協議会	史跡巡り・保存活動の実施、通学路の交通安全確保
桜丘西コミュニティ協議会	親睦健康づくりを図る運動会・文化祭や伝統文化継承を図る鬼火焚きの開催
桜丘東まちづくり協議会	桜丘養護学校とのボランティア交流の実施、鬼火焚きの開催
星峰西校区コミュニティ協議会	せせらぎ公園生き物救出作戦の実施、郷土史の発行
星峰東校区コミュニティ協議会	地域郷土史誌の発行、高齢化に対応した地域福祉マップの改定
宮川校区コミュニティ協議会	永田川を美しく保つ清掃活動への取組、おやじの会の積極的な活動参加
皇徳寺校区コミュニティ協議会	子どもたちと地域で育てたお米で餅つき大会や福祉研修会の開催

II 谷山地域 (II) 谷山地区



現状と課題

- 本市の南部、谷山地域の南側に位置し、永田川、和田川等下流域の平坦地やそれらを囲む丘陵地、内陸の山間地、臨海部の埋立地及び自然海岸から構成されています。
- 人口は減少傾向ですが、年少人口比率、生産年齢人口比率が高くなっています。
- 平川動物公園や錦江湾公園などのレクリエーション機能を有した施設や鹿児島国際大学などが立地しています。
- 錫山、烏帽子岳などの広大な山林や平川の海岸、農地など豊かな自然環境に恵まれており、野菜や果樹・畜産等の農業や、マダイ、ヒラメなどを中心とした漁船漁業などが行われています。
- 子育て世代の流入などにより、保育需要の高まりから待機児童が発生しています。
- 交通結節点である谷山駅を中心に基盤整備が進んでいますが、県道鹿児島加世田線や産業道路などでは、慢性的な渋滞が発生しています。
- 谷山駅周辺や国道225号沿道において、商業・サービス機能の強化を図る必要があります。
- 宅地化の進行が見られる市街地においては、日常生活を支え、災害時の安全を確保する道路などの整備による生活環境の改善が求められています。



錦江湾公園



平川動物公園



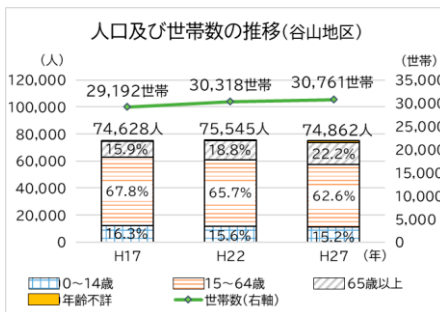
南部親子つどいの広場 (たにっこりん)

基本的方向

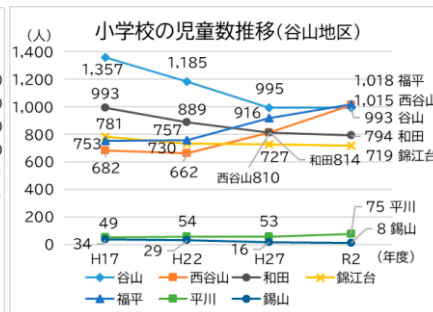
- 保育の受け皿確保など子育てしやすい環境の形成を図ります。
- 谷山駅周辺や国道225号沿道において、商業・サービス施設の充実を図るとともに、地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図ります。
- 広域的な幹線道路の整備を促進するとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 土地区画整理の推進や生活道路の整備など生活環境の改善を図ります。
- 大学が有する豊富な人的・知的・物的資源や機能等を地域づくりに積極的に活用します。
- 平川動物公園や錦江湾公園を活用した交流の促進やグリーンツーリズムの推進を図ります。
- 農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域の特性を生かした農業振興を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

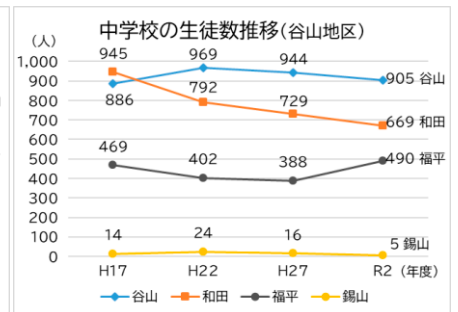
- 保育の受け皿の確保など就学前児童の待機児童対策
- 立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- 鹿児島南北幹線道路の整備促進と街路事業の推進（向川原惣福線）
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 土地区画整理の推進（谷山駅周辺地区、谷山第三地区）
- 鹿児島国際大学との連携
- 平川動物公園や錦江湾公園、市民体育館の活用
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興、グリーンツーリズムの推進
- 森林資源の育成、水源かん養のための森林整備と漁業生産基盤の充実
- ふるさと考古歴史館、南部親子つどいの広場（たにっこりん）の活用
- 慈眼寺公園周辺地区の景観修景の促進、住民主体の景観づくり活動の支援
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
谷山ふるさとコミュニティ協議会	ふるさとと自然文化体験塾の実施、ゆるキャラプロジェクトの推進
西谷山コミュニティ協議会	西谷山音頭保存会の活動継承、西谷山夏祭りの実施
和田コミュニティ協議会	鬼火焚き・青少年育成大会の実施、危険箇所・河川流現場点検
錦江台まちづくり協議会	大学施設を活用した校区行事の実施、福祉施設・町内会と連携した高齢者宅への訪問
福平コミュニティ協議会	火の河原遠行や史跡巡りの開催
平川まちづくり協議会	耕作放棄地の利活用、地域PR掲示板の設置
錫山地域づくり協議会	錫山相撲大会の継承、自然にある材料を活用した門松づくり、鬼火焚きの開催

III 伊敷地域



現状と課題

- 本市の北西部、甲突川の中流域に位置し、幹線道路沿道や甲突川沿岸の限られた平坦地と丘陵部の住宅団地、山間部の農村集落で構成されています。
- 人口は減少傾向で、年齢別人口構成比は、本市の平均的な数値となっています。
- かがしま健康の森公園・パークゴルフ場、都市農業センター、県立短期大学などが立地しています。
- 農村地域では、三重岳や甲突川など豊かな自然環境が残されており、水稻のほか軟弱野菜等の施設園芸を中心とした農業が行われています。
- 伊敷団地や千年団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。
- 国道3号には、広域交通や地域の生活交通が入り込み、渋滞が発生しています。
- 伊敷支所周辺などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。



かがしま健康の森公園



西部親子つどいの広場 (いしきらら)



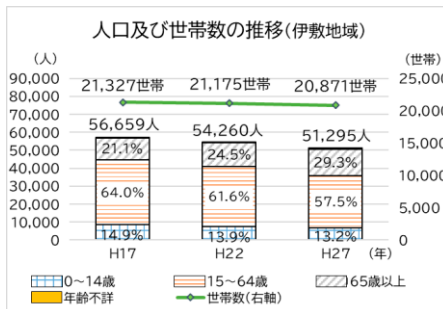
都市農業センター

基本的方向

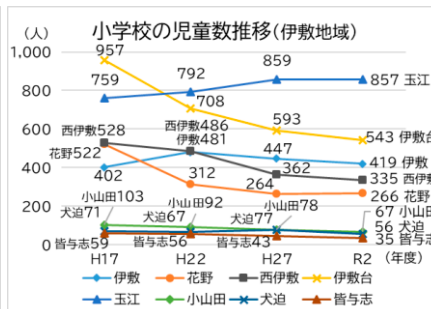
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 幹線道路の整備促進による交通の円滑化を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 大学が有する豊富な人的・知的・物的資源や機能等を地域づくりに積極的に活用します。
- 高齢者福祉センター伊敷や西部親子つどいの広場（いしきらら）などの活用を通して、日常の生活圏としての機能向上を図ります。
- 地域の特性を生かした農業振興、グリーンツーリズムの推進、自然環境の保全・活用、かごしま健康の森公園・パークゴルフ場や都市農業センターなどの活用による交流の促進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

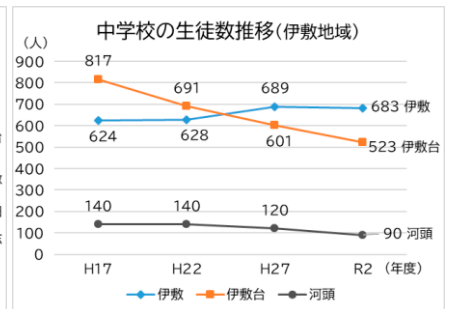
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画等に基づくまちづくりの推進
- 国道328号、県道坂元伊敷線、県道徳重横井鹿児島線の整備促進
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 鹿児島県立短期大学との連携
- 高齢者福祉センター伊敷、西部親子つどいの広場（いしきらら）の活用
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- グリーンツーリズムの推進
- かごしま健康の森公園・パークゴルフ場、都市農業センター、三重岳自然遊歩道などの活用
- 河頭浄水場の更新
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
伊敷校区コミュニティ協議会	世代間交流イベント（夏祭りなど）や史跡めぐりスタンプラリー大会の開催
花野校区コミュニティ協議会	ウォーキングマップの作成と看板設置、ホテル観賞のための花野川流域環境整備
西伊敷まちづくり協議会	防災・防犯講習会の開催と安心安全福祉マップの作成、校区文化祭の開催
伊敷台校区夢の里まちづくり協議会	防災訓練や都市農業センターでの体験農業の実施
玉江校区コミュニティ協議会	親子体操普及活動の実施、地域ふれあいデー（餅つき大会）の開催
小山田校区まちづくり推進協議会	甲突川氾濫対策に関する活動、夏祭り孝子碑六月燈や文化祭の開催
犬迫地域コミュニティ協議会	農業振興地域における持続可能な産業・景観づくり、地域魅力アップ活動
皆与志校区コミュニティ協議会	空き家や耕作放棄地の再活用運動、伝統芸能棒踊りの復活・継承への保存支援

IV 吉野地域



現状と課題

- 本市の北部、稻荷川の上流域に位置し、吉野や岡之原の台地、河川沿岸の平坦地から構成されています。
- 人口は増加傾向で、年少人口比率が高くなっています。
- 吉野公園などのレクリエーション施設や世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の「寺山炭窯跡」、「関吉の疎水溝」に加え、寺山をはじめとした豊かな自然環境を有しています。
- 農村地域では、軟弱野菜、花き等の施設園芸や白ネギなどの農業のほか、造園業も行われています。
- 土地区画整理が進んでいる区域を中心に良好な生活環境が形成されつつありますが、道路などの生活基盤が未整備の市街地も存在します。
- 主要幹線である県道鹿兒島吉田線沿道などでは、通過交通と生活交通の集中による混雑がみられます。
- 吉野支所周辺などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 大明ヶ丘団地や緑ヶ丘団地などにおいて、同世代が一斉に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。



関吉の疎水溝



土地区画整理が進む県道鹿兒島吉田線



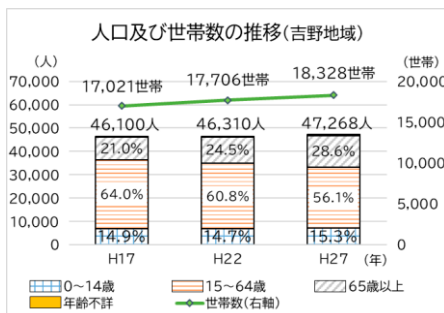
吉野公園

基本的方向

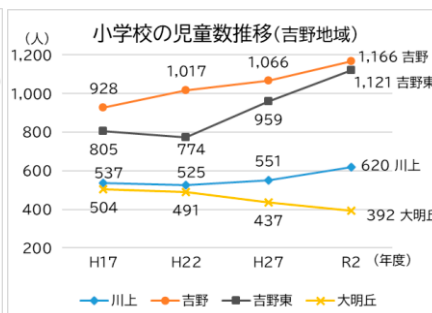
- 地域の生活拠点への生活利便施設の立地誘導や土地区画整理などの推進により、良好な生活環境の形成を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 幹線道路の整備促進による交通の円滑化を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 地域の特性を生かした農業振興、グリーンツーリズムの推進、自然環境の保全・活用、世界文化遺産、吉野公園、寺山ふれあい公園などの活用による交流の促進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

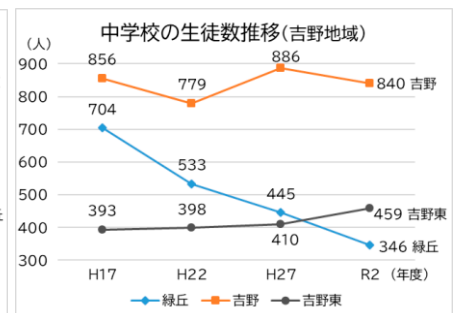
- 土地区画整理の推進（吉野地区、吉野第二地区）
- かごしま団地みらい創造プランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 県道鹿児島吉田線、県道鹿児島蒲生線の整備促進
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 世界文化遺産の保全と活用
- 吉野公園、寺山ふれあい公園、少年自然の家、寺山自然遊歩道などの活用
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- グリーンツーリズムの推進
- 北部親子つどいの広場（なかよしの）の活用
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

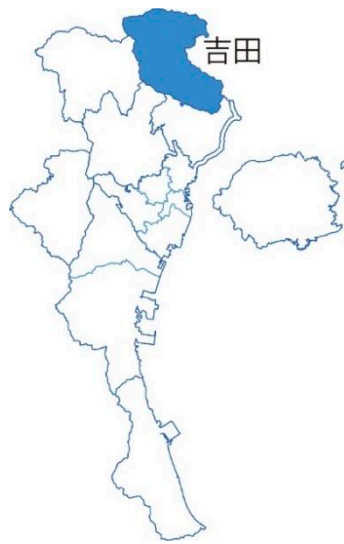


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
川上校区まちづくり協議会	伝統芸能継承活動支援、町内会加入促進活動の推進
大明丘地域コミュニティ協議会	史跡案内板作製、県道鹿児島吉田線歩道の環境美化ボランティア活動への取組
吉野校区コミュニティ協議会	見守りネットワーク活動の充実、校区歴史検定の実施
吉野東まちづくり協議会	社会学級の充実、法人会員の参加促進

V 吉田地域



現状と課題

- 本市の北部に位置し、河川沿岸や幹線道路沿道の平坦地と丘陵部の住宅団地、森林と山間部の農村集落で構成されている、緑豊かな自然環境に恵まれた田園地域です。
- 人口は減少傾向で、老年人口比率が高くなっています。
- 県の教育・研修施設や、吉田文化体育センター、吉田多目的屋内運動場などの文化・スポーツ施設等が整備されています。
- 地域を南北に縦断する九州縦貫自動車道や県道鹿児島蒲生線など、都心部と鹿児島空港や県北部等とを結ぶ重要な幹線道路を有しています。
- 農村地域では、軟弱野菜などの施設園芸、ニガウリ、ナバナなどの特産農産物の生産や畜産が行われています。
- 県道鹿児島吉田線沿線などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 牟礼岡団地などにおいて、同世代が一齊に入居したことやその子世代が転出したことにより、高齢化が進むなど、活力の低下が懸念されています。
- 山々や溪流など、豊かな自然環境の保全を図り、美しい農村景観や自然等を活用することが求められています。



秋の田園風景



牟礼岡自然遊歩道の牧神と風車



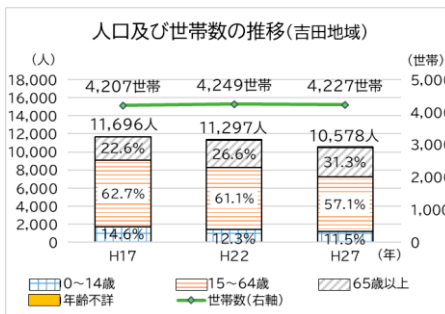
吉田文化体育センター

基本的方向

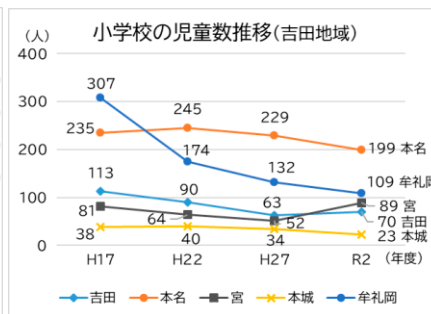
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、住宅団地の活性化に向けた取組を促進します。
- 幹線道路の整備促進による交通の円滑化や生活道路の整備などを進める中で、自然環境と調和した安らぎのある生活環境の形成を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域の特性を生かした農林業の振興を図ります。
- 文化・スポーツ施設や美しい農村景観、森林などの緑豊かな自然、農業などを生かしたグリーンツーリズムの推進等により、交流の促進や地域活力の維持・増進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

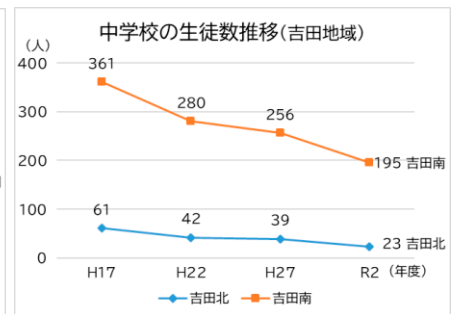
- かがしま団地みらい創造プランや立地適正化計画等に基づくまちづくりの推進
- 県道鹿児島蒲生線等の整備促進
- 交通の円滑化等に向けた地域生活道路の整備
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- 森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- 輝楽里よしだ館、牟礼岡自然遊歩道、吉田文化体育センターなどの活用
- グリーンツーリズムの推進
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
吉田校区コミュニティ協議会	小・中学校と連携した校区内防災マップの作成、校区戦没者慰霊祭の開催
本城校区コミュニティ協議会	花尾神社棒踊り等への支援、伝統行事を活用したまちづくりの推進
本名校区コミュニティ協議会	青色防犯パトロール隊活動や高齢者・子どもたちの見守り活動の実施
宮校区コミュニティ協議会	薩摩吉田IC前のさくら通りなど清掃活動への取組、宮校区まち歩き開催
牟礼岡校区コミュニティ協議会	夏祭りや運動会の開催

VI 桜島地域



現状と課題

- 錦江湾に浮かぶ火山活動が活発な桜島にあり、地域内のほとんどが溶岩原、森林及び原野で、住宅地は海岸線に沿って帯状に続いています。
- 人口は減少傾向で、老年人口比率が全市で最も高くなっています。
- ほぼ全域が霧島錦江湾国立公園と県の名勝に指定されており、自然海岸や溶岩原などの桜島独自の貴重な自然環境や景観資源を有しています。
- 豊かな自然環境の中で、ビワ、桜島小みかん、桜島大根など特産農産物の生産、子牛生産や肥育経営のほか、カンパチ、ブリの養殖などが行われています。
- 桜島・錦江湾ジオパークの主要なエリアであり、桜島港周辺に集約されている観光・レクリエーションの拠点となる施設やジオサイトを生かした体験型観光の推進が必要です。
- 生活航路である桜島フェリーと桜島港周辺における陸上交通との連携を図り、幹線道路の整備などを進めるとともに、地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 桜島の活発な火山活動が継続する中、日常的な降灰対策をはじめ、避難施設等の維持、避難計画の見直しや防災訓練などに取り組んでおり、今後想定される大規模噴火時においても犠牲者ゼロを目指してハード・ソフトの両面から防災対策のさらなる充実が必要です。



錦江湾に浮かぶ桜島



桜島小みかん



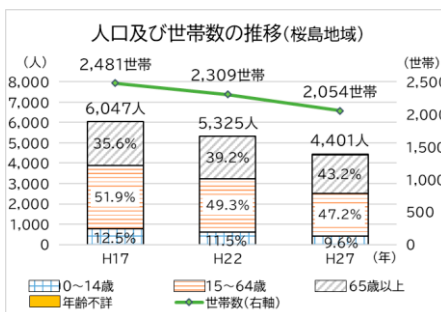
桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）

基本的方向

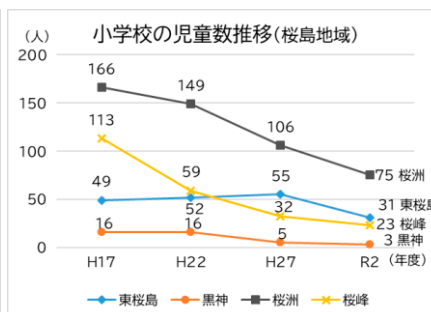
- 桜島が有するジオの特性を生かした自然と人が共生する体感的な観光・レクリエーションの促進や受入体制の充実を図ります。
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るほか、陸上交通機関との連携や幹線道路の整備促進、災害時の避難道路の整備など交通環境の改善を図ります。
- 桜島の大規模噴火等に備えるため、市民及び関係機関との連携により、避難計画の実効性向上、避難施設等の適切な維持管理など、安全かつ確実な避難体制を構築するとともに、治山事業や砂防事業等を促進するなど、防災対策を推進します。
- 農地や森林の保全・活用に努めながら、地域の特性を生かした農業振興や防災営農対策の推進、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、地域活力の維持・増進、グリーンツーリズムの推進及び漁業の振興を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

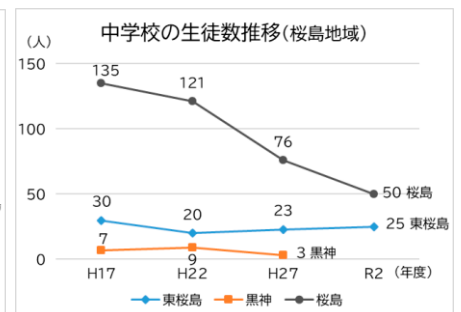
- 桜島・錦江湾ジオパークにおける活動の推進や新島などのジオサイトの活用
- 湯之平展望所、有村溶岩展望所、「桜島」溶岩なぎさ公園足湯などを活用した観光振興
- よりみちクルーズ船の運航及びサクラジマアイランドビューの運行・活用
- 土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- 国道224号、県道桜島港黒神線の整備促進
- 大規模噴火等に備えた桜島火山爆発総合防災訓練の実施及び避難施設等の維持管理
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興、降灰等に対する防災営農対策事業の実施
- グリーンツーリズムの推進
- 桜島総合体育館や桜島溶岩グラウンドなどの活用
- 改新交流センターの活用
- さくらじま地域おこし協力隊の活動支援
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
改新地域コミュニティ協議会	林美美子忌の集いや初日を拝む集いの開催
東桜島校区コミュニティ協議会	東桜島望岳遠泳大会や懐かしの映画サロンの開催
桜峰校区コミュニティ協議会	空き家活用事業やライドシェア事業の実施
桜洲校区コミュニティ協議会	防災計画の策定、防災研修会や文化祭、スポーツ大会の開催
黒神高免地域コミュニティ協議会	地域合同運動会の緑門づくり、グラウンドゴルフ大会や餅つきの開催

VII 喜入地域



現状と課題

- 本市の南部に位置し、約8割を占める山地と錦江湾に沿った平坦地で構成され、錦江湾に平行して国道226号や鉄道が通っています。
- 人口は減少傾向で、老年人口比率が高くなっており、北中部に比べて南部の過疎化・高齢化が進んでいます。
- オクラやカボチャ、スイートコーンなどの特産農産物の生産、マダイ、ヒラメなどを中心とした漁船漁業などが行われています。
- 地域固有の植生や美しい景観を有する自然海岸、一団の山林など豊かな自然環境が残されています。
- 都心部へのアクセス道路が国道226号などに限られていることから、慢性的な渋滞が発生しています。
- 国道沿いにはマリニピア喜入やプロサッカーチームのトレーニング施設、生見海水浴場など、山手には日本遺産「薩摩の武士が生きた町」喜入旧麓地区や観光農業公園（グリーンファーム）を有しており、これらを活用した地域の活性化を図る必要があります。
- 喜入支所周辺などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。



観光農業公園（グリーンファーム）



喜入旧麓地区



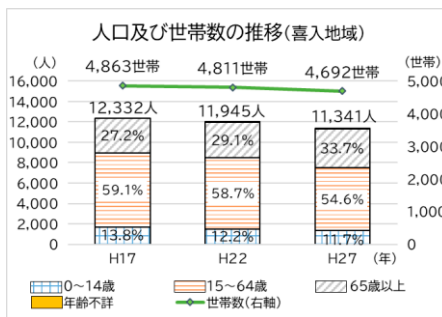
鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設
(イメージ図)

基本的方向

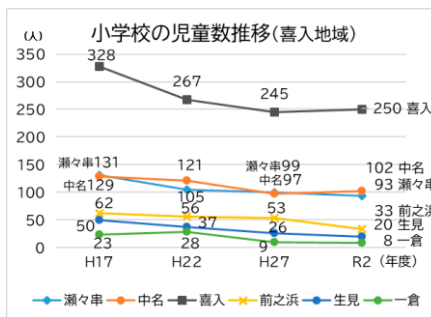
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るほか、都心部と喜入地域を結ぶ幹線道路の整備促進や公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- マリンピア喜入やプロサッカーチームのトレーニング施設、日本遺産の喜入旧麓地区、観光農業公園（グリーンファーム）などの地域資源を活用して、観光・レクリエーション機能の向上やグリーンツーリズムの推進を図ります。
- 農地や森林の保全・活用に努めながら、地域の特性を生かした農業振興や農村集落の生活環境の改善を図るとともに、地域活力の維持・増進及び漁業の振興を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

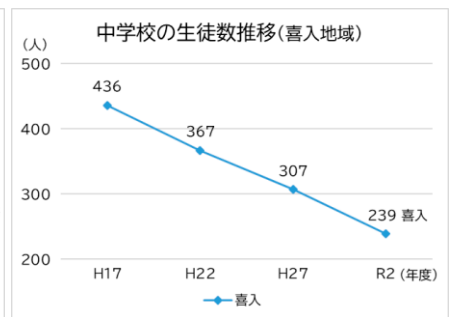
- 立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 国道226号の整備促進
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 観光農業公園（グリーンファーム）を活用したグリーンツーリズムの推進
- 喜入旧麓地区の景観修景の促進、住民主体の景観づくり活動の支援
- 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の観光資源としての活用
- 鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設の活用
- マリンピア喜入、喜入総合体育館・運動場などの活用
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- 森林資源の育成、漁業生産基盤の充実
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

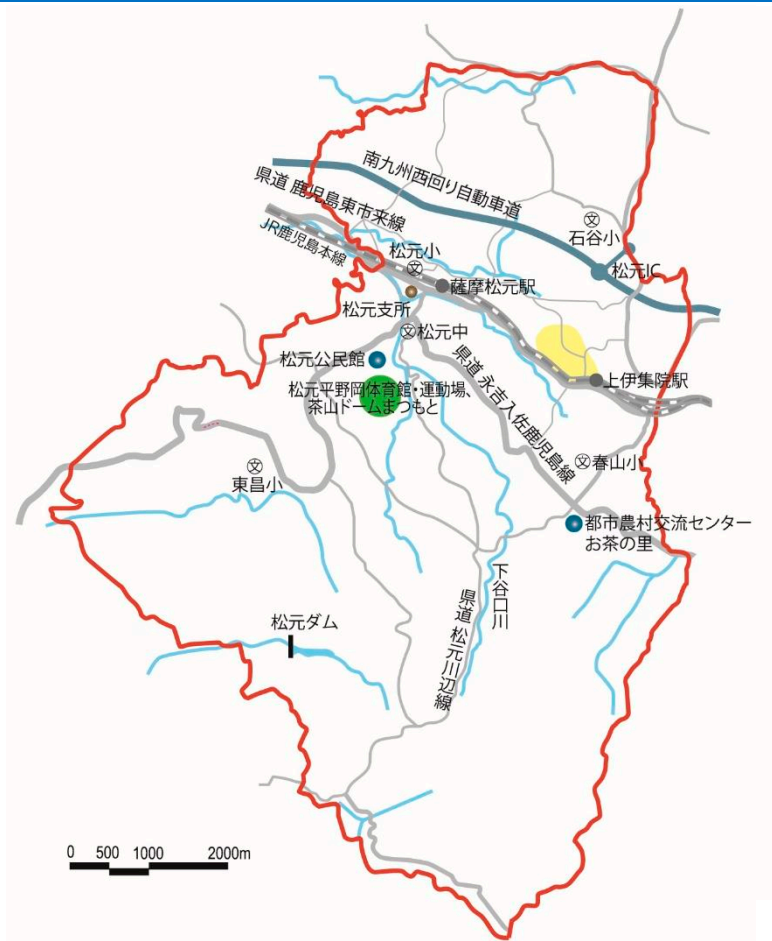


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
瀬々串校区コミュニティ協議会	花いっぱい運動の取組、伝統文化の継承（鬼火焚き、瀬々串棒踊り）
中名地域コミュニティ協議会	耕作放棄地を活用した観光お花畑の取組、地域づくりの核となる人材育成
喜入校区コミュニティ協議会	校区の景観を生かしたフォトコンテストやコミュニティまつりの開催
一倉地域まちづくり協議会	校区公民館まつりの開催、観光農業公園（グリーンファーム）との連携（まち歩き）
前之浜地域まちづくり協議会	コスモス祭の開催、防災訓練の実施
生見まちづくり協議会	登ろう千貫平や校区盆踊りの開催

VIII 松元地域



現状と課題

- 本市の西部に位置し、多くの丘陵と渓谷からなり、河川沿岸や幹線道路沿道の限られた平坦地と主に山林等で構成されています。
- 人口は増加傾向で、年少人口比率が全市で最も高くなっています。
- 都市農村交流センターお茶の里や松元平野岡体育館など、グリーンツーリズム施設やスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。
- 松元支所周辺などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 南九州西回り自動車道や県道、鉄道などの交通基盤を有していますが、一部に未整備の県道があります。
- 豊かな自然環境の中、松元ダムの水を利用した茶などの特産農産物の生産が行われており、自然環境の保全を図るとともに、地域特性を生かした農業の振興やグリーンツーリズムの推進が求められています。



都市農村交流センターお茶の里



松元平野岡体育館



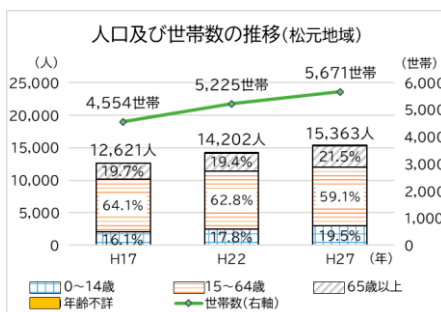
茶畑

基本的方向

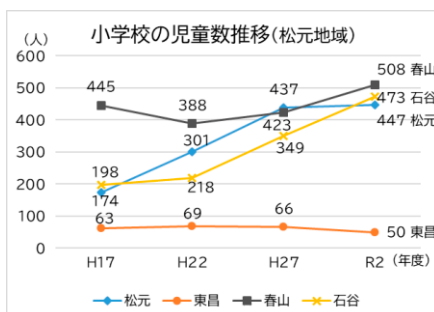
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るほか、幹線道路の整備促進による交通の円滑化や公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 農地や森林の保全・活用に努めながら、地域の特性を生かした農業振興や農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進を図ります。
- 都市農村交流センターお茶の里などの地域資源を活用したグリーンツーリズムの推進やスポーツ・レクリエーション施設を活用した交流の促進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

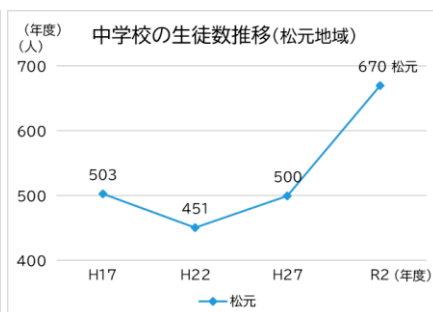
- 県道永吉入佐鹿児島線、県道松元川辺線の整備促進
- 立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興
- 森林資源の育成
- 都市農村交流センターお茶の里を活用したグリーンツーリズムの推進
- 松元平野岡体育館などの活用
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育

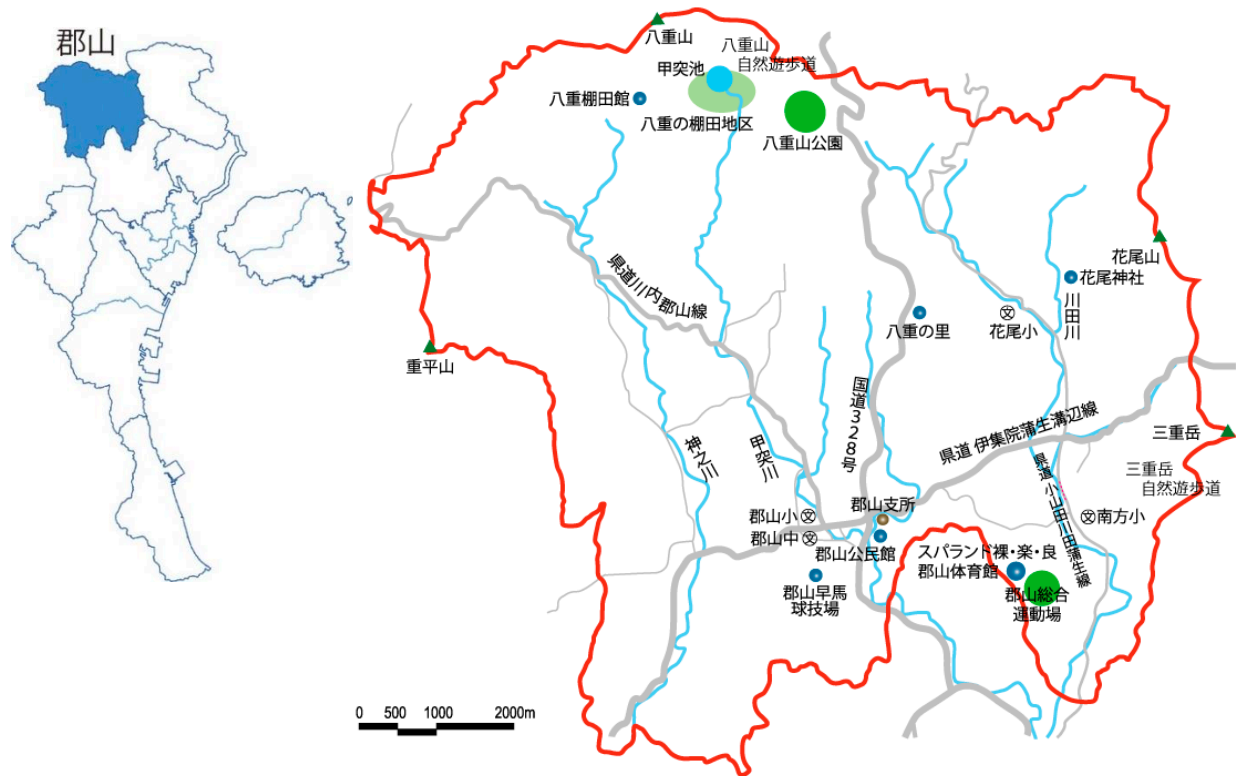


(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
春山校区まちづくり協議会	リレーマラソン大会や健康教室の開催
東昌校区まちづくり協議会	防犯及び見守りパトロールの実施、防災マップ作成と防災組織強化
松元校区まちづくり協議会	危険箇所に関する関係団体等との情報交換会の実施、花いっぱい運動の取組
石谷校区まちづくり協議会	ふれあいフェスタ in 石谷や石谷未来会議の開催

IX 郡山地域

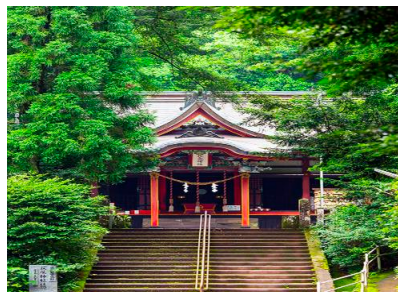


現状と課題

- 本市の北西部、甲突川の上流域に位置し、東に花尾山・三重岳、北に八重山があり、河川沿岸や幹線道路沿道の限られた平坦地と主に山地で構成されています。
- 人口は減少傾向で、老年人口比率が高くなっています。
- 豊富な温泉に加え、花尾神社や八重の棚田などの史跡・名所、スパランド裸・楽・良、郡山体育館などのスポーツ・レクリエーション施設を有しています。
- 森林や農地などの豊かな自然環境の中で、ニガウリや早掘りタケノコなどの特産農産物等の生産、子牛生産を主体とした肉用牛経営や酪農が行われています。
- 郡山支所周辺などの地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 県道川内郡山線に一部未整備区間があることから、幹線道路の整備が求められています。
- 川内原発から概ね30km圏内の原子力災害対策重点区域について、原子力災害に備えた対策を継続して取り組む必要があります。
- 甲突川流域においては、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策が必要となっています。



甲突池



花尾神社



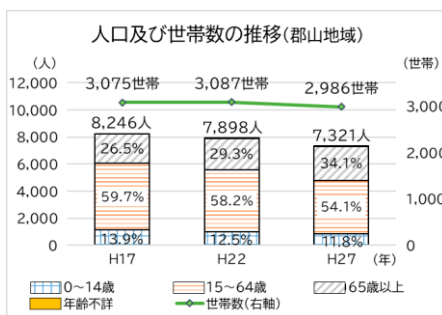
八重の棚田

基本的方向

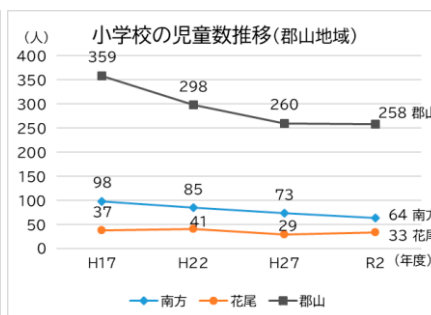
- 地域の生活拠点への生活利便施設の立地誘導や土地区画整理などの推進により、良好な生活環境の形成を図ります。
- 幹線道路の整備促進を図るとともに、公共交通不便地における日常生活の交通手段の確保を図ります。
- 地域防災計画（原子力災害対策編）に基づき、訓練や研修などの原子力災害対策を推進します。
- 甲突川流域の河川改修の促進などによる治水対策を進めます。
- 農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域の特性を生かした農業振興を図ります。
- スパランド裸・楽・良と郡山体育館などのスポーツ・レクリエーション施設のさらなる活用や、八重の棚田をはじめとする地域資源を生かしたグリーンツーリズムの推進により、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。

主な施策・事業

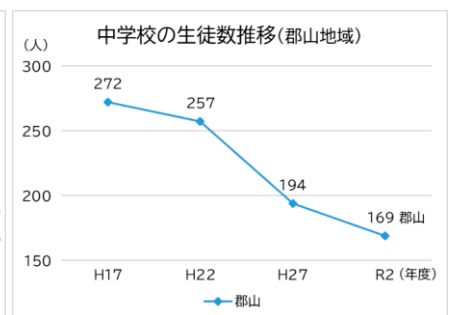
- 土地区画整理の推進（郡山中央地区）
- 県道川内郡山線の整備促進
- 立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- 公共交通不便地における交通手段の確保
- 原子力災害対策の推進（原子力災害対策重点区域 ※川内原発から概ね30km圏内）
- 甲突川の河川改修の促進
- 特産農産物等の生産振興及び都市型農業の振興
- 森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- スパランド裸・楽・良、郡山体育館などの活用
- 八重の棚田地区の景観修景の促進、住民主体の景観づくり活動の支援
- 八重山公園、八重山自然遊歩道などの活用
- グリーンツーリズムの推進
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援



(資料)国勢調査



(資料)鹿児島市の教育



(資料)鹿児島市の教育

地域コミュニティ協議会の主な取組

協議会名	主な取組
郡山校区コミュニティ協議会	防災訓練の実施、健康福祉まつりの開催
花尾地域コミュニティ協議会	地産地消料理教室の開催、青少年交流体験の実施
南方まちづくり協議会	わが町自慢写真コンクールや案山子コンクールの開催

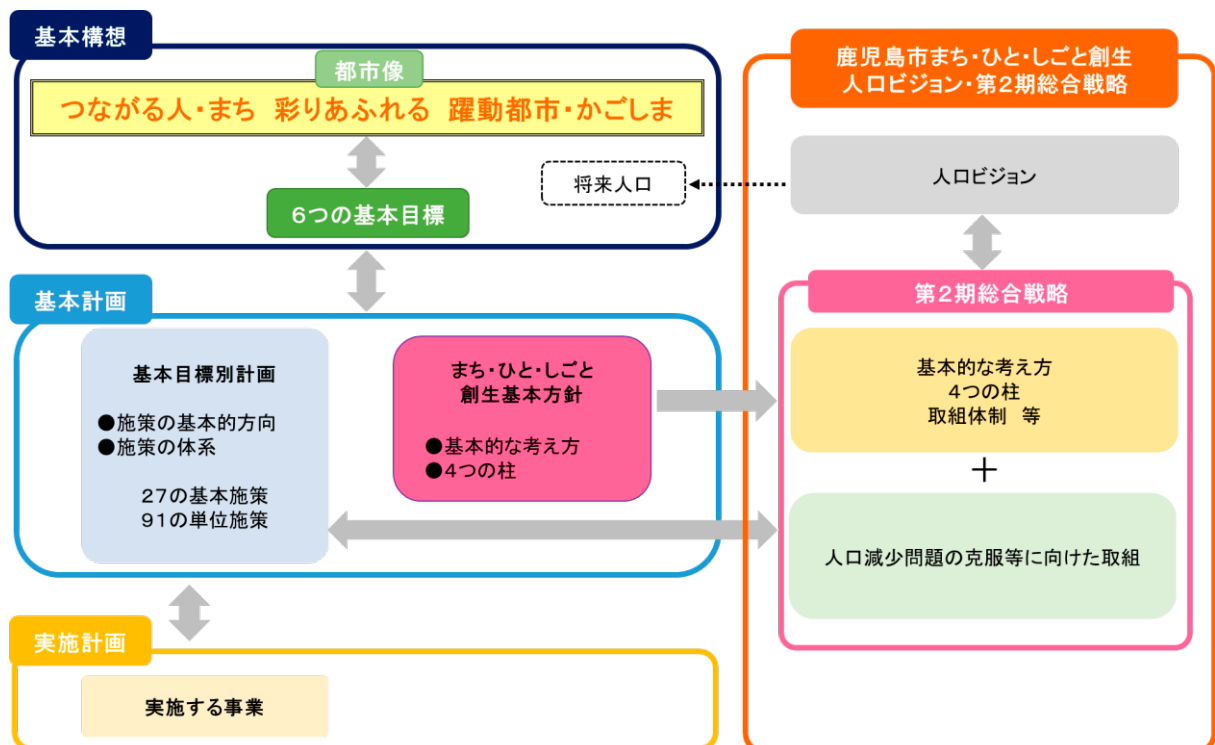
5 まち・ひと・しごと創生基本方針

5 まち・ひと・しごと創生基本方針

◇総合計画は、人口減少・少子高齢化の進行など時代の潮流を踏まえながら、人口ビジョンに掲げる将来人口等を見据えて、本市の将来像と進むべき方向を定めた市政の最上位計画であることから、基本計画の中に「まち・ひと・しごと創生基本方針」（以下「基本方針」という。）を位置づけ、地方創生の推進を図ります。

◇基本方針は、人口減少問題の克服等に向けた計画である第2期「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」という。）を推進する上での「基本的な考え方」や「4つの柱」をまとめたものです。

◇第2期総合戦略は、基本計画中「基本目標別計画」及び「実施計画」に掲げる施策・事業のうち地方創生に向けた取組をまとめた計画であり、基本目標を横断的に展開することを通して、基本目標の達成、ひいては都市像の実現を一層推進していく役割を担うものです。



(1) 基本的な考え方

- ◆少子高齢化により人口減少が急速に進行している中、東京圏への一極集中の傾向が継続し、若年層を中心として地方から東京圏に人口が流出していることなどにより、地方における人口、特に生産年齢人口が減少しています。このため、地方においては、地域社会の担い手が減少しているだけでなく、消費市場が縮小し地方の経済が縮小するなど、さまざまな社会的・経済的な課題が生じています。
- ◆また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域経済・社会に甚大な影響を与える一方、地方への移住の関心の高まりや新たな働き方など、国民の意識・行動変容をもたらしています。
- ◆このような中、国においては、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「国の第2期総合戦略」という。）を推進し、地方と一体となって地方創生に向けた取組を進めています。
- ◆これらの動きを受け、本市では、将来にわたって地域の活力を維持し、地方創生に積極的に対応していくための指針として第2期総合戦略を取りまとめ、人口減少に歯止めをかけるための取組や一定の人口減少を前提として、その影響を軽減するための取組をさらに推進します。

(2) 4つの柱 ～ 基本目標

第2期総合戦略の実効ある推進に当たり、「人口ビジョン」で示した基本的視点と、「国の第2期総合戦略」における基本目標を踏まえ、4つの柱を掲げ、それぞれ成果を重視した数値目標を設定します。

<p>〔参考 本市の「人口ビジョン」の基本的視点〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 若い世代を中心とする人口流出の抑制 ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現 ③ 本市の魅力を生かした交流人口の拡大 ④ 生涯にわたって生き生きと暮らせるまちづくりの推進 	<p>〔参考 「国の第2期総合戦略」の4つの基本目標〕</p> <p>【基本目標1】 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする</p> <p>【基本目標2】 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる</p> <p>【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>【基本目標4】 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p>	<p>〔横断的な目標1〕 多様な人材の活躍を推進する ○多様なひとの活躍による地方創生の推進 ○誰もが活躍する地域社会の推進</p> <p>〔横断的な目標2〕 新しい時代の流れを力にする ○地域向けRegional Partnersの推進 ○地方創生COGの実現による持続可能なまちづくり</p>
--	--	--

目標1 稼げるしごとで活力を「つくる」

本市からの人口流出を抑制していく上では、若い世代を中心に東京都や福岡県などへ向かう流れに歯止めをかけ、地元定着を推進することが重要であり、そのためには、地域の稼ぐ力を強化するとともに、市域内に魅力的で安定した雇用の場を確保していかなければなりません。

地域産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地の推進などに取り組むことにより、地域の稼ぐ力の強化が図られ、新たな雇用の場が創出されるとともに、若い世代や女性、高齢者などの活躍をあわせて推進することにより、地域における就労機会の拡大にもつながります。

そのような安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指し、稼げるしごとで活力を「つくる」取組を展開します。

数値目標	基準値	目標値 (R8)
事業所数	27,279事業所 (H28)	27,300事業所
従業者数	274,569人 (H28)	260,200人

目標2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

少子化の流れに歯止めをかけていく上では、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を実現することで、出生率の向上につなげていくことが重要であり、そのためには、安心して結婚し、子どもを生み育てることができる環境を整備していかなければなりません。

若い世代の経済的安定や切れ目のない子育て支援などの施策を充実するとともに、社会全体で少子化対策に取り組むことにより、これまで以上に、結婚・出産・子育てをしやすい環境が整い、次代を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会が形成されます。

そのような市民それぞれが希望どおりに家庭を築くことができるまちの創造を目指し、個人の選択を尊重しつつ、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」ことができるよう各面から支援する取組を展開します。

数値目標	基準値	目標値 (R8)
出生数	4,798人 (R元) ※参考値 (令和3年12月までに設定予定)	基準値確定後、設定予定
「安心して子どもを生み育てられる環境が整っている」と感じる市民の割合	38.2% (R3)	46.6%

目標3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」

地域経済の縮小を克服していく上では、人口減少に歯止めをかけることはもとより、交流人口を拡大し、域外の消費需要を呼び込むことも重要であり、そのためには、本市の多彩な資源を活用した稼ぐ観光の実現に努めていかなければなりません。

本市の自然・歴史・食・景観など、個性豊かな資源に光をあて、さらに価値を高めていくとともに、ひとが集うまちなか環境の充実により、新たな交流とにぎわいが生み出されると同時に、住むひとのわがまちへの愛着と誇りが醸成されます。

そのような“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”を兼ね備えたまちの創造を目指し、ひとが集うまちの魅力を「みがく」取組を展開します。

数値目標	基準値	目標値 (R8)
宿泊観光客数	2,076千人 (R2)	4,000千人

目標4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

地方創生を目指す上では、一定の人口減少に適応した地域づくりも重要であり、そのためには、人口減少を前提とした持続可能なまちづくりも進めなければなりません。

生活する「ひと」にも配慮しながら、長期的視点に立って、「まち」のあり方を見直すことにより持続性が高まるほか、「ひと」と「ひと」がつながり、ともに築く共創のまちづくりを進めることにより、心の通じ合う地域社会が形成されるとともに、「まち(都市)」と「まち(都市)」がつながり、多彩な交流を進めることで、お互いの個性や魅力を生かした新たな成長が生まれます。

そして、これらを通じて「ひと」が住みたい、住み続けたいと思える「まち」が生まれ、移住と定住が促進されます。

そのような持続性と発展性を備えたまちを将来世代に引き継いでいくため、ひと・まちを多彩に「つなぐ」取組を展開します。

数値目標	基準値	目標値 (R8)
本市の移住関連施策を通じた移住者数	121人/年 (R2)	5年間で600人

6 持続可能な開発目標（SDGs）

6 持続可能な開発目標（SDGs）

◇国連の持続可能な開発目標（SDGs）について、本市施策等との関連を整理します。

(1) SDGsとは

- ◆SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016（平成28）年から2030（令和12）年までの国際目標です。
- ◆持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴールと169のターゲットが掲げられています。



アイコン	説明	アイコン	説明
	<p>●貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>		<p>●飢餓をゼロに</p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>
	<p>●すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>		<p>●質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
	<p>●ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>		<p>●安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
	<p>●エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>		<p>●働きがいも経済成長も</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p>

アイコン	説明	アイコン	説明
	<p>●産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>		<p>●人や国の不平等をなくそう</p> <p>各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
	<p>●住み続けられるまちづくりを</p> <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>		<p>●つくる責任つかう責任</p> <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p>
	<p>●気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>		<p>●海の豊かさを守ろう</p> <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
	<p>●陸の豊かさを守ろう</p> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>		<p>●平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
	<p>●パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>		

(2) SDGs に対する本市の考え方

- ◆SDGsの推進は、人々が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化を目指すもので、地方自治体にとっても、多様な主体と連携を図りながら取り組むことが重要です。
- ◆また、国のSDGs実施指針においても、地方自治体による積極的な取組が求められており、本市は、令和2年7月に国の「SDGs未来都市」に選定されています。
- ◆SDGsの理念や目標は、本市がこれまで取り組んできたまちづくりと方向性を同じくするものであり、将来にわたり持続可能なまちづくり、そして次の世代へと引き継いでいくためにも、引き続き、市民や事業者など多様な主体と連携を図りながら、取組を進めていく必要があります。
- ◆このようなことから、各基本施策と重点プロジェクトを通じて目指す主なゴールを明確にし、多様な主体とその意義を共有しながら、各施策等に着実に取り組むことにより、世界共通の目標であるSDGsの推進に寄与・貢献していきます。

(3) SDGsのゴールと各施策等との関連一覧

① 基本目標別計画

基本目標 【政策名】	基本施策	1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
信頼とやさしさのある 共創のまち 【信頼・共創 政策】	地域社会を支える協働・連携の推進					
	自主的・自立的な行財政運営の推進					●
	多角的な連携・交流の推進				●	
	シティプロモーションの推進				●	
	誰もが個性と能力を發揮できる地域社会の形成	●	●	●	●	●
自然と都市が調和した うるおいのあるまち 【自然・環境 政策】	ゼロカーボンシティかごしまの推進		●	●	●	
	循環型社会の構築			●		
	人と自然が共生する都市環境の構築				●	
	生活環境の向上			●		
魅力にあふれ人が集う 活力あるまち 【産業・交流 政策】	地域特性を生かした観光・交流の推進					
	スポーツ交流・振興の推進					
	地域産業の活性化	●			●	●
	中心市街地の活性化					
	農林水産業の振興		●			
自分らしく 健やかに暮らせる 安心安全なまち 【健康・安心 政策】	高齢化対策の推進		●	●		
	地域共生社会の実現	●		●	●	
	健康・医療の充実		●	●	●	
	生活の安全性の向上	●		●	●	●
	命を守る危機管理・防災力の向上	●				
豊かな個性を育み 未来を拓く 誇りあるまち 【子ども・文教 政策】	少子化対策・子育て支援の推進	●	●	●	●	●
	子どもの健やかな成長への支援	●	●	●	●	●
	学校教育の充実			●	●	●
	生涯学習の充実			●	●	●
	市民文化の創造				●	
質の高い暮らしを支える 快適なまち 【都市・交通 政策】	機能性の高い都市空間の形成					
	暮らしやすい生活基盤の構築			●		
	市民活動を支える交通環境の充実					

② 重点プロジェクト

プロジェクト	1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
“地域の稼ぐ力”向上プロジェクト		●		●	
“ICTで住みよいまち”推進プロジェクト			●	●	
“子どもの未来輝き”推進プロジェクト	●	●	●	●	●

6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
					●					●	●
		●			●					●	●
			●								●
					●						●
		●		●	●					●	●
	●	●	●		●	●	●		●		●
●	●				●	●	●	●	●		●
●					●	●	●	●			●
		●	●		●						●
		●	●		●						●
		●	●		●						●
●		●	●		●		●	●	●		●
				●	●					●	●
		●		●	●					●	●
		●	●		●	●					●
		●	●		●		●				●
●			●		●		●				●
				●	●					●	●
				●	●					●	●
				●	●					●	●
				●	●					●	●
			●		●					●	●
●	●		●	●	●		●	●			●
			●	●	●						●

6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
		●	●								●
		●	●		●						●
		●		●	●					●	●

7 個別計画との関係

7 個別計画との関係

◇総合計画と個別計画との関係を以下のように整理します。

(1) 基本的な考え方

《総合計画の位置づけ、個別計画との関係》

- ◆総合計画は、まちづくりのあらゆる分野を網羅し、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向について基本的な指針を定めた、行財政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画です。
- ◆個別計画※は、最上位計画である総合計画に即して策定される、まちづくりの特定の分野に関する個別具体の計画であり、対象となる分野の将来像や目標を掲げ、その実現に向けた具体的な取組等を明らかにするものです。

※概ね、総合計画の基本施策又は単位施策が対象とする分野に関し、中・長期的な視点に立って策定され、公表されている計画

《個別計画の策定や見直し等》

- ◆各個別計画については、第六次総合計画を踏まえ策定するとともに、計画内容の検証及び見直し等を行い、総合計画との整合を図る必要があります。

(2) 主な個別計画一覧

政策	個別計画	策定年月	計画期間	所管課	備考(関連法令等)
1 信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創 政策】					
	市民活動団体との協働推進について	平成16年3月 ※平成31年3月改定	—	市民協働課	※令和6年3月改定予定
	鹿児島市コミュニティビジョン	平成23年3月	—	地域振興課	
	鹿児島市行政改革大綱	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	行政管理課	
	鹿児島市公共施設等総合管理計画	平成28年3月	平成28年度～令和7年度	管財課	
	第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	地方創生推進室	まち・ひと・しごと創生法
	人材育成基本方針	平成19年3月 ※平成26年9月改定	—	人事課	
	次期鹿児島市地域情報化計画(仮称)	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	ICT推進室	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法 官民データ活用推進基本法 情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律
	かごしま連携中枢都市圏ビジョン	平成29年3月	平成29年度～令和4年度	政策推進課	連携中枢都市圏構想推進要綱 ※新計画(令和5年度～)策定予定
	ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略	平成30年10月 ※令和4年3月までに改定予定	平成30年度～令和8年度	アジア戦略室	
	第2期鹿児島市シティプロモーション戦略ビジョン	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和6年度	広報戦略室	
	鹿児島市人権教育・啓発基本計画	平成19年1月 ※平成28年12月改定	—	人権推進課	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
	第3次鹿児島市男女共同参画計画	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	男女共同参画推進課	男女共同参画社会基本法 鹿児島市男女共同参画推進条例
2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち【自然・環境 政策】					
	第三次鹿児島市環境基本計画	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	環境政策課	環境基本法 鹿児島市環境基本条例
	ゼロカーボンシティかごしま推進計画(仮称)	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	環境政策課	地球温暖化対策の推進に関する法律 気候変動適応法
	鹿児島市再生可能エネルギー活用計画(仮称)	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	再生可能エネルギー推進課	
	第四次鹿児島市一般廃棄物処理基本計画	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	資源政策課	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	第二次鹿児島市生物多様性地域戦略	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	環境保全課	生物多様性基本法
	第二次鹿児島市まちと緑のハーモニープラン	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	公園緑化課	都市緑地法
3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち【産業・交流 政策】					
	第4期鹿児島市観光未来戦略	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	観光プロモーション課	
	第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	グリーンツーリズム推進課	
	鹿児島市スポーツ推進計画	平成25年2月 ※平成29年3月改定	平成24年度～令和4年度	スポーツ課	スポーツ基本法
	第2期鹿児島市商工業振興プラン	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和13年度	産業政策課	
	鹿児島市中央卸売市場経営展望	令和3年3月	令和3年度～令和12年度	青果市場	
	第3期鹿児島市中心市街地活性化基本計画	平成30年3月	平成30年度～令和4年度	産業政策課	中心市街地の活性化に関する法律
	第3期鹿児島市農林水産業振興プラン(仮称)	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	農政総務課	
4 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち【健康・安心 政策】					
	第8期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画	令和3年2月	令和3年度～令和5年度	長寿支援課	老人福祉法、介護保険法 ※3年ごとに見直し
	第5期鹿児島市地域福祉計画	令和4年3月までに 策定予定	令和4年度～令和8年度	地域福祉課	社会福祉法
	第四次鹿児島市障害者計画	平成30年3月	平成30年度～令和4年度	障害福祉課	障害者基本法

政策	個別計画	策定年月	計画期間	所管課	備考(関連法令等)
	鹿児島市国民健康保険財政健全化計画	平成30年3月 ※令和3年3月改定	平成30年度～令和7年度	国民健康保険課	※3年ごとに見直し
	第二次鹿児島市健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン」	平成25年3月	平成25年度～令和5年度	保健政策課	健康増進法 ※新計画(令和6年度～)策定予定
	第四次かごしま市食育推進計画	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和8年度	保健政策課	食育基本法
	鹿児島市自殺対策計画	平成30年3月	—	保健支援課	自殺対策基本法
	第2期鹿児島市病院事業経営計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和13年度	市立病院経営管理課	
	鹿児島市立病院再整備計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	—	市立病院経営管理課	
	第11次鹿児島市交通安全計画	令和3年9月を目途に策定予定	令和3年度～令和7年度	安心安全課	交通安全対策基本法
	鹿児島市地域防災計画	令和3年3月	—	危機管理課	災害対策基本法 ※年次更新
	鹿児島市国土強靱化地域計画	平成31年3月 ※令和4年3月までに改定予定	令和4年度～令和8年度	危機管理課	国土強靱化基本法
	鹿児島市火山防災トップシナリオ構想	平成31年3月	令和元年度～令和5年度	危機管理課	

5 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち【子ども・文教 政策】

第二次鹿児島市子ども・子育て支援事業計画	令和2年3月	令和2年度～令和6年度	こども政策課	子ども・子育て支援法
鹿児島市子どもの未来応援プラン	令和3年3月	令和3年度～令和6年度	こども福祉課	子どもの貧困対策の推進に関する法律
第二次鹿児島市教育振興基本計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	教育委員会総務課	教育基本法
鹿児島市いじめ防止基本方針	平成26年10月 ※平成30年3月改定	—	青少年課	いじめ防止対策推進法
第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画	令和3年3月	令和3年度～令和7年度	生涯学習課	子どもの読書活動の推進に関する法律
鹿児島市文化芸術推進基本計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	文化振興課	文化芸術基本法

6 質の高い暮らしを支える 快適なまち【都市・交通 政策】

第二次かごしま都市マスタープラン	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和23年度	都市計画課	都市計画法
鹿児島市集約型都市構造に向けた土地利用ガイドプラン	平成24年3月	—	都市計画課	
かごしまコンパクトなまちづくりプラン(立地適正化計画)	平成29年3月	平成29年度～令和22年度	都市計画課	都市再生特別措置法
かごしま団地みらい創造プラン	令和3年3月	—	都市計画課	
鹿児島市景観計画	平成19年12月	—	都市景観課	景観法 鹿児島市景観条例
幹線道路整備事業第8次計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	道路建設課	
鹿児島市空き家等対策計画	平成29年12月 ※令和4年3月までに改定予定	平成29年度～※ ※計画期間終期は協議中	建築指導課	空き家対策の推進に関する特別措置法
鹿児島市上下水道ビジョン(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和13年度	水道整備課 下水道建設課	
第2期鹿児島市上下水道事業経営計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和13年度	水道局経営管理課	
第二次鹿児島市公共交通ビジョン	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	交通政策課	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律ほか
第三次鹿児島市交通バリアフリー基本構想	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～※ ※計画期間終期は協議中	交通政策課	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
鹿児島市交通事業経営計画	令和2年3月 ※令和4年3月までに改定予定	令和2年度～令和13年度	交通局総合企画課	
第2期鹿児島市船舶事業経営計画(仮称)	令和4年3月までに策定予定	令和4年度～令和13年度	船舶局総務課	

8 目標指標一覽

8 目標指標一覧

(1) 基本目標別計画

令和13年度の目標値は、前期基本計画における達成状況等の検証を行った上で見直していくものである。

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
1 信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創 政策】					
1 地域社会を支える協働・連携の推進					
	「市民・地域・団体等によるまちづくりが行われている」と感じる市民の割合	41.7%	47.0%	52.0%	市民意識アンケート調査
	市民活動団体等との協働事業数	482件	839件	896件	
	地域コミュニティ協議会の活動への参加団体数	2,928団体	3,100団体	3,200団体	地域コミュニティ協議会現況調査
2 自主的・自立的な行財政運営の推進					
	「市民サービスが効率的に提供されている」と感じる市民の割合	50.0%	65.0%	80.0%	市民意識アンケート調査
	鹿児島市ホームページアクセス件数	31,123,726件	37,091,000件	65,071,000件	閲覧されたページの合計数
	将来負担比率	37.3%	現状水準を維持する	現状水準を維持する	将来支払う可能性のある実質的な負債額が市の財政に占める割合
	職員研修実施件数	53件	70件	70件	人事課の研修実施状況
	電子申請利用件数	29,441件	43,000件	59,000件	
3 多角的な連携・交流の推進					
	「他都市や事業者・団体等との連携・交流が進んでいる」と感じる市民の割合	24.5%	27.2%	30.0%	市民意識アンケート調査
	連携中枢都市圏における連携事業数	30事業	35事業	40事業	
	大学との新規連携事業・取組数	7件/年	5年間で100件	10年間で200件	
	国際交流事業への参加者数	1,367人	2,120人	2,310人	
4 シティプロモーションの推進					
	4大都市圏における“鹿児島ファン”の割合	11.4%	13.0%	13.9%	本市イメージ調査
	地域ブランド調査における「魅力度」	39.3%	44.8%	47.9%	地域ブランド調査
	「友人・知人に本市を勧めたい」と思う市民の割合	53.0%	60.5%	64.6%	本市イメージ調査
	本市の移住関連施策を通じた移住者数	121人/年	5年間で600人	10年間で1,200人	
5 誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の形成					
	「一人ひとりの人権や多様性が尊重され、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりが進んでいる」と感じる市民の割合	17.1%	22.1%	24.6%	市民意識アンケート調査
	人権について学ぶ機会のあった市民の割合	20.4%	30.4%	35.4%	市民意識アンケート調査
	「男性は仕事、女性は家庭」という固定観念を持たない市民の割合	65.7%	78.7%	86.3%	男女共同参画に関する市民意識調査
	多文化共生事業への参加者数	1,938人	3,200人	3,480人	

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち【自然・環境 政策】					
1 ゼロカーボンシティかごしまの推進					
	CO ₂ 排出量の削減率(平成25(2013)年度比)	28.2%減	41.0%減	48.0%減	
	新車販売台数に占める電気自動車等の割合	31.5%	60.0%	80.0%	市内の自動車販売店への調査
	「太陽光発電の普及が進んでいる」と感じる市民の割合	34.5%	46.0%	57.0%	市民意識アンケート調査
	かごしま環境未来館の利用者数	91,945人	130,000人	149,500人	
2 循環型社会の構築					
	3Rをすべて実践している市民の割合	26.3%	40.0%	55.0%	市民意識アンケート調査
	資源化率	16.4%	21.8%	25.5%	市ごみ量統計
	不法投棄確認件数	200件	145件	100件	
	ごみ1トン当たりの発電量	416kWh/t	469kWh/t	492kWh/t	北部・南部清掃工場の年間ごみ発電量合算値
3 人と自然が共生する都市環境の構築					
	「緑や水辺などの自然とのふれあいの場や機会がたくさんある」と感じる市民の割合	66.0%	73.0%	80.0%	市民意識アンケート調査
	「かごしま生きものラボ」を授業等で活用している小学校の割合	61.7%	89.0%	95.0%	市内の全小学校へのアンケート調査
	屋上・壁面緑化の整備面積	17,348㎡	18,300㎡	18,800㎡	公共、民間施設の屋上緑化及び壁面緑化の整備面積の合計
	市民1人当たりの都市公園面積	7.9㎡/人	8.1㎡/人	8.3㎡/人	都市公園面積/人口
4 生活環境の向上					
	「きれいで快適なまち」と感じる市民の割合	68.5%	74.5%	80.5%	市民意識アンケート調査
	公害苦情相談件数	162件	154件	146件	
	まち美化地域指導員の認定数	3,234人	4,074人	4,774人	
	過去1年間にまち美化活動に参加したことがある市民の割合	40.3%	50.0%	60.0%	市民意識アンケート調査

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち【産業・交流 政策】					
1 地域特性を生かした観光・交流の推進					
	「観光がまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	39.1%	73.0%	82.0%	市民意識アンケート調査
	宿泊観光客数	2,076千人	4,000千人	4,200千人	市観光統計
	1人1泊当たりの観光消費額	28,800円/人泊	31,000円/人泊	34,000円/人泊	市観光消費額調査
	知人に鹿児島市への旅行を勧めたい観光客の割合	46.3%	100.0%	100.0%	市観光消費額調査
2 スポーツ交流・振興の推進					
	「スポーツがまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	42.4%	50.0%	57.5%	市民意識アンケート調査
	スポーツキャンプの受入数	8チーム/年	5年間で 50チーム	10年間で 100チーム	
	スポーツ施設の利用者数	987千人	2,170千人	2,270千人	
3 地域産業の活性化					
	「産業振興が図られ雇用機会に恵まれるなど、地域産業が活性化している」と感じる市民の割合	13.5%	31.8%	50.0%	市民意識アンケート調査
	本市支援による新規創業者数	33事業者/年	5年間で 180事業者	10年間で 360事業者	
	1事業所当たりの製造品出荷額等（従業者4人以上）	76,254万円	82,538万円	91,125万円	県工業統計
	本市の事業活用による海外展開を伴う商談成約件数	10件/年	5年間で80件	10年間で160件	
	鹿児島公共職業安定所（ハローワークかごしま）管内の新規学卒者の県内就職率	65.1%	66.6%	67.9%	鹿児島公共職業安定所統計
4 中心市街地の活性化					
	「中心市街地がにぎわっている」と感じる市民の割合	31.6%	43.9%	50.0%	市民意識アンケート調査
	中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合	89.4%	91.2%	93.1%	市空き店舗実態調査
	中心市街地の宿泊観光客数	1,702千人	3,320千人	3,490千人	市観光統計
5 農林水産業の振興					
	「農林水産業の振興が図られている」と感じる市民の割合	67.6%	71.0%	75.0%	市民意識アンケート調査
	農林水産業の新規就業者数	24人/年	5年間で150人	10年間で300人	市農林水産部統計
	農林水産業産出額	14,594百万円	15,774百万円	15,774百万円	市農林水産部統計
	6次産業化・農工商連携等によってつくられた新商品数	6品目/年	5年間で 50品目	10年間で 100品目	市農林水産部統計

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
4 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち【健康・安心 政策】					
1 高齢化対策の推進					
	「高齢者が住み慣れた地域で、地域の支援やサービスを利用しながら、安心して暮らしている」と感じる市民の割合	37.1%	42.0%	47.0%	市民意識アンケート調査
	愛のふれあい会食の年間延べ利用者数	62,033人	130,000人	132,000人	
	ひとり暮らし高齢者世帯への安心通報システムの設置台数	1,420台	1,600台	1,800台	
	認知症サポーター養成数（累計）	50,622人	74,800人	95,000人	
	通いの場への参加者数	10,316人	14,100人	14,300人	
	ケアプラン適正化指導により、ケアプランの質の向上等が図られた割合	76.5%	83.0%	90.0%	改善等件数／指導件数
2 地域共生社会の実現					
	「福祉が充実し、お互いに支え合う暮らしやすいまちである」と感じる市民の割合	28.9%	34.0%	39.0%	市民意識アンケート調査
	過去1年間に福祉活動やボランティア活動に参加したことがある市民の割合	19.3%	24.0%	29.0%	市民意識アンケート調査
	障害児通所支援を利用している子どもの数	4,959人	7,600人	8,400人	
	1人当たりの医療費（国民健康保険）	461,149円	533,000円	580,000円	
3 健康・医療の充実					
	「健康づくりへの支援や医療体制が充実している」と感じる市民の割合	46.3%	64.6%	69.0%	市民意識アンケート調査
	市民と一体となって健康づくりに取り組む団体数	380団体	585団体	760団体	健康づくり市民会議、食育推進ネットワーク、健康づくりパートナーへの登録情報
	がん検診受診率	6.8～22.3%	50.0%	50.0%	受診者数／対象者数
	医療機関における院内感染発生の報告数	5件	3件	0件	
	感染症病床等を有する医療機関のうち、感染管理講演会へ参加した医療機関の割合	—	80.0%	100.0%	感染管理講演会へ参加した医療機関数／一般病床、感染症病床、結核病床を有する医療機関数

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
	4 生活の安全性の向上				
	「事故やけがの予防、交通安全や防犯等の対策により、安心・安全で暮らしやすい」と感じる市民の割合	48.6%	53.0%	58.0%	市民意識アンケート調査
	外的要因(事故やけが)による救急搬送人員	6,055人	6,200人	6,000人	市救急統計
	交通事故による重傷者数	242人	160人	110人	県警察本部
	刑法犯認知件数	2,509件	2,100件	1,900件	県警察本部
	消費生活出張講座の受講者数	3,123人	5,550人	5,900人	
	食中毒の発生件数	0件	0件	0件	
	5 命を守る危機管理・防災力の向上				
	「災害に強いまちである」と感じる市民の割合	35.5%	45.0%	55.0%	市民意識アンケート調査
	国土強靱化地域計画の指標達成率	—	100.0%	100.0%	
	自主防災組織の活動率	25.3%	41.7%	50.0%	自主防災組織の活動団体数 ／自主防災組織数
	市民による応急手当実施率	57.6%	60.8%	63.4%	市救急統計
	公共下水道(雨水管きよ)の整備率	72.5%	73.3%	73.9%	雨水管きよ整備済面積／下 水道事業計画区域
桜島火山爆発総合防災訓練の参加者数	約3,100人／年	5年間で 21,350人	10年間で 42,700人		

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
5 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち【子ども・文教 政策】					
1 少子化対策・子育て支援の推進					
	「安心して子どもを生み育てられる環境が整っている」と感じる市民の割合	38.2%	46.6%	55.0%	市民意識アンケート調査
	婚活事業への参加者の満足度	86.1%	90.0%	90.0%	婚活イベント参加者アンケート調査
	乳幼児健康診査の受診率	97.8%	100.0%	100.0%	かごしま市の保健と福祉
	保育所等の待機児童数	82人	0人	0人	
	児童クラブの待機児童数	42人	0人	0人	
2 子どもの健やかな成長への支援					
	「子どもたちが健やかに成長し、将来にわたって夢や希望を持てる」と感じる市民の割合	29.2%	40.0%	50.0%	市民意識アンケート調査
	就業支援を受けたひとり親の就業率	59.0%	70.0%	80.0%	母子家庭等就業支援講習会受講者等の就業状況調査
	市内の子ども食堂数	29箇所	39箇所	49箇所	県子ども食堂登録制度
	児童虐待相談件数に占める虐待認定件数の割合	35.2%	29.0%	24.0%	
3 学校教育の充実					
	「夢と志を持ち可能性に挑戦する児童生徒を育む教育がなされている」と感じる市民の割合	25.6%	37.0%	48.0%	市民意識アンケート調査
	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6: -4 中3: -5 (平成27～令和元年度の平均)	小6: ±0 中3: ±0	小6: +2 中3: +2	全国学力・学習状況調査 ※全国平均を100とした本市との差
	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との比較	小6: +1.9 中3: -0.1 (平成27～令和元年度の平均)	小6: +2 中3: +1	小6: +2 中3: +1.1	全国学力・学習状況調査 (国語、算数・数学) ※全国平均を100とした本市との差
	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合の全国との比較	小5: ±0 中2: +1 (平成27～令和元年度の平均)	小5: +0.5 中2: +1.5	小5: +1 中2: +2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ※全国平均を100とした本市との差
	学校運営協議会の活動状況等を知っている保護者の割合	20.1%	80.0%	90.0%	学校評価(保護者対象)の調査
	学校のトイレの洋式化率	53.8%	78.6%	78.6%	洋式便器数/校舎、屋内運動場等の全便器数
4 生涯学習の充実					
	「生涯を通じて興味・関心のあることを学ぶ環境が整っている」と感じる市民の割合	28.3%	41.0%	54.0%	市民意識アンケート調査
	学校支援ボランティアの活動者数	46,000人	54,000人	56,000人	
	地域公民館や図書館などの生涯学習関連施設の利用者数	1,412千人	2,120千人	2,221千人	
5 市民文化の創造					
	「文化芸術などに親しみ、身近に体験できる環境が整っている」と感じる市民の割合	46.5%	56.0%	65.0%	市民意識アンケート調査
	市民文化祭等の参加者数	27,300人	36,600人	41,600人	
	市内の文化財の指定等件数	193件	195件	200件	

政策・施策	指標	現況	目標 (令和8)	目標 (令和13)	算出方法等
6 質の高い暮らしを支える 快適なまち【都市・交通 政策】					
1 機能性の高い都市空間の形成					
	「魅力ある都市空間が形成されている」と感じる市民の割合	38.6%	45.0%	50.0%	市民意識アンケート調査
	都市機能誘導区域内の大規模小売店舗（1,000㎡以上）の割合	33.6%	34.5%	35.6%	都市機能誘導区域内の大規模小売店舗数／市全域の大規模小売店舗数
	住宅団地の活性化に向けて地域主体で実施したまちづくり活動の件数	3件／年	5年間で36件	10年間で90件	
	土地区画整理事業（市施行）により整備完了した宅地面積の割合	55.7%	66.7%	81.3%	整備完了した宅地面積／総宅地面積 (令和4年4月1日時点での市施行地区)
	景観形成に向けて開催したイベント等に参画した市民の数	95人／年	5年間で750人	10年間で1,500人	
2 暮らしやすい生活基盤の構築					
	生活道路や上下水道などの都市基盤施設の整備により、「誰もが暮らしやすい生活の基盤づくりが進んでいる」と感じる市民の割合	53.3%	60.0%	66.0%	市民意識アンケート調査
	通学路等の安全が確保された割合	82.9%	86.0%	91.5%	市道路管理者における交通安全対策の実施件数／市道路管理者における交通安全対策が必要な総件数
	上水道の基幹管路の耐震化率	51.3%	54.3%	56.8%	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長／基幹管路延長
	住宅の耐震化率	92.3%	95.2%	96.0%	住宅・土地統計調査に基づく推計
3 市民活動を支える交通環境の充実					
	「道路や公共交通などの交通環境が充実している」と感じる市民の割合	47.1%	51.0%	55.0%	市民意識アンケート調査
	都市計画道路整備率	85.1%	86.6%	88.5%	整備済みの延長／全体延長
	公共交通の利用者数	63,571千人	57,200千人	57,200千人	九州運輸局鹿児島運輸支局業務概況、各事業者資料等

(2) 重点プロジェクト

プロジェクト	指標	現況	目標 (令和8)	算出方法等
“地域の稼ぐ力” 向上プロジェクト				
	市内就業人口1人当たりの総生産	6,534千円	7,073千円	鹿児島市統計書 (市内総生産/市内就業人口)
	新たな事業展開に取り組む事業者数	17事業者/年	5年間で 110事業者	
	スマート農林水産業関連技術の導入件数	16件/年	5年間で65件	市農林水産部統計
	1人1泊当たりの外国人観光消費額	30,700円/人泊	33,000円/人泊	市観光消費額調査
“ICTで住みよいまち” 推進プロジェクト				
	「ICTの活用により、生活が便利になった」と感じる市民の割合	52.6%	65.0%	市民意識アンケート調査
	電子申請利用件数	29,441件	43,000件	
	国が策定する標準仕様に準拠した業務システムへの移行件数	—	5年間で17件	
	ICT関連企業の立地協定件数	1件/年	5年間で15件	
“子どもの未来輝き” 推進プロジェクト				
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合	72.9%	80.0%	全国学力・学習状況調査
	保育所等の待機児童数	82人	0人	
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.0%	100.0%	健やか親子21アンケート
	授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6:-1.1 中3:+0.4	小6:+2.0 中3:+2.0	全国学力・学習状況調査 ※全国平均を100とした本市との差